

## 鎌倉市公的不動産利活用推進方針(素案)に対する意見整理表(未定稿)

## 【目次】

素案全体に関する意見	P1
官民連携に関する意見	P13
個々の公的不動産に関するご意見	
<鎌倉市役所(現在地)>	P14
<梶原四丁目用地(野村総合研究所跡地)>	P31
<深沢地域整備事業用地(行政施設用地)>	P42
<扇湖山荘>	P51
<資生堂鎌倉工場跡地(寄附予定部分)>	P55
<その他>	P56
<全部についてや対象不明なもの>	P62
進め方に関する意見	P65
その他の意見	P85
参考意見	P85
巻末資料	
<提出 No.3 の意見>	P86
<提出 No.40 の意見>	P94

## 【備考】

- ・ 1 通の意見提出について、複数件の意見に分割して整理しているものがあります。
- ・ 頂いたご意見については、原則、原文のまま掲載していますが、個人情報にあたる可能性があるものを伏せるなどの調整を行っています。
- ・ *[斜体文字]* は補足のために加筆したものです。

## 素案全体に関する意見

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
1	8	全体	<p>鎌倉市全市的な視点で本庁舎移転の構想がされている事が理解できたことは有意義であった。</p> <p>全体の工程表によると 2018 年(H30)から 2028 年(H40)規模の 10 年スパンのスケジュールである事から、少なくとも 10 年先の鎌倉市をイメージして進める必要がある。</p> <p>10 年後に日本はどのような状況にあるのか、その中で鎌倉市が担う役割は何かを考えてこの推進方針を策定する事が重要である。</p> <p>ITの進化AIの普及で生活環境は劇的に変化し、自動運転の車が普及している事等を想定した街づくりが必要ではないかと思う。</p> <p>「技術の進化と伝統・歴史の融合」、「地域住民の生活利便性と観光地としての魅力の共存」、「若い世代を引き付ける環境、子供の成長に最適な環境を提供する地としての鎌倉」と言う視点で公的不動産利活</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的不動産の利活用に関する本取組は、平成 37 年度(2025 年度)までを計画期間とした第 3 次鎌倉市総合計画や鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市人口ビジョン・鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略等で検討した鎌倉市の将来都市像に沿ったまちづくりについて、インパク</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>用方針を作成し、その構想のなかで本庁舎移転を考えることで住民も納得感が得られると思う。</p> <p>「技術の進化と伝統・歴史の融合」: 交通インフラの視点で考えた時、自動運転車の普及は注目すべき点である。電気自動車の自動運転車を積極的に公共交通として鎌倉市が導入するという宣言をして、これらの関連企業、特にソフト開発部隊やその研究開発部隊を積極的に誘致してはどうだろうか。開発してその成果を実証実験する場を鎌倉市は提供することで企業やベンチャー企業、若いエンジニアを呼び込む。海があり自然がり日本の伝統が共存する鎌倉市は他にない魅力的な存在であり、また東京までのアクセスが1時間と言う立地も企業にとって魅力がある。</p> <p>自動運転車を公共交通の基本としAIを駆使したきめ細かいサービスを提供することで全市的な相互の利便性をはかり現状の道路インフラを活用して交通量の最適化をはかる事が出来るのではないかと思う。これにより高齢化社会における買い物難民を防ぎ、観光客の増加にも対応した交通システムを構築する。</p> <p>これらの課題は日本だけでなく世界全体の大きなテーマであり、その発信地の一つとして鎌倉を位置づける位のプロジェクトとして取り組んで頂きたいと思う。</p> <p>「地域住民の生活利便性と観光地としての魅力の共存」、の解にもなると思う。この候補地として大船エリア、資生堂鎌倉工場跡地を活用する。これと連携する形で深沢地域整備事業用地に本庁舎を移転することで大船エリアと深沢エリアの再開発を行う。</p> <p>またこのエリアは大規模災害発生時の防災センターエリアの機能を兼ねそなえ、若い世代の住宅地としても機能させる。</p> <p>又鎌倉観光の入り口としての役割にもない、ここから鎌倉観光へ車で来た人は全て自動運転の電気自動車へ乗り換えてもらう。一つのテーマパーク内を楽しむ様な環境を提供することで住民と観光客との共存を図る。観光客の駐車場は大規模災害時の避難スペースとして機能させる。</p> <p>「若い世代を引き付ける環境、子供の成長に最適な環境を提供する地としての鎌倉」: 研究開発拠点を誘致し若いエンジニアを呼び込むために、保育所、幼稚園などの子育て環境も充実させる。</p> <p>このエリアから深沢・腰越ゾーンと海岸ゾーンを結んだ自然と連携した住宅エリアを構成していく。海岸ゾーンは腰越から鎌倉中心地を結ぶ遊歩道を整備して海を感じながら散歩ができる環境を提供し年寄りも安心して散歩が楽しめる様にする。</p> <p>旧邸宅ネットワークでは「景観重要建物」と指定している物件を一度棚卸して整理してこれらを総合的に管理運営することを検討する。</p> <p>これらの運営には、各エリアの自治会の協力を得る事で地域住民を巻き込みながら展開することで予算削減を行う。高齢者の活用も図れると思う。</p> <p>鎌倉で都心には無い魅力の一つが、各地域が行う「お祭り」である。小さな子供から年寄りまで参加し地域の絆を自然に強くする為の取り組みとしてこの活動を積極的に支援しても良いかと思う。</p> <p>以上は、一つの例であるが「鎌倉市10年計画ロードマップ」として市民に提案して、企業も呼び込む事で具体化して事を望む。</p>	<p>トを与えるとともに、地域に新たな価値を創造することで、これを実現させる引き金となることを目指したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これら上位計画に及ぶご意見については、上位計画の推進や見直しの際の参考とさせていただきます。</li> <li>公的不動産の利活用によって、鎌倉全体や3つの拠点、公的不動産の周辺エリアの価値を上げ、特性を生かすとともに、それぞれの連携による相乗効果を生み出すまちづくりを進めるものです。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> <li>いただいたご意見のうち「ITの進化AIの普及で生活環境は劇的に変化し、自動運転の車が普及している事等を想定した街づくりが必要ではないかと思う」、「これらの運営には、各エリアの自治会の協力を得る事で地域住民を巻き込みながら展開することで予算削減を行う」の部分を参考に、P41、P55の表現を変更しました。</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
2	35		<p>素案は基本的に良いと思います。</p> <p>① 鎌倉市の拠点を鎌倉・大船・深沢エリアにする。</p> <p>② 市役所を深沢に移し、消防本部や体育館等も併設する。</p> <p>③ 市役所跡地に、「受付機能」を残し、図書館や福祉センター、学習センター等を集約する。</p> <p>④ 野村総研跡地や扇湖山荘は難問だと思いますが民間利用の道を探っていく。</p> <p>⑤ 資生堂跡地は一部公園を含め企業誘致に努める。</p> <p>これらは良いと思いますが、活用の基本は、ご指摘の通り人口減少を前提に、「如何に効率的な行政体を作っていくか」 「小さな行政体」だと思います。そして、如何に「若い世代」を呼び込むかだと思います。</p> <p>そこで、</p> <p>① 市役所跡地は、「受付機能」の他、PFI や PPP 手法を導入し1階に商業施設。2階以上に学習センター・中央図書館・福祉センターの他、保育園、幼稚園、放課後の小中学生の受け入れ施設(老人とのコラボも含めて)等を設置する。屋上等は津波の避難所にする。</p> <p>② 現鎌倉学習センターの土地は地主に返す。中央図書館・福祉センターは民間に売却する。</p> <p>③ 深沢エリアの交通機関はモノレール(鎌倉市の主要交通機関)の活用を中心にする。JR の新駅は費用対効果は合わないと思います。</p> <p>④ 旧国鉄工場への引き込み線跡は道路拡幅が可能な部分の買収交渉をする。これは、山崎に建設予定のごみ焼却場を考えても推進すべき。</p> <p>⑤ 鎌倉の将来を考えて、基本コンセプトを推進し、後世にさすが鎌倉と思ってもらえるものにしたいたと考えます。以上です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的不動産の利活用に関する本取組は、平成 37 年度（2025 年度）までを計画期間とした第 3 次鎌倉市総合計画や鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市人口ビジョン・鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略等で検討した鎌倉市の将来都市像に沿ったまちづくりについて、インパクトを与えると同時に、地域に新たな価値を創造することで、これを実現させる引き金となることを目指したものです。</li> <li>・これら上位計画に及ぶご意見については、上位計画の推進や見直しの際の参考とさせていただきます。</li> <li>・公的不動産の利活用によって、鎌倉全体や 3 つの拠点、公的不動産の周辺エリアの価値を上げ、特性を生かすとともに、それぞれの連携による相乗効果を生み、まちづくりを進めます。</li> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていた</li> </ul>
3	40	P1	<p>公的不動産利活用推進方針の目的</p> <p>→ 人口の急激な減少に歯止めをかけ、適正な年齢構成バランスを維持するとしています。</p> <p>「人口減少の歯止め」と「適正年齢構成のバランス維持」が両立できるのかが疑問。鎌倉市の運営状態においての適正人口の維持が正確なのではないかと考えます。10 万人でも健全な運営ができる都市も可能。その中で、国内外において「鎌倉市民」のブランドとして子どもが育てやすい土地であることを重点におくことは 20 年以降の人口バランスに大きく影響するのではないのでしょうか？</p> <p>例:エアランゲン市(要検証、バブル期世代の高齢者以降対策)</p> <p><a href="http://www.interlocal.org/Erlangen.htm">http://www.interlocal.org/Erlangen.htm</a></p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
4	40	P4	<p>公的不動産を資産として捉えた利活用を進めるなど、これまでにない視点からの検討を行うことで、全市のなまちづくりを実現させるための推進力とし、更には鎌倉のまちに新しい価値を創造することで、次代に引き継ぐ鎌倉のまちづくりを実現する引き金としようとするものです。</p> <p>→新しい価値としてインバンドに対応し、働く場所の創出、シルバー人材力有効活用、市民の医食同源やウェルネスに対応するシェア農園(市民農園)や動物との付き合いを通して、スポーツと文化的経済的に多様なグローバル社会への対応能力と意識向上を提案します。資料添付参照ください。土地利用の柔軟性と、大型ショッピングセンター、マンション群だけでない土地利用を可能にしてほしい。</p> <p>[巻末資料参照]</p>	<p>だきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見のうち「外部から見る「鎌倉の魅力」の一つに「緑がある」の部分を参考に、P34、P46の表現を変更しました。</li> </ul>
5	40	P5	<p>「3つの拠点が特性を生かした役割分担をこなし、互いに影響し合うことで、鎌倉市の魅力に磨きをかける」</p> <p>→「鎌倉市の魅力」の意味が明確でない。現在旧鎌内でも駅周辺など鎌倉でなくてもよい店舗や住宅の乱立した景観が目立ち、大規模開発や細分化された分譲住宅やマンション建築が鎌倉の魅力をしている。</p> <p>外部から見る「鎌倉の魅力」の一つに「緑」があること。それは旧鎌だけではなく、3つの拠点の特性を生かすうえで、ベースとなる鎌倉市の魅力の共通項として「緑と広い空の見える空間美」を土台に「過去・現在・未来」を演出することが50年後の鎌倉の価値になる。そのための容積率の制限などを用い空間の確保してほしい。</p>	
6	40	P7	<p>○鎌倉と大船の魅力・特性を生かし、新たな価値を創造するまち ○住みたいまち鎌倉を実現する新しいライフスタイルの提案ができる拠点 ○鎌倉に住み、鎌倉で働くというライフスタイルを支えられる拠点 ○新たなライフスタイルの発信 ○拠点間ネットワーク形成と相乗効果</p> <p>→「新しい」が東京や藤沢やどこにでもある「モダンな」や「未来的な」ではなく、温故知新として、古い技術や文化を未来につなげる役目を担う新しい手法を用いての街づくりを、建築形状や景観(ランドスケープ)を中心に実現させてほしい。源頼朝の時代へ遡り鎌倉である誇りを表現する。空の星や富士を目指す道、季節を知らせる花鳥風月、北条亭の歌詠みの歴史など借景を取り入れた鎌倉の建築美の再現など、海外の人から見ても旧鎌倉ではできない尺の大きい街づくりになると面白い。深沢地区全体が芸術的な場所として海外からも興味を持ってもらえるような人々が幸せに暮らす温故知新の土地利用をしてほしい。100年後に世界からの訪れたい美しい街10選に選ばれるようなユニークさが欲しい。</p>	
7	40	P51	<p>拠点間の連携など、本市のまちづくりを捉えて利活用することで新たな価値を創造することが重要だと考えています。</p> <p>→新たな価値を、国内外における鎌倉の魅力の創出と考え「鎌倉市全体が古都鎌倉を表現でき自立できる都市」とすると、今後、鎌倉市が「歴史観光環境都市」として世界に誇る美しく歴史と自然を伝え残す都市として発展していき全市で育つ子供たちが「鎌倉っ子」としての鎌倉プライドを代々伝えていけるような都市になることを願います。</p> <p>他の都市ではありえない「鎌倉武士の馬」を提案します。拠点間の連携において、観光による人の移動</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>は重要であり、市民の心身の健康と文化教育に寄与できる方策の一つとして「馬」の拠点づくりが可能な土地利用を検討いただきたい。</p> <p>貴重な5つの公的不動産利活用に必要な考え方において「馬も飼えないような許容量の小さい土地利用は今後鎌倉市では行わない」という鎌倉時代の武将の尺度をもって魅力ある街づくりをしていただきたいです。</p>	(前ページの続き)
8	43	P51～53	<p>5つの公的不動産活用によるイメージとして「市はそれぞれの公的不動産をばらばらに利活用するのではなく、イメージ図が伝えるように、拠点間の連携など、本市のまちづくりを捉えて利活用することで新たな価値を創造することが重要だ」とある。</p> <p>市は公的不動産間の連携ではなくそれぞれが立地する拠点の中での位置づけをし、その拠点間の連携を通じて間接的に公的不動産の連携を考えるという視点に立っているが、それでよいのであろうか。</p> <p>そもそも5つの公的不動産を並立的、同列的に扱っているところに問題がある。</p> <p>5つ、旧邸宅ネットワークを加えれば6つのうち、資生堂鎌倉工場跡地は民間事業用地としてのポテンシャルが高く独立した存在で、残りの4つ(旧邸宅ネットワークを加えれば5つ)はそれぞれが持つ立地や規模で、2つにグループ分けができる。</p> <p>1つは、鎌倉市役所と深沢地区整備事業用地の行政・総合的なグループ。これに中央図書館と各地にある行政支所を加え、市民サービスや図書館機能などいくつかの機能面からの連携補完を記述していく必要がある。図書館機能を取っても、本に親しむためばかりではなく、文書保管や資料室的なアーカイブ的な機能・役割も大きいはずである。少し掘り下げて考察していけば様々な連携の形が見えてくるはずだ。</p> <p>もう1つは、梶原4丁目用地、扇湖山荘、旧邸宅ネットワークの自然環境豊かなところに点在する公共施設群。前二者は比較的近くに立地し、連携＝ネットワークを形成できる可能性が高い。どのようなことが考えられるか、考察し記述していく必要がある。</p> <p>このようにグループごとに少し掘り下げて公的不動産そのものの連携を検討していくことによって、具体的な新しい価値創造が様々見えてくると考える。</p> <p>公的不動産活用推進方針の素案ではパスと緑のネットワークの検討が欠けている。</p> <p>パスは拠点や公的不動産を結ぶインフラで、場合によっては新たなパスを想定する必要がある。緑のネットワークは人間を含む生物の移動を保証するもので、連携＝つながりを考える場合にその形成が不可欠である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本取組は、全市的な視点を持った公的不動産の利活用をまちづくりの視点で検討してきたものです。</li> <li>・具体的な利活用の推進にあたっては、それぞれの公的不動産の機能や役割に応じ、分かりやすく、掘り下げた検討を進めていきます。</li> <li>・公的不動産を結ぶインフラについては、鎌倉市交通マスタープランや深沢地域のまちづくりと連携を図りながら検討していきます。</li> <li>・緑のネットワークについては、公的不動産の利活用においても、鎌倉市緑の基本計画に沿って取り組んでいきます。</li> <li>・いただいたご意見のうち「公的不動産活用推進方針の素案ではパスと緑のネットワークの検討が欠けている」の部分を参考に、P34、P46の表現を変更しました。</li> </ul>
9	66		<p>災害時災害後に市民を守る体制にする市役所整備は進めるべき</p> <p>移転先は深沢しかないのでは</p> <p>AI・自動運転が当然になれば、50年先はどうなっているかわからない、移転先では簡易に整備し、流動的に対応できることが大事</p> <p>公的不動産の枠組みで行うには外のものとの市民への影響が違いすぎるし、分からなくなる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本取組は、全市的な視点を持った公的不動産の利活用をまちづくりの視点で検討してきたものです。</li> <li>・市役所本庁舎については、防</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>整備を隠れ蓑にしているようだ、築年数と迫る大災害を想像すればそろそろ必要なこと、堂々とやればよい</p> <p>さらに、専門の部署がないこともおかしい、他の不動産と一緒にたにやるから、一番市民大事な話が説明不足、検討不足となる</p> <p>新しい市役所にしろ、跡地にしろ、他の不動産にしろ、市民スペースは不要、使わない、使われない、税金整備で赤字を税金でまたうめるだけ、行政で使えないものは民間に売るか貸すなど現金化し、本当に必要な市民サービスに回すべき</p> <p>これからの時代、行政はコンパクトに、倒産しない経営視点で</p>	<p>災・減災などの観点で昨年度に移転して整備するとの方針の策定に至ったところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素案では、この方針の実現にあたり、まちづくりの観点からも深沢地域整備事業用地（行政施設用地）への移転を示したものです。</li> <li>・いただいたご意見のうち「AI・自動運転が当然になれば、50年先はどうなっているかわからない、移転先では簡易に整備し、流動的に対応できることが大事」の部分参考に、P41の表現を変更しました。</li> <li>・具体的な利活用の推進にあたっては、それぞれの公的不動産の機能や役割に応じ、分かりやすく、掘り下げた検討を進めていきます。</li> </ul>
10	67	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの都市づくりの重要な考え方は「コンパクトシティ」である。この視点から、この度示された計画が「あちこち賑わいの創出」としているが危うさがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本取組は、賑わいの創出や企業誘致による雇用の創出など、全市的なまちづくりの視点による公的不動産の利活用の基本方針を定めようとするものです。</li> <li>・国は重点施策として、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を掲げていますが、本市（行政）による利活用を想定している鎌倉市役所（現所在地）や深沢地域整備事業用地（行政施設用地）は、本市の拠点形成するエリアであり、コンパクトシ</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				ティの考え方にそぐうと考えています。
11	67	全体	・市がすべきことは、利益が上がらなくても、市でなければできない本質的なことを担うべきであると考え る。	・市は、行政としてやるべき本質的なことを担いつつも、少子高齢化、人口減少社会において、持続可能な都市経営を目指し、官民連携など新たな視点で積極的に取り組む必要があると考えています。
12	72		今回の公的不動産利活用を推進するにあたっては、本件を独立事案として取り上げるのではなく、公共交通を含めた道路行政や市の産業活性化策、山崎ごみ焼却場問題などとリンクさせた総合的な計画が必要である。先のマスタープラン検討会で議論された内容を十分反映して頂きたい。	・公的不動産の利活用に関する本取組は、平成37年度（2025年度）までを計画期間とした第3次鎌倉市総合計画や鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市人口ビジョン・鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略等で検討した鎌倉市の将来都市像に沿ったまちづくりについて、インパクトを与えるとともに、地域に新たな価値を創造することで、これを実現させる引き金となることを目指したものです。
13	76		<p>(総評): この(素案)の仕事は於鎌倉市としてのパブリックコメント募集事項としては最大・最量の高い仕事と思います。鎌倉市総合計画の上位計画に対公的不動産利用計画・低(未)利用を上位計画にむすびつける大きな(仕事)として、鎌倉市「まちづくり」に大きく寄与するモニュメントに敬意を表します。 この(素案)作成チームに感謝します。 鎌倉市公的不動産利用推進方針(素案)についての意見、①-③の3項目。 ①鎌倉市公的不動産利用推進方針に対する意見: 「5つの公的不動産の利活用」についてはそれぞれの拠点、跡地、山荘はそれぞれその地域の「市民団体」「住民自治」につながるものであり、提案型市民主役事業化につながる「一石」と信じ、高く評価したい。 ②そして、現在から将来に関しては、ことについては深沢用地の「ウェルネス」・医療・福祉・介護・子育てに2次元より3次元利用のSNS計画を企業(的)に沿って発展していく深沢の市利2.6ヘクタールに包含し、その影響とリーダーシップを発揮したら、鎌倉地域の特色を与える拠点とすること、その市の「起点」の「部」・「課」ゾーンを本機能として残ることが必須である 鎌倉市の市民部・レベル・人材では無理であり、「人材」が必要である。 理念・目的⇒仕組み・仕掛け⇒サステナブル(継続) 1. 方法・組織参加 2. 企業的评价確認 3. 国際的発展 上記の方程式は「市民団体自治」・「住民自治」推進のエンジン係数である。</p>	・これら上位計画に及ぶご意見については、上位計画の推進や見直しの際の参考とさせていただきます。
14	83	P5~7	全市的なまちづくりの基本的な考え方として、従来の鎌倉地域と大船地域2拠点に新しく深沢地域を加えた3つの拠点と各ゾーンを骨格としたまちづくりを進める方向性が示されています。併せて、各拠点や	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>ゾーン、ネットワークの特性や視点、コンセプトも示されています。しかし、この拠点構想には2つの問題点があると思います。</p> <p>1つは、2つないし3つの「拠点」という発想自体が、あくまで地域事情に精通しない専門家や行政による「机上で策定された」提案であり、市民の日々の暮らしに基づいたものではない、むしろ現場感覚からかけ離れた発想であるということです。</p> <p>市民は長い間5つの行政区域になじんで暮らしてきました。支所や図書館、学習センター、福祉協議会や自治会集会室などがある身近な行政センターは「多目的な公共複合施設」として地域の拠点となり、市民生活に深く密着した存在となっています。</p> <p>ただし、今泉、城廻、二階堂、稲村ヶ崎など、現時点でも問題となっている行政のブランクエリアへの対応を考慮すると、まだその数は不足していると考えます。高齢者や子どもたちでも歩いて行ける範囲に行政サービスの「拠点」を置くべきと考えるからです。</p> <p>行政改革の観点で「選択と集中」が進められ、その結果の今回の拠点構想なのかもしれませんが、総合計画の柱の一つである、市民とともに協働・共同、協創・共創を目指す行政であるならば、現在の行政センターの数を増やし、より身近な場所に位置するコミュニティ拠点としての「多目的公共複合施設」をこそ進化させるべきだと思います。</p> <p>たとえ市役所が移転することになっても、大きな新市庁舎は不要であり、市議会、災害対策本部、市長室とその関連課、中央図書館など史資料保存施設等、市庁舎に集中したほうがベターな機能以外は、上記した各地域の「多目的公共複合施設」への職員配置を優先させる行政の「地域分散と官民連携」こそ、今後望まれる形ではないでしょうか。</p> <p>分散しても必要な会議は電子媒体によって実施できますし、個人情報に預かるプロの行政マンには、むしろ自治会、町内会、福祉協議会、NPO、医師会、地元産業等地域に密着し、自助共助のまちづくりに必要なさまざまな連携の要となって頂きたいと思います。それでこそ市民にとっての「安心安全のまちづくり」が可能だと思いますし、職員人件費の費用対効果も高い、真の行政改革の在り方と考えます。</p> <p>2つ目に、各拠点の新たな視点とコンセプトが示されていますが、その捉え方があまりにも短絡的、一方的であると思います。歴史や文化は鎌倉地域だけに存在するのではなく、各地域に遺る遺跡や史跡、発掘品、伝承神事や伝統芸能、文書記録等が縦横にからみあって鎌倉全体の歴史が編まれています。</p> <p>また、産業は大船地域に集中するものでなく、各地域で農業、漁業、商業等各種産業が営まれ、小規模であっても消失してはならない大切な地場産業が存在します。</p> <p>鎌倉市に暮らす市民は、長年住む人も、新しく移住してくる人も、学校や生涯学習の学びで、また地域の祭りやふるさと巡りの催しなどの機会を得て、少しずつ時間をかけてそれぞれの町の歴史や文化を知り、わが故郷への愛着が生まれます。だからこそ公共公助の精神で税金を納め、住む街を美しく保ち、お互いに助けあいながらそれぞれのライフステージを通して市民生活を送っているのではないのでしょうか？</p>	(前ページの続き)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			行政が一方的に拠点の「視点やコンセプト」をステレオタイプに定め、その方向で予算や人員を配分配置しまちづくりを進めていくことに強い違和感をもちます。	(前ページの続き)
15	93		<p>最後に。 全体的に、民間との協働や民間の誘致のようなイメージを受けましたがどの場所も市民に開かれ続けて欲しいです。 財政的に市だけでそれを行うのが厳しいということなのでしょうが、外部を巻き込むのではなく、あくまでも市民、もしくは市内で事業をされている方々との共同になって行く形を取ることが結果、市民力アップし、住みたい街、働きたい街になり 少子化対策にも繋がって行くのではないのでしょうか。どこかの街で成功した事例は鎌倉では通用するの か？今一度そこを考えていただきたい。特徴をなくしていくことで、結果どこにでもある街になり、人々が 住みたいと思う街ではなくなります。 今は、ギリギリ残る鎌倉らしい町並みや雰囲気が取り上げられ映画化されたり小説化されたりしていますが(それも頑張っている個人経営の店などが題材などになりがち)、このまま商業施設の誘致などをして いると、誰も相手にしてくれなくなります。地方の町おこしの方がよっぽど个性的に頑張っているところ があると思います。今ある資源をどう生かすか。そのことでもっともっと活気のある街になるのではない でしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国は官民連携について、「厳しい財政状況の中、人口減少・少子化等を踏まえた公共施設等の集約・再編など真に必要な社会資本の整備・維持更新や公共サービスの持続的な提供を実現するためには、PPP/PFIにより民間の創意工夫を最大限活用することが有効である。」としています。</li> <li>・本市においては、この考え方を踏まえた上で、単なる商業性の追求とならないよう「パブリックマインド」を持った民間の活用を委ねることを考えているものです。</li> <li>・いただいたご意見のうち「あくまでも市民、もしくは市内で事業をされている方々との共同になって行く形を取ることが結果、市民力アップし、住みたい街、働きたい街になり少子化対策にも繋がって行くのではないのでしょうか」の部分を参考に、P9の表現を変更しました。</li> </ul>
16	94		<p>2016年の「第3回市民対話協働・拡張ワークショップ」、2017年12月の「かまくらまちづくりシンポジウム」の参加、また、かまくら駅前蔵書室で行われた比留間さん出張の意見交換(楽しい場でした!)と、これまでの経緯を見守りながら、常々「市民参加とはなんだろう?」ということに気にかけている市民です。御成小講堂の保全活用をめざす会を始めとした、いくつかの市民活動やNPOの参加を通じて感じたことを交えて書いてみます。</p> <p>Mind &amp; Communication パブリックマインドは市民そのもの。対話の場をつくること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的不動産の利活用に関する本取組は、平成37年度(2025年度)までを計画期間とした第3次鎌倉市総合計画や鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市人口ビジョン・鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略等で検討した鎌</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>“地域の価値を高めていく「パブリックマインド」を持った民間事業者等との連携を目指す”とありますが、12月のシンポジウムでは、「市民主導の小さなまちづくりをやるためには、パブリックマインドを持った人が集う必要がある」とブルースタジオ大島さんの話もありました。全くその通りだと印象に残っています。</p> <p>「市民意識のある民間事業者」というのは、事業者が市民（個人）としても力を発揮している場合に、成立するものだと思います。実際、最近発表された御成小旧講堂改修工事設計業務の委託では、御成小「講堂」の保全活用をめざす会でも尽力いただいた、菅先生の山手総合計画研究所に決まったとのこと。会の皆さんともよかったね！と話題にしているところです。参加者に対して素性が知れていること、これは条件だと思います。オープンイノベーションは内容だけではなく、人について強く意識されて成立するのでしょう。</p> <p>パブリックマインドを企業や行政が主体となって実施していくには、実際には、一同が市民の目線も持たないとはいけません。行政や企業が主催となって開かれる場にも、聞き手としてマインドを持った人が集まるわけですが、どうも距離が縮まらない。12月のシンポでは、パブリックマインドを持った人が実際集まるということが難しいとありました（当日パブリックマインドを持った人が集っていたその場においては、妙な違和感がありました）。シンポの後、参加者の幾人かでFacebookで会話しましたが、具体性にかけるという印象が多かったようです。互いが前進したい、動く心持ちにある前提にあるのに（特に市民は自主的な参加ですから）、情報交換の手前で終わってしまった。実はそもそもパブリックマインドを持って参加しているはずなのですよね。</p> <p>時々で、自らが「市民の集いをやっけていきましょう」と言わないと始まらないのだと気づかされました。今後市民主体である集いを行なっていきたくと思っています。そんな対話の場に、関係するみなさまに参加いただけると幸いです。問題があれば口を出しますし、なければないで情報交換を。そんなお互いのあり方が必要なのでしょう。今後、市の皆さんも、市民力を利用していただけるような、乗っかっていただくような形を期待します。対話力を高める場をつくるには、市民側に力を持たせ、支えていただくようなことが必要と考えます。</p> <p>エリアと歴史と未来の観点で。</p> <p>かつて大船エリアであった「新鎌倉計画」。旧鎌という言葉に対して、新鎌倉は根付かずに今に至ったと聞きます。海外の新市街と旧市街のうまい両立のような形が鎌倉には似合っているのではと、期待を込めて感じています。今まで以上に今後の100年は旧鎌倉は鎌倉らしく、同時に、未来を作り上げていくような観点で新鎌倉エリアの立ち上げを。旧鎌倉エリアの中心として、現在の市役所周辺は歴史公園や人の集える場が似合うと想像されました。近年の近代建築への視点の変化も今後につながるはずで。市民活動に関わると集まる場が不足していることが問題にもなっていますから、集える場ではあってほしいですね。</p> <p>計画には大筋賛成です。機能を分散しながら、新旧エリアを互いに盛り上げていけるような街となっていくとよいですね。自宅の近所でもあり、毎日もったいないなあと目にする深沢の空き地を始め、「実験的にも利用できる環境にできないものですか！」と望んでいます。計画自体が大きなものだけに、既に多く</p>	<p>倉市の将来都市像に沿ったまちづくりについて、インパクトを与えると同時に、地域に新たな価値を創造することで、これを実現させる引き金となることを目指したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これら上位計画に及ぶご意見については、上位計画の推進や見直しの際の参考とさせていただきます。</li> <li>公的不動産の利活用によって、鎌倉全体や3つの拠点、公的不動産の周辺エリアの価値を上げ、特性を生かすとともに、それぞれの連携による相乗効果を生み、まちづくりを進めます。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			の無駄が積み上げられているのではないのでしょうか。深沢エリアでは、計画を待ちきれずに解散してしまった市民団体もあります。 さらに 10 年近くは厳しいですね。上手い今後のプロセスについて議論が必要です。結果が先伸ばされても嫌にならない日々のあり方。非常に動的な現代と未来ですから。	(前ページの続き)
17	99	P4 下から4 行	三地区の総合的な都市創造計画には賛成です。 ただ扇湖山荘と旧邸宅4棟の使用方法に意見を持っています。	
18	99	P5, 6	最後にそれぞれの <u>地区</u> のアクセスの問題が残ります。 私がかねてから用地確保と土地の高低差から鎌倉ではモノレールが有効だと云っています。 鎌倉西口→ときわ住宅地→扇湖山荘→七里ガ浜→鎌高前→江の島、と 鎌倉西口→源氏山→梶原四丁目(旧野村)用地→寺分ロータリー→深沢合流(大船へも江の島へも) この2車線が大船、鎌倉、深沢を結ぶ強力なルートとなることでしょう。 みなと未来地区でも 20 年近くかかってやっと全体が見えました。鎌倉も若い市長様を中心に 20 年後の都市の様子が楽しみです。宜しくお願い致します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的不動産を結ぶインフラについては、鎌倉市交通マスタープランや深沢地域のまちづくりと連携を図りながら検討していきます。</li> </ul>
19	105	P36～41	行政や商業地域とし1つの大きな街づくりにするのではなく、各々の地域に集える場や公園等の充実をして下さい。近くに集える場所があること、それこそが地域の活性化です。現在でも集える場所が少なく、なかなか予約ができません。若い人も老いの人も生き生きと暮らせるために、市民はでかい建物、遠い場所を望んでいません。皆が生き生き暮らせるために、地域のコミュニティを応援し、そういう街づくりをして下さい(集会所も安くして欲しい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的不動産の利活用に関する本取組は、平成37年度(2025年度)までを計画期間とした第3次鎌倉市総合計画や鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市人口ビジョン・鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略等で検討した鎌倉市の将来都市像に沿ったまちづくりについて、インパクトを与えるとともに、地域に新たな価値を創造することで、これを実現させる引き金となることを目指したものです。</li> <li>・これら上位計画に及ぶご意見については、上位計画の推進や見直しの際の参考とさせていただきます。</li> <li>・公的不動産の利活用によって、鎌倉全体や3つの拠点、公的不動産の周辺エリアの価値を上</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<p>げ、特性を生かすとともに、それぞれの連携による相乗効果を生み、まちづくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>

## 官民連携に関する意見

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
20	2	全体	<p>1. 基本的に市が運営するのではなく民間に 有料で貸して民間がいろいろ営業を運営する基本賃料 + 営業の利益額に応じた営業費を市に払ってもらって 貸す。基本賃料は維持するうえで最低かかる費用の額とする</p> <p>2. コンペ方式で 民間に 営業案を提案させる</p> <p>3. 市民が 無料で 利用するような使い方は しない事維持費が大変。税金で維持費を払えないため。市民に安く利用できるようなこともしない。黒字にはならないから。</p> <p>以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国は官民連携について、「厳しい財政状況の中、人口減少・少子化等を踏まえた公共施設等の集約・再編など真に必要な社会資本の整備・維持更新や公共サービスの持続的な提供を実現するためには、PPP/PFIにより民間の創意工夫を最大限活用することが有効である。」としています。</li> <li>・本市においては、この考え方を踏まえた上で、単なる商業性の追求とならないよう「パブリックマインド」を持った民間の活用に委ねることを考えているものです。事例を研究し、慎重に進め、より良い官民連携に努めていきます。</li> <li>・いただいたご意見のうち「パブリックマインドを有しているかどうかの判断基準はあるのか。」の部分参考に、P62の表現を変更しました。</li> </ul>
21	5	全体	<p>今朝、市長から「温故知新」を頂きました。</p> <p>先ずは鎌倉市にインセンティブがあることが一番かと。鎌倉市には知見のあるリタイアメントも多いので、民間企業誘致+高齢者活用(仕事)による生産性向上。欧米に参考になるモデルがありませんかね。</p>	
22	20	全体	<p>1. 官民連携について</p> <p>市民が親しみをもてるよう、市内の代表的な民間企業との連携を検討してほしい。</p>	
23	22	全体	<p>・民間がPFI方式等で公的不動産の利活するのは結構だが、その為に市が負担する設備整備費等に対しての財源確保をどうするかを明示を願いたい。</p>	
24	90		<p>民間の参入への過度の期待があるように思えます。公が担うべき所に民間が入り込むことは避けるべきだと思います。ツタヤ図書館のようなものが鎌倉にできるのではないかと不安です。</p>	
25	92	P9	<p>「本市とともにまちづくりに取り組み、自身の利益の追求だけにとらわれず、鎌倉のまちや地域の価値を高めていくといった理念「パブリックマインド」を持った民間事業者等」というが、パブリックマインドを有しているかどうかの判断基準はあるのか。結局のところ事業提案の内容で判断することになると思われる。「パブリックマインドを持った民間事業者」ということを強調するのは不自然である。</p>	

## 個々の公的不動産に関する意見&lt;鎌倉市役所(現在地)&gt;

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
26	6	P36	<p>市役所本庁舎を、深沢を移転先とする計画については、鎌倉は高齢化が全国でも急激に進んでおり、深沢国鉄跡地は鎌倉駅、大船駅のような主要駅から遠く、高齢者にとって楽なアクセス手段が確保されないため、反対いたします。</p> <p>逗子市にしても横浜市にしても市庁舎、図書館本館などは駅からのアクセスのよいところに設置されています。車で移動しない社会的弱者のことを充分配慮した計画が本来必要だと考えます。</p> <p>市役所本庁舎の新規建設にともなう多額の費用を捻出する以前に、観光客増大による慢性的な休日の交通渋滞など、地域住民の生活の不便さをまずは解消する必要があります。</p> <p>目立ちかつ手をつけやすい市庁舎本庁舎移転ではなく、本質的な市民の生活改善のために計画を再検討していただけるようお願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性やシンボル性は大変重要なものと認識した上で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針として昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を策定したところです。</li> <li>・現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転先と併せて現在地の新たなあり方を検討してきたものです。</li> </ul>
27	10	P15	<p>市役所移転後の本庁舎敷地には、鎌倉市の歳入になるような複合型商業施設を設置すべきだと思います。藤沢市の湘南 T-SITE やテラスモールを訪れますと、鎌倉市の商業的な立ち遅れを感じます。鎌倉ならではの、アンティーク街、茶室、邦楽会場、SOHO 的なオフィスエリアなど誘致したらいかがでしょう。公共施設の場合は、大船観音向かいの敷地など、すでに十分用意されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
28	15	P15	<p>昨年 12 月の地域(浄明寺)説明会で本件に関する市の具体的方向性を聞くことが出来たので、本庁舎移転と公的不動産利活用について私なりの考えを以下のように纏めました。特に本庁舎については年間の歳出が 550 億円かかる市財政に対し、どのような形にせよ約 200 億円、すなわち年齢に関係なく等しく一人当たり 12 万円かかる大プロジェクトの整備コストの重みを考えると、市民の一人として問題意識をもち検証すべきと考えたものです。</p> <p>1. 本庁舎移転のニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性やシンボル性は大変重要なものと認識した上で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>ニーズとして①老朽化②災害対応拠点の位置づけ③スペース不足の3点があげられています。50 年になる建物の老朽化は、今後の耐久性に大きなリスクを伴うのは理解できます。災害対策拠点としても海拔が十分でない等現在地に難があるのもうなずけます。③のスペースについては後述するように市の役割、業務の IT 化の進展と職員の減を見通すと、将来、ニーズが継続してあるかという点で疑問があります。</p> <p>2. 本庁舎移転について</p> <p>1) 鎌倉、大船、深沢を鎌倉の3拠点として地域特性を生かし役割分担していく案は良いと思います。特に私のような旧鎌倉に長年住んでいる市民は大船、深沢の位置づけにかなり理解不足のように思います。鎌倉を観光ブランド維持の場、大船は企業誘致で大いに税収増を狙う地域、深沢は人口増を担い活力を上げる地域、という色分けは大賛成ですし、この市の戦略はもっと市民全体で共有すべきです。</p> <p>2) 深沢、大船にはすでに行政サービスを担うセンターがあります。それぞれ 30 年ほど経過していますが、後段に述べるように手続きや謄本の入手などは IT 化により今後重要度は減じてくるはずなので、経年劣化の対策をすることで当面は問題ないと考えます。</p> <p>3) 現在の本庁舎が海拔9m となると十分な津波対策が取れないという観点から深沢に防災本部機能を移したいことは理解できるにしても、鎌倉から深沢へのアクセスは車以外では悪く、市民が気楽に相談に行ける場所ではありません。</p> <p>4) 資料にある活用のイメージを拝見すると「新しい拠点の機能強化・賑わいの創出」とありますが、深沢は人口増を受け止める住宅エリアで、賑わいを創出するのはやはり公共交通拠点である大船か鎌倉のではないのでしょうか。再度指摘させていただくと、市民が日々行くとしたら公共交通機関であるべきで、それを現在のバスルートやモノレールに依存するのは無理がないでしょうか？</p> <p>5) 施設再編計画を策定するにあたり、人口減という負の側面と、行政改革や IT 化の進展という正の側面は既に検討の前提として挙げられています。後者は更に真剣に検討すべきです。AI や IOT の流れは不変であり、IT インフラの急速な能力向上により市政でいうところのあらゆる手続き業務はコンピュータに置き換わってきます。このことを“将来”などという曖昧な時間軸でなく数年～遅くも 10 年の中で完全に置き換わる前提にして、その時間軸の中で現在の行政業務を棚卸し、その方向に合わせていくべきだと思います。勿論あと数年でオープンしようとする新本庁舎はそれから更に 50 年程度使用する建物ですから、人口減+IT 化による大幅効率化の時代に即したものであるべきです。となると、所謂大きな“箱もの”を作るのは時代錯誤です。コンパクトシティ、IT によるコンパクト行政に合ったもの、さらには観光資源を大事にしつつ、未来に誇りが持てる鎌倉市のシンボルにして頂きたいです。</p> <p>以上から私の結論は現在地での建て替えです。</p> <p>昨年3月に「本庁舎は移転して整備する」との決定がなされたようですが；</p> <p>① 文化財の保護などで時間かかるのはやむを得ないし、そのために今ある場所をそのままにせざるを得ない、というのは移転するためだけの理由に思われます。市民の住居は遺跡が出たから建てるな、とは言えません。早く徹底調査したうえで建てれば済む話。更に言えばもし歴史上埋めてしまうのはもった</p>	<p>「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針として昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を策定したところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転先と併せて現在地の新たなあり方を検討してきたものです。</li> <li>・いただいたご意見のうち「スペースについては後述するように市の役割、業務の IT 化の進展と職員の減を見通すと、将来、ニーズが継続してあるかという点で疑問があります」、「市財政の中でマネージするのか、も当然説明責任があります。」の部分を参考に、P41、P62 の表現を変更しました。</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>いない遺跡が出たら、そこを外から見えるようにして観光資源にするのもありではないでしょうか。</p> <p>② 市役所というところもすべからく“立派”ですが、将来こんな立派な建物誰が使うんだろう？というものばかりです。鎌倉の経営を考えたら、できるだけ深沢や野村跡地は早く売却して身軽な体質にすべきです。地理的(山が多く狭隘な平地)にしては比較的な大規模な場所を得たからといって、活用、すなわち老朽化した本庁舎や防災部局の建設移転、と発想するのは簡単すぎる発想です。民間企業が出来るだけ圧縮した資産で最大の利益を得るのはご承知の通りです。ただし、大船地域で資生堂が撤退し、梶原の野村が撤退した理由をよく分析し、企業に魅力ある鎌倉にする努力を重ねないと企業誘致は絵にかいた餅になりかねませんが。</p> <p>③ 少子化の進展が想定されているのですから、御成小学校の規模を縮減し、現在の市役所用地プラスで建て替えの検討はできないでしょうか？教育にタッチするのはタブーのような考えにとらわれず、駅裏の一等地を最大限に活用すべきです。</p> <p>④ 防災拠点の深沢移転は引き続き検討が必要と思います。現在地でも本庁舎を建て替える際に、防災拠点や災害後の援助関連施設は盛り土にして建てるとか、電源、ジェネレータ等の緊急インフラは上階に設置するとか、すればアクセスも含め深沢と同等あるいはそれ以上の防災機能は強化できると思いますが。</p> <p>⑤ 勿論建て替える場合でも前述した、IT 化による行政効率化と人員減(たぶんこれからの定年者自然減マイナス新卒採用)が前提で、執務スペースを相当減らすことが大前提です。当然本庁舎の建物も思い切った縮減が前提です。そうすれば、現在地建替えて整備コスト 194 億円＋解体等 3.6 億円を削減可能ではないでしょうか。</p> <p>⑥ 建替え、現在地でのメンテ、移転いずれも 180 億円～210 億円の巨費を投ずるわけですから、この建設資金をどう調達し、毎年計上する償却費負担をどう 500 数十億円の市財政の中でマネージするのか、も当然説明責任があります。「移転後の跡地の民間活用 (PPP,PFI) 導入で整備コストを最小限に抑える」とありますが、現時点で数十億(棒グラフを見ると)の民間活力導入が具体化しているのであれば、このことを市民に明示すべきです。もし結論を出すまでに具体的な案件がないのであれば、このメリットは未実現として資金計画を立てるべきです。(この辺りが申し訳ないが“自治体はコスト意識が甘い”と言われる所以)</p> <p>3. 結び 本プロジェクトを検討するにあたり、3年前から有識者の意見聴取、市民の意見聴取、等々活動を重ねてきた努力は多としますが、今回私が検討するにあたり、一番わからなかったのは、本当に主たる本庁舎を深沢にもっていき、市機能を分散することが将来の鎌倉にとって良いことなのか？という点です。その答えが老朽化、防災、少子化への対策なのでしょうか？更なる真摯な検討をお願いいたします。</p>	(前ページの続き)
29	16	P15 他	<p>日本は、オリンピックに向かって又その後に向けて観光にはこれまで以上に力を入れ諸外国からの訪問客を呼び込み経済景気の上昇に弾みをつけたいとしている。東京に降り立った旅行者は1時間で到達できる魅力ある古都として鎌倉をあげる人はこれからも増加することが予想される。この機会に観光客に</p>	<p>・公的不動産の利活用に関する本取組は、平成 37 年度(2025 年度)までを計画期間とした第 3</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>とって魅力溢れる街、住人にとっても居心地の良い鎌倉にするにはどうすべきかを考えるのは良い機会だ。</p> <p>電車での来訪者にとって問題、電車から吐き出された沢山の観光客は、狭いプラットホームを渋滞しながら狭い階段を経て改札へと進まなければならない事故が心配される。又バス、自家用車での来訪者は、極端に鎌倉独特の狭い道に朝からナビも駆使して殺到する事となり自然渋滞が所構わず発生する。街中には高い値段の小規模駐車スペースしかない。無策により公共の駐車設備が少ない事が大きな問題だ。又観光客が体を休める公共のスペースは海岸砂浜を除けば余りにも少ない。一方、住人側からすれば、車が出せないほどの車の混雑が今後更に激しくなるのは困りものだ。休む場所のない訪問客は、日が暮れる頃には疲れ果てて東京、横浜方面に皆が逃げ帰ってしまう。後は夜の楽しみのない鎌倉は閑散とした町に一変、夕食を楽しむレストランは空っぽの寂しい街になる、これが現状ではないだろうか。</p> <p>そこで提案</p> <p>1、市役所移転の後スペースには、公共駐車場他皆が自由に座ってゆっくり話が出来、体を休める自由空間を作っては？</p> <p>2、中心部には外部からの車の乗り入れを禁止し、深沢、野村ほかの周辺土地に大型駐車場を設け外部からの駐車場とし、大気汚染対策の小型EVバスでの中心部への輸送を考えてはどうか。本気になればできるはずだ。</p> <p>3、由比ヶ浜駐車場は夜間も利用も可能にする。</p> <p>その他</p> <p>美しい古都として今後も存続していくためには、他の都市に先んじて安全歩道の整備、塀の緑化推進、古都としての夜照明の工夫、緑の保全、電柱、電線の地下化、自販機の制限、選挙ポスターの撤去(これは本当に醜い)など鎌倉独自の方策を積極的に取り入れていくべきではなかろうか。</p>	<p>次鎌倉市総合計画や鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市人口ビジョン・鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略等で検討した鎌倉市の将来都市像に沿ったまちづくりについて、インパクトを与えるとともに、地域に新たな価値を創造することで、これを実現させる引き金となることを目指したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これら上位計画に及ぶご意見については、上位計画の推進や見直しの際の参考とさせていただきます。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> <li>交通に関するご意見については、鎌倉市交通マスタープランや深沢地域のまちづくりと連携を図りながら検討していきます。</li> </ul>
30	17	P22	<p>市役所跡地</p> <p>ホール、図書館、福祉センター等施設利用者のための一時預りが必要。学習センター機能を拠点校へ集約させる案は安全上も施設規模としても難しい(反対です)。市役所跡地にこそ学習センター機能が必要(集会スペースの確保)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性やシンボル性は大変重要なものと認識した上で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針とし</li> </ul>
31	19	P15	<p>鎌倉市津波ハザードマップによると現在の市庁舎は、津波到達地点の最終地点にありこれより大きな津波が来たら防災拠点とはなり得ません。市庁舎は、深沢に移し跡地には、一昨年完成した大和市の「シリウス」をモデルにしたような施設を遣れば古都鎌倉にふさわしい「文化創造拠点」になると考えます。多少この施設に関係しておりましたので必要があればご案内いたします。</p>	
32	20	その他	<p>2. 今後の鎌倉への観光客は訪日客を含めますます増加することから、国際的レベルの観光案内所を駅周辺の立地に設けてほしい(トイレ、休憩所、通訳等々を用意)。市役所跡になるか。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<p>て昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を策定したところでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転先と併せて現在地の新たなあり方を検討してきたものです。</li> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
33	21	P15～27	1～5ページまでの見解を踏まえつつも、深沢地域移転については再考願いたい。私は現在地での長寿命化を図るべきと考えますが、いずれにしても、財政計画が策定されなければ判断しかねる課題です。特に P27(エ) 移転先の決定に市民の考えが反映できていないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性やシンボル性は大変重要なものと認識した上で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針として昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を策定したところでは、</li> <li>・現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置す</li> </ul>
34	25		<p>* 市庁舎の機能の中心は現在の場所に置き、深沢は「防災拠点」として、災害時非難場所、避難施設を含め活用することを提案します</p> <p>* 現市庁舎場所に立替時点での埋蔵物関連に関しては、当然のこととして調査すべきものです</p>	
35	26	P15 他	<p>プール、体育館、野村総研跡などが深沢に全て集約されてしまうと、鎌倉駅付近に住む人たち、特に子ども達が徒歩自転車で行ける遊び場や体を動かす場所が著しく減少してしまうと感じます。(今でも少な過ぎます。)</p> <p>民間による活用ばかりが見受けられますが、商業の利用性ばかりが優先されている感じがしてなりません。市庁舎の移転に関して反対はしませんが、鎌倉地区に住む子ども達の健全な育ちを向上させるような場を増やすのではなく減らす方向性には賛成出来ません。</p> <p>特に鎌倉駅西口は、住人のための落ち着いた場所となっているので、本庁舎跡は商業化せずしっかりと住人のコミュニティや子ども達の居場所となるような、安心して住み続けられるシンボリックな存在となることを望みます。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				ることに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転先と併せて現在地の新たなあり方を検討してきたものです。
36	28	P23	市役所本庁舎の移転に関しては概ね賛成できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> <li>いただいたご意見のうち「30、31年度の構想・計画は、「ここまでは計画」「ここからは構想」として分けて、進めていただきと思います。」の部分を参考に、P62の表現を変更しました。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
37	34	P59～60 P19～21	市役所跡地の利活用については、急ぐことなく移転後、市民生活や街の変化をよく見た上で、段階的に必要なものを整備していただきたいです。そのため 30、31 年度の構想・計画は、「ここからは構想」として分けて、進めていただきと思います。 (詳細意見) ミーティングスペースは、集会だけでなく文化活動など市民が多目的に使用できるため、多く確保していただき、民間管理により早朝から夜遅くまで使用できる環境を整えていただきたいと思います。	
38	36		市役所後を、公共施設および公園で構成するのであれば、現在進めている西口整備とあわせて考えてみたらいかがでしょう。市役所へ向かう歩道を公園予定地に誘導し、公園予定地と一体的に整備するなどすると統一性があり、望ましいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉駅西口周辺まちづくり基本計画など、周辺のまちづくりと調和を図っていきます。</li> </ul>
39	37		この度のパブリックコメント募集に関して、鎌倉市役所が将来的に深沢地区に移転する計画に関して、移転後の現鎌倉市役所の跡地の活用方法について、意見を述べたいと思います。 現在の鎌倉は、近年の鎌倉ブーム等の影響もあるのか、転入増により市人口が微増を続けていますが、日本全体の少子高齢化の影響を受け、将来的には市内人口が減少する状況が見込まれています。 その中で、現在の鎌倉市の自然増・転入超過による人口微増状況を継続させる為には、「魅力ある鎌倉」の持続、そして、鎌倉の魅力を更に輝かせる事が必要だと思えます。 では、「魅力ある鎌倉」と魅力を更に輝かせる為には、いったい何が必要か。 現在における鎌倉が魅力ある理由を考えると、古来から現存する多くの歴史的文化財。鎌倉の文化的な背景に魅力と感じ移り住んだ明治・大正・昭和期の多くの文化人住居の歴史。そして、多くの文化財の存在を保護する為の行政による多くの規制や、鎌倉在住の先人達の環境保護活動の結果、比較的に開発が行われず文化財や自然環境が保たれている状況があり、それが鎌倉らしい環境を作り出し、それが鎌倉の魅力となっていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> <li>交通に関するご意見については、鎌倉市交通マスタープランや深沢地域のまちづくりと連携を図りながら検討していきます。</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>そして、このような鎌倉らしい環境を好む人達が存在し、その人達の市内への移住と旧来の文化や市民達との共生が、鎌倉の魅力をもっと輝かせているのだと思います。</p> <p>これらが鎌倉の魅力、鎌倉地域キーワードの歴史・文化・自然・環境・交流・伝統・環境共生カルチャー・スローライフに繋がっていると考えられます。</p> <p>では、魅力ある鎌倉の輝きを、今後においても維持する為には、何が必要かですが、これはやはり基本に戻る必要があると思います。</p> <p>基本とは、歴史・文化財の保護と過度の開発を規制し自然環境を残すことだと思います。</p> <p>しかしながら、規制し自然環境を残す事が鎌倉の魅力につながるにしても、現鎌倉市役所の跡地についてどうするか、ただ保護・保存するだけでは、鎌倉市の魅力の現状維持だけで、更なる輝きに寄与する事にはならないと思います。</p> <p>そこで、行政としては「なりきる」事が必要になります。</p> <p>まず、行政が環境保護や文化財保護に熱心な姿勢を大いにアピールし「なりきる」事で、鎌倉の魅力を構成する要素を守っている姿を外部に示す事が重要だと思います。</p> <p>その為、鎌倉市役所跡地については、熱心な「なりきり」姿勢をアピールする為にも指定域内全体として保護する必要があると考えられます。</p> <p>まず、行政が率先した「なりきり」姿勢を示す事が、鎌倉という地域が他と違った特別な地域であるというイメージにもつながり、それらが鎌倉の魅力につながる事になると思います。</p> <p>仮に、全体として保護する事が困難で、当該地域に市の事務所機能を残すにしても、それについても鎌倉の歴史的・文化的背景に即した日本的木造建築物や庭を構成し、文化都市鎌倉の名前に恥じない物にすべきでしょう。</p> <p>近年、鎌倉に於いても海外からの観光客や外国人住民が増えています。外国人にとっての日本の魅力は、やはり伝統文化・和の文化だと思います。</p> <p>近年、鎌倉に於いても近代的な建築物が多く建築されたりしています。しかし、海外から見た鎌倉とは、やはり歴史的、文化的な都市なので、行政が率先して歴史的・文化的な物を尊重する姿勢を見せる事も、海外から見た場合の鎌倉の魅力につながると思います。そして、海外の人たちが好んで訪れる場所である事もまた、鎌倉の輝きに資すると思います。</p>	(前ページの続き)
40	39	P15～	<p>市役所に関して本来は現在の場所、もしくは鎌倉駅から歩いて行ける範囲であるべきです。</p> <p>例えば、深沢地区に市庁舎が移転してしまうと、そこに行くために市民が追加的に負わなくてはならないコストは、未来永劫に繰り返し掛かります。(鎌倉-藤沢間の道路の渋滞も解消できていないし、費用面でもかなりの人が逗子市役所に行く方が安く近いという笑えない状況。)</p> <p>ですので、建物の建築等のコスト以外に、市民がそこへ赴くために必要なコストを足し合わせて考える必要があります。また、現状 M1 月 D1 日～M2 月 D2 日まで XX について YY 課で閲覧できますなどと言って、意見を集めた的な手続きをしています。同じことは通用しなくなります。現在の市庁舎の場所に 1F の窓口機能を残すといっていますが、他の階の業務についても、少なくとも上記のような意見を集める手</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性やシンボル性は大変重要なものと認識した上で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>続きに対応する窓口が必要です。</p> <p>電子化をきっちり進めてONLINEで実施できるようになればよいですが、過去の例からするとWeb上では上記のような手続きは行われなかったり、周知自体が締め切り間近になってからだったりを繰り返しているのもはや「やります」言われても虚しいです。</p> <p>本件も、パブコメの実施の通知が遅れていたのが本来は期間を延長する必要があると思っています。(「12/22から募集していました」と年が明けてから公開しても間に合いません。)</p> <p>また、建物の高さや建蔽率の問題は、自らが課した条例なのでそもそも市民のために必要なら指定自体を緩和すべきです。</p> <p>津波からの避難等を考えると10[m]では公的な使命を果たせないという具体的な問題もありますので、動かせない縛りと考えてるのではなく、ちゃんとトレードすべき問題だと思います。</p> <p>※風致等の規定は高々人が決めたもので、合理的であることが保証されているものではありません。不合理であれば正すべきです。</p>	<p>果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針として昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を策定したところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転先と併せて現在地の新たなあり方を検討してきたものです。</li> </ul>
41	41		<p>鎌倉には由緒ある建物があるので、そこはその趣を残しつつ観光名所として残していただきたいです。</p> <p>また、市役所跡地は鎌倉から文化発祥できる場所として映画館、アートサイトに活用していただきたいと考えてます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
42	55	P15, 36 他	<p>深沢の新市役所予定地や現市役所の跡地に図書館・学習センター・文化ホールの機能を兼ねそなえた施設を要望します。また、お子さんを預けられる場所も中に整備すると市民の利用がしやすいと思います。</p>	
43	57	P15	<p>鎌倉市役所： 現市庁舎は主要駅近くにあり、風格ある建物と共に市民に親しまれている。耐震性を高めたばかりなので市民サービスを受ける部分は残し、事務的機能なら深沢へ移動してもよい。市長は現庁舎にいるべし。柏尾川の逆流も考えるべし。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性やシンボル性は大変重要なものと認識した上で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針として昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を策定したところです。</li> <li>・現在地はポテンシャルが高く本</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転先と併せて現在地の新たなあり方を検討してきたものです。
44	67	P6	・市役所跡地に生涯学習、芸術文化市民活動等の拠点化のため、図書館等の再編とあるが、ここに現在の中央図書館の近代史資料室を再編して実際に機能する鎌倉の近現代史資料の収集保存学習のための文書館(資料館)を組み入れてほしい。鎌倉の近現代史を重視し学ぶことは唯一他市との差別化であり、今後のまちづくりの重要な柱となる。	・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。
45	69	概要版 P2, 3, 4, 6	基本的に市役所移転に反対してきました。 「鎌倉市の魅力に磨きをかける」「古都鎌倉としての風格を堅持した」等の言葉だけでなく折角の歴史交流館は土・日は行かれないなど、人を市民を大切にするにはどうするか。読み進むと移転は決定なのだと。 ならばアクセスの問題はどうしていくのか見えない。 市役所跡地に図書館、学習センターの再編とあります。是非図書館を広げ、近・現代史料の拡充と拡大出来る場を作って下さい。鎌倉の近現代史にスポットを当てると鎌倉市の魅力に磨きがかかります。研究する大勢の市民がいますから。	・交通に関するご意見については、鎌倉市交通マスタープランや深沢地域のまちづくりと連携を図りながら検討していきます。 ・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。
46	71	P15	現在地（鎌倉市役所） 「鎌倉時代の建物群の復元」 日本各地の古代遺跡や中世城郭で行われているような、発掘遺構を基に複数の建物の学術的な再現を行う。いわばミニ鎌倉村を市庁舎跡地に一角に造る。(市庁舎敷地は今小路西遺跡の該当地)鎌倉歴史交流館が近くにあり、国宝館との再編が考えられている今、バーチャルでなく現地で触れられることは大きい。町のブランドの向上と生涯学習のツールとしても多大な効果があると思われる。 ※蛇足であるがもし可能であれば御用邸の池も市民の憩いの場としても復原して欲しい。	・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。
47	73	P27	・市役所本庁舎を深沢地域整備事業用地に移転するとしているが、反対である。 市役所本庁舎は現在地にそのまま残すべきである。移転すべきでない。その理由は4点。①市庁舎は街の中心にあるべきである。現在地は歴史的にも文化的にも鎌倉の中心であり、ここに本庁舎があることで	・現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性や

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>機能を果たしている。②コストを検証すべきである。移転費用は 180 億円としているが、現庁舎の解体費用は入っていない。深沢の JR 新駅の建設費も計算に入っていない。これを加算すると移転費用は甚大になり、将来に大きな負担を残すことになる。③現庁舎をそのまま補強して使用すれば、費用は最少で済む。津波浸水の可能性を指摘されているが、その際は逃げればよい。災害時のバックアップ機能として深沢には分庁舎を建てればよい。④現庁舎が狭いと書いてあるが、駐車場にプレハブ庁舎を建てるなどして、機能を分散すれば現状でも対応できる。あくまで本庁舎を深沢に移転する方針を変えないのであれば、市民サイドとして、住民投票を実施することを呼びかける覚悟である。きわめて大きな政策であるので、住民の声(民意)を聴く必要がある。鎌倉駅西口の商店街もさびれる。住民投票で賛成か反対かを聴いてから、政策決定する必要があると考える。</p>	<p>シンボル性は大変重要なものと認識した上で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針として昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を策定したところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転先と併せて現在地の新たなあり方を検討してきたものです。</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
48	74		<p>名こそ惜しけれ—鎌倉の恥 素案への意見の前に市として、行政側として考えなければならない事項を書いてみます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市のシンボルとは一体何か、市庁舎ではないのか。歴史ある旧市内にあるべき。</li> <li>2. 市職員の鎌倉市民割合はいかほどか、市民であれば市への愛着がある、愛着があれば公金のずさんな管理もなくなる。公金は返せばよいと言う問題ではない。</li> <li>3. 市職員は全員市民憲章、平和都市宣言を暗唱しているか、この文章を繰り返し読むことで理念を理解しその理念に則った行政が行える。</li> <li>4. 全国 10 位の税金の高さで不交付団体とはいかに。</li> <li>5. 市の財産の利活用再編を言うのであれば昨年開設した歴史文化交流館(土日閉館とはなんと無様な施設か)はどのような経緯で開設されたのか。矛盾を感じる。</li> <li>6. レイウェル鎌倉はどうして売却したのかその正当性は。</li> <li>7. 寄付された資産を将来「売却します」などと言う破廉恥な行動を起こさない保証は如何に担保されるのか。</li> </ol> <p>さて題名の{名こそ惜しけれ}と言う側面から意見・問題点を書きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 坂ノ下の下水道は露出した状態で何年も放置して。元の状態の戻す気配がない。</li> <li>2. 住居住宅の狭隘化が進んで緑多き市街地が蝕まれ数十年後にスラム化する。</li> <li>3. 将来小中学校児童生徒が半減する事態にいかに対処しようとしているのか。</li> <li>4. 釈迦堂口隧道、北鎌倉駅隧道の現状は観光地らしからぬ悲惨な状態。</li> </ol> <p>世界遺産を目指していた市として今回意見を求めていることを考える前にこれらの問題を解決するめどを付けてから今回の意見募集の資産活用を図ってほしい。第三者委委員会に検討をお願いした結果、市庁舎を移転することに意見が集約されたようですが、その委員会は市長市庁職員が選んだもので市民が選んだものでない。生活の基盤である下水道を最優先に整備(再埋設)してください。現在の露出配管にトラックでも突っ込んだらどうなるのでしょうか、考えてください、あまりにも寂しい状況ではないでしょうか。</p> <p>職員は規則条例等に沿って日常業務をこなしているように見受けられ(不動産工事業者への指導が全く不十分)、将来の美しい鎌倉を見据えていない。埋蔵文化財包蔵地区を掘壊す工事が日常茶飯事、業者指導の担当部署である建築指導課と言う名前がおこがましい。</p> <p>学校の老朽化はいかに対処しようとしているのか児童生徒数減少の課題と合わせ問題解決の方法を策定したのちお金がかかる今回の意見募集の資産活用を図ってほしい。</p> <p>これらの隧道について市は人身事故を懸念して責任逃れをしていると受け止めています。多少の補強をした上で各個人の責任で通行可能にすべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的不動産の利活用に関する本取組は、平成 37 年度(2025 年度)までを計画期間とした第 3 次鎌倉市総合計画や鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市人口ビジョン・鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略等で検討した鎌倉市の将来都市像に沿ったまちづくりについて、インパクトを与えるとともに、地域に新たな価値を創造することで、これを実現させる引き金となることを目指したものです。</li> <li>・ これら上位計画に及ぶご意見については、上位計画の推進や見直しの際の参考とさせていただきます。</li> <li>・ 現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性やシンボル性は大変重要なものと認識した上で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針として昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を策定したところです。</li> <li>・ 現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
49	74		<p>利活用推進方針案への意見</p> <p>さて今求められている意見は、上記各懸案が解決されることを前提に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎は耐震改修をされているので今の場所でそのまま使い、手狭であるなら収容できる数の職員にとどめ、支障をきたす業務は外注化する。市庁舎の移転は必要ない。今の土地に市庁舎を作る時のどれほどの労力を費やし、どれほどの自然破壊をしたのか今一度歴史を見直す必要がある。</li> <li>・今回意見を求められている施設等でコンクリートの建物は時期を見てすべて取り壊し跡地は広場・公園(子供たちの遊び場)とする。子供の遊び場が増えれば人口の若返りが期待できる。広場はすべていつも開放、自己責任で自由に使えるようにする。管理することに、されることになれてしまう人間を作らない(今、その時代である)為に自由で自己管理できる人間を育てることを理念とする。</li> <li>・木造建築(扇湖山荘)は市民に無償で開放する。わが家は築 90 年、修理しながら快適に使っています。在来工法の木造建築は修理ができるがコンクリートは使えなくなる、市庁舎が 50 年で廃棄される、なんと無駄なことか、この費用は住民が払っているのです。この山荘は住民の各種集会に自由に使ってもらうのが良い。第三署に運営を委託し休息できる施設—お茶・昼食できる施設として活用するのが良い。</li> <li>・住民投票をして市の行政に対する判断を求めるというような方法も考えるべき。今の市議は何をしているのでしょうか。市長の言いなり、職員も言いなり、はた目にはそのように見えます。今回の利活用の意見を一件ずつ市民の合意を得る投票をする。まとめてではなく、個別に意見を求める方法が良いのでしょうか。こんな案でしようでしょうか、○×投票をするという方法で対処してほしい。</li> </ul> <p>再度、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付された資産を将来「売却します」などと言う破廉恥な行動を起こさない。</li> <li>・生活基盤である坂ノ下の下水道露出を埋設する工事を最優先にする。</li> <li>・市庁舎は移転しない、修繕して使う。度重なる自然破壊をしない。</li> <li>・今回意見を求めている資産は(扇湖山荘を除いて)すべて自然状態に戻す。近隣の住民が管理する公園広場原っぱとする。</li> </ul> <p>さらに今回市民から出された意見等は貴課で利用するだけでなく、市役所全部署全職員で共有して日頃の業務に活用してほしい。</p> <p>問題解決の糸口は市民憲章にあり、この理念を基に 100 年後を目指した行政をお願いします。</p>	<p>用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転先と併せて現在地の新たなあり方を検討してきたものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> <li>・公的不動産の利活用以外についてのご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
50	81	鎌倉駅周辺拠点(鎌倉市役所)	<p>鎌倉駅周辺は、観光客も多く、市民の生活の中心にもなっていますが、災害に備えるような防災拠点がなく、東日本大震災の時も列車の中や急遽、市の公共施設で夜を過ごした観光客もいました。また当時、市内は停電になり市民も情報を求めどこに行けばいいかわからず非常に困りました。駅近くには、市民のためだけでなく観光客にも対応できるような防災の拠点作りが必要と考えます。また、日々診療をしても高齢者、子供など世代を超えて憩えるような場所もなく、孤独な人が増えています。障害者のためのバリアフリーの整備も遅れています。駅周辺には公園もなく、遠足で来た子ども達や観光客が昼食をとる場所にも困っています。市役所跡には、災害時の防災拠点となり、普段は世代を超えて交流できる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			コジェネレーションを使った震災銭湯の設置(すでに鎌倉市議会で採択され設置に向けた検討を行うことになっており、鎌倉市公衆浴場組合も全面的に協力してくれることになっています)を核に公園を整備し、気軽に芸術鑑賞ができる野外劇場などを作ったり、市民サービスコーナーや急患診療所の設置、小規模な障害者関連施設、保育施設などを含む市民や観光客が世代や障害の有無に関わらず憩え、災害時には防災拠点として対応できるようなエリアとしての整備を提案します。	(前ページの続き)
51	83	P15～20	<p>鎌倉市役所本庁舎を現在地ではなくより好ましい環境に移転することは、示されている観点を総合的に考えて賛成します。しかし、移転後の現在地活用方法については大きな問題点が2つあると思います。1つは、地下遺構についてです。素案では遺跡に影響を与えない手法での活用が示されています。しかし、今小路西遺跡は鎌倉のみならず国全体にとって非常に重要な遺跡であることは周知の事実です。古代から近代まで、考古学、歴史学、民俗学、地層学等、各分野から重層的に研究することのできるきわめて貴重な歴史文化遺産であり、人類全体の宝物といっても過言ではありません。鎌倉市内にあって、これだけのまとまった遺跡を発掘調査する機会は今後得られないのではないのでしょうか？従って、ここは発掘調査の上整備し、「遺跡公園」として世界の人びととの共通財産として活用されるべきだと考えます。そうすれば扇ガ谷の歴史文化交流館や予定されている鎌倉博物館がより意義のある施設になると同時に、西口方面一帯が歴史文化ゾーンとして尚一層発展すると思われま。</p> <p>2つ目は、市役所跡地の利活用として、公共施設再編の観点から中央図書館、生涯学習ホール、ギャラリー、福祉センターなどの公共施設が上がっている点です。人が集うホールやギャラリーはともかく、100年を超える歴史に裏打ちされた中央図書館には、貴重な蔵書や資料が多数あり、現在は総務課より市の公文書も預かって整理をしているところです。いわば中央図書館は鎌倉市の知的、歴史的財産の最重要収蔵庫といっても過言ではありません。このように資料保存機能が重要視される施設には、当然ながら本庁舎同様 Is 値 0.9 以上の耐震安全性が求められます。一度失われたら複本が存在しない、あるいは高額で購入が困難な資料の保存については、もっと十全に配慮されるべきです。</p> <p>また、昭和 49 年に建てられた現在の中央図書館が全国的に見ても非常に狭隘な中央図書館であり、素案に示されている 2600 m<sup>2</sup>では地域館程度の広さしか得られないことは明らかです。中央図書館(文化財資料保存、公文書保存、学校図書館資料センター等が兼備できるもの)は議会図書室とともに新市庁舎エリアに入れることを強く望みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
52	84		<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所移転後の文化的複合施設に中央図書館が入る構想になっていますが、その面積が現在と変わらない 2600 m<sup>2</sup>を想定しています。集約化だけが目的になっていて、現状を維持できれば事足りるという安直な発想が伺えます。そこにはヴィジョンというものがなく、近年、他自治体で建設されている図書館と比べると恥ずかしいレベルではないのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
53	89	P19	サウンディング型市場調査結果に基づく検討について	<ul style="list-style-type: none"> <li>国は官民連携について、「厳し</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			市役所の位置に宿泊施設、商業施設、健康・スポーツ関連施設の提案があったとのことですが、近隣の静かな住環境を破壊し、さらなる交通渋滞を招くことは明らかです。ここを利益追求企業に供与することは、歩いて観光を楽しむ人々にもより大きな危険をもたらします。人口密度から言っても、旧鎌倉地区に大規模な集客のための大型施設をつくる必要はありません。市民の求める街区像ではなく、事業者主体の街区像に他なりません。また、鎌倉らしい景観と個性的な店舗のある街並みをつくっている既存の商店や飲食店舗にもマイナスの影響をもたらすと考えます。	<p>い財政状況の中、人口減少・少子化等を踏まえた公共施設等の集約・再編など真に必要な社会資本の整備・維持更新や公共サービスの持続的な提供を実現するためには、PPP/PFIにより民間の創意工夫を最大限活用することが有効である。」としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市においては、この考え方を踏まえた上で、単なる商業性の追求とならないよう「パブリックマインド」を持った民間の活用を委ねることを考えているものです。事例を研究し、慎重に進め、より良い官民連携に努めていきます。</li> <li>鎌倉市役所本庁舎の現在地（跡地）の利活用の検討では、市民の利便性や公共施設の再編（中央図書館などの集約・複合化）を主眼に置いて取り組んでいきます。</li> </ul>
54	89	P22	<p>公共施設を一極集中することへの疑問</p> <p>生涯学習センターホール、図書館、福祉センターなど、点在する機能を一極集中する案を策定しているようですが、その必要性を検討したのでしょうか。旧鎌倉地区は、中央図書館の拡充は非常に重要な検討事項であり、200名程度のホールもさらに必要であることは間違いありません。しかしながらそれを一か所に集中するより、それぞれが美しい景観を形成する個性的な建物として駅周辺の徒歩圏のエリアに点在することの方が、景観を損ねず、それぞれの建築物の味わいを醸し出すことができると思います。この案を見ていると、大きな建物を作って、その中に入れてしまおうという案ではないかと受け取れます。市民健康のためのスポーツ施設を置くこと、市役所の市民と密接な機能を置くこと、保育園や児童の施設を置くことは大切と思いますが、すべてを集中することの必要性をもっと詳細に説明しなくてはなりません。当会は、一極集中は鎌倉らしさを損なうと考えます。</p> <p>なお、このような施設をつくるために将来的に鎌倉の観光に資する貴重な資産である史跡相当の埋蔵文化財を破壊することがあってはならず、さらには将来的にその発掘と史跡指定、文化観光資産とするためのタイムスケジュールも考慮に入れて、上に乗せようとする施設の機能と、民間企業を入れる場合には、5年程度の返還期限を定めた貸与契約をするべきであり、これらを考慮すれば、実際に民間企業を関わらせるだけの中期的な計画地として適当でないことは明らかです。</p>	
55	92	P19	<p>サウンディング型市場調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●宿泊施設や商業施設、健康・スポーツ関連施設の提案があったが、公共機能部分の施設整備も含めた事業提案は、宿泊施設の提案の事例のみであったとのことである。大きな施設規模は望めないことから、宿泊施設の運営で採算がとれると事業者が考えるかどうかが問題。計画・実行フェーズにおいても施設整備を含めた事業提案がなされるのか、楽観できない。飲食、物販系では、なおさら楽観できない。</li> <li>●鎌倉物産館（鎌倉マルシェ）などの物販サービス施設の提案があったのかどうかは不明だが、可能性としてはありうる。鎌倉市では国の地域創生加速化交付金を得て鎌倉市版DMO設立に向けた方向性の検討を行っており、検討が進んでいけば市役所現在地での「賑わいの創出」に絡んでくることも考えられるが、動きが見えてこない。</li> </ul>	
56	92	P21	<p>利活用の基本方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の相談・手続きのための窓口をコンパクトに整備する（主に現在の市役所の1階にある機能）、とのことだが、①ずっと鎌倉地域にあった市役所を深沢に移転させることの重大性 ②現在地が駅近であるのに対し、深沢の移転先が鉄道の駅から遠いこと ③福祉の相談や手続きの窓口・拠点が地域分散型</li> </ul>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>で整備されていない現状等を踏まえ、大船ルミネの市民サービスコーナーのようなミニマムな規模ではなく、市民対応のコンシェルジュを含む、適切な機能・人員の配置を行うべきである。</p> <p>●鎌倉地域の公共施設再編の集約先として市民の生涯学習、活動の拠点とする方針には賛同する。図書館の整備では、現在の中央図書館の床面積約 2,500 m<sup>2</sup>を確保することができるとしているが、今日、公共図書館については、蔵書の貸出しサービスにとどまらず、「場」としての図書館、まちづくりを支える図書館(集客機能や市民交流の拠点)といったあり方が求められている。</p> <p>図書館機能を中心とし、生涯学習支援機能、市民活動支援機能、青少年活動支援機能を併せ持つ東京都武蔵野市の「武蔵野プレイス」のような施設を目指すことが望まれる。</p> <p>「大和市文化創造拠点シリウス」のように、保護者が施設を利用する間幼児を預けられる保育室の整備、現状で手狭な鎌倉市近代史資料室の拡充なども考慮すると、床面積は現状と同じ 2500 m<sup>2</sup>では不十分ではないか。</p> <p>武蔵野プレイスなどに倣って図書館機能と生涯学習などの他の機能とをうまく複合化させること、図書館に集客力を持たせることで民間機能(賑わいや憩いの創出)の後押しとなることなどを考慮して、スペースの確保に努めるべき。</p> <p>●集約化される施設としてあがっている福祉センターについては、「想定面積未定(福祉センター内の機能を見直し、福祉関連機能以外との複合化を検討する)となっている。また、コスト試算の資料では、「福祉センターは平成3年(1991年)度建築であり、築年数等を考慮すると、建物の解体を行わない土地・建物を一体とした賃借等が可能となれば、解体費用の削減をはかることができる」とされている。土地・建物は賃借の方向性、市役所現在地には同センターの福祉関連機能以外を持っていくということなのだ」と理解するが、福祉関連機能はどうなるのか。例えば、市社会福祉協議会が、深沢の新庁舎の余剰床に移転する可能性があるのか等、情報提供がないと集約化が支障なくできるのかどうか判断できない。</p> <p>●同様に、鎌倉生涯学習センターのホール・ギャラリー機能を集約化し、学習センター機能は地域拠点校への集約化を検討しているとのことだが、鎌倉地域で地域拠点校として「優先的に検討していく学校」は、御成小学校である。平成10年に建替え、市立小学校の中で最も築年数が浅い御成小学校を地域拠点校として早期に整備することは考えられない。この点についての情報提供も不足している。</p> <p>●整備コストの削減(収入の創出)は、民間利用の面積が大きいほど有効であることは理解する。しかし、公共部分 4000 m<sup>2</sup>に対し、民間部分が倍以上の面積になるように試算を行っていることに対しては、生涯学習、市民活動の拠点および市民の相談・手続き窓口の十分な面積の確保を求める。</p> <p>民間機能の導入として、「シェアオフィス、子育て施設などの導入による働く環境づくり」ということもあがっているが、「賑わいや憩いの創出」以外にシェアオフィスのスペースまで取れるのだろうか。民間からの事業提案により、効率的な収入確保(駅近の一等地の相場の賃料を取り、借り手が確保できる)の見込みがあるのならよいが、そうでなければこの場所にシェアオフィスが必要であるとは考えられない。</p>	(前ページの続き)
57	92	P22	<p>既存の駐車場は廃止し、市民、来訪者の憩いのために公園・広場等として整備する考え方に賛同する。賑わいや憩いの創出をはかる民間スペースとの一体化で、活用の可能性が広がる。</p>	<p>・引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				めていきます。
58	93		<p>1.鎌倉市役所(現在地)の利活用について 市役所移転において、最も重要と思われるのが、この市役所現在地をどう生かしていくかにかかっていると思います。</p> <p>ここは、あくまでも市民による市民のための場所であるべきだと思います。市民運動、市民活動の拠点となる場所であることで、地域に還元すると好感度、住みたい街度がアップすると思います。今まで敷地がない。という理由でできなかったことをこの場を使って思う存分チャレンジして欲しい(例 物々交換くるくる常設)。</p> <p>隣接する NPO センターがもっと大きくなって、精力的に活動している NPO 団体の事務局なども入ったら良い。</p> <p>そのことで、いろんな団体の横のつながりが深まり、一層活発になるのでは。事務局を置くのも無料ではなく有料でもいい(安価が望ましいが)。リフォームし、快適な空間で市民活動が活発化していく。</p> <p>鎌倉市民の市民力が低下しているように感じる昨今、市民力を生かしきれていない行政の在り方が気になる。</p> <p>市民力はいわばボランティアなのだから、市民がやりたいことを生かして環境を整えることで、市としてもできることが広がり、市民と一体となったまちづくりを予算をかけずにできるのではないのでしょうか。</p> <p>一部飲食店などが入ることは良いかもしれませんが、その運営も市民活動(NPO など)の運営でやりたいところがやると良いでしょう。(例えば、こども食堂など。)</p> <p>市内にすでに多くある飲食店、店舗などを活性化させる方が急務であり、また新たに一等地に飲食物販の商業施設は不要。</p> <p>さらにそれがチェーン系であればもってのほか。おしゃれな店舗はすでにたくさんあり、そちらへ行ってもらえるようにするのが勤めです。</p> <p>もしくは◎賑わいや憩いの創出 ということであれば、ポップアップ店舗として、市内の法人、個人の店舗がひと月ごとなどで出店するという形はどうですか？一等地ならではです。ブランド化にもつながりますし、入れ替わることで市民もそこへ訪れることが楽しみになります。各店舗も新たなチャレンジをする機会を手にすることができ、宣伝にもなります。経済効果が期待できます。大きな企業誘致ではなく、まず足元にすでにある個性豊かな鎌倉を愛してやまない人々が経営している店舗が活性化することを考慮すべきです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> <li>鎌倉市役所本庁舎の現在地(跡地)の利活用の検討では、市民の利便性や公共施設の再編(中央図書館などの集約・複合化)を主眼に置いて取り組んでいきます。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
59	95		<p>史跡公園として広く市民の憩いの場とすべきです。</p> <p>御成小学校から紀伊国屋スーパーにかけては、古代鎌倉郡の役所、および鎌倉時代の高級武家屋敷が地下に眠っています。市役所一帯はまさしくその中心です。移転を絶好の機会として、この際史跡公園として活用する以外には考えられません。どうかご考慮下さい。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
60	97		<p>1. 鎌倉市役所</p> <p>古代から昭和(~現在)までの鎌倉にとっても日本にとっても非常に貴重な遺構や、御用邸のあった由緒ある土地、そして御成小学校、昭和の近代建築の旧講堂、旧鎌倉図書館、御成門、御成山などの歴史的文化的遺産「御成遺産」が駅からとても近い場所にあり、それらを一体として私たちの世代から末永く引き継いでいくことがとても重要だと思います。市役所を残すにしても、建て替えるにしても、地下の貴重な遺跡をこれ以上破壊することなく、市民の身近にあることをいつも感じられるようにすべきと考えます。地下の遺構の一部をみえるようにするとか、レプリカを展示するとか、その土地のことがしっかりわかるコーナーなどを市民の共有スペースに作るとよいのではないのでしょうか。</p> <p>市役所の1階部分のサービスを残すというのは賛成ですし、ホール、図書館などいずれも充実したものが必要と思います。ですが、市役所の地に集中させる必要はないと思います。便利ですがほかの都市と同じにする必要はないです。また、現在の市役所内はとても暗い感じがしますので、市民のために働いてくださる市役所の方々が気持ちよく働けるよう明るく開かれたスペースになるとよいです。</p>	(前ページの続き)
61	107	P21	<p>【利活用の基本方針】の市民サービスの提供に該当する部分について</p> <p>図書館部分は具体的にどのくらいのスペースが検討されているのでしょうか。検討案では、学習センターやホールなども含まれる場合、現在よりも狭くなるのではないのでしょうか。また、今現在でも不安があるのですが、近代史資料室や地下書庫に保存されている貴重な資料は、地震・津波災害発生時には、後世に鎌倉としての価値を位置付けるべく貴重な資料(鎌倉にしかない貴重な資料)が遺らないことがないように、新しい場所に等、図書館の専門家を交えて十分検討する場が必要と考えます。</p>	

## 個々の公的不動産に関する意見&lt;梶原四丁目用地(野村総合研究所跡地)&gt;

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
62	1	P28	<p>2. 野村総研跡地利用について 観光地、古都鎌倉に住んで、あったら良いのと思う施設は、博物館や歴史館である。 近代美術館が閉鎖となり、公設のしっかりした資料館がなくなることは、歴史を背景とした観光地としては残念なことである。自然環境に恵まれ、閑静な立地であることを活かし、野村総研跡地に公設の博物館・歴史観を設けてはどうであろうか。 上記1の交通拠点と合わせて開発することで、観光客や市民の足は確保されるものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該地の既存建物がある部分を中心とした場所は、市街化調整区域となっており、新たな建物の建築や新たな建築用途への変更、土地利用の変更等に当たっては、開発許可制度等の基準に照らし、適合した計画とする必要があります。</li> <li>都市計画法の地区計画制度による一定の新たな機能の導入へ門戸を開放することも考えられるが、制度の趣旨に沿って許容される用途などの整理と照らし合わせ、慎重な対応を行っていきます。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、民間による利活用の具体的な検討の中で、参考とさせていただきます。</li> </ul>
63	7	P28	<p>1. 梶原4丁目(野村総合研究所跡地)の素案 この跡地は自然がかなりあり、また、インフラもまだ残っています。茅ヶ崎市においてはキャンプ場があり、かなりの利用があるようです。アウトドアは子供や大人にも人気のある遊び、鎌倉にキャンプ場があるって分かれば人気になるでしょう。私も近所ですが利用します。 上の方は民家から距離もあり、オートキャンプ場としても有効。また、海も見える地点もあり、このままにしておくのはもったいないです。</p>	
64	13	P28 ~ P35	<p>梶原四丁目用地(野村不動産より)が鎌倉市へ譲渡されてから既に15年が経過している。企業誘致が望ましいが広大な土地柄、必要に応じ、土地を分割の上、複数の業種・企業を考えては如何。</p>	
65	21	P28~35	<p>野村総研の意向「広く市民が利用できる文化、学術、芸術振興に関する用途で活用を希望する」趣旨を可能な限り活かすべきです。「歴史と文化が薫る」鎌倉の象徴として、さらに緑の風が吹く街としての景観を大事にし、市外からも多数の人が訪れる憩いの場として活用できないものでしょうか。いずれにしても、交通アクセスの課題が浮上せざるを得ませんが、佐助稲荷や銭洗弁天から少し脚を伸ばせばよいのですから、その道の整備を考えることも必要でしょう。都市計画や建築の世界的専門家に意見を出してもらいたいと思います。</p>	
66	28	P32	<p>野村総研跡地については、市民の憩いの場所にして欲しい！ 子供の頃、爺さんに連れられて坂ノ下の塩湯(浜の湯)に行った事、そして舞台上で爺さんが唄っていた事を思い出します。現在、鎌倉にはこう言った施設が(温泉付き)ありません！そう言った一等地かと思えます。子供から年寄りまで一生涯楽しめる記憶に残る所、また源氏山からのハイキング等、今後の深沢に通ずる中間点としてハイカー・観光客の散歩道としても大変良いかとも思います。今後の観光協会の発展にもつながるのではありませんか？是非ご検討願います。</p>	
67	40	P23	<p>移転整備候補地の抽出 消防施設、防災施設、梶原四丁目用地(野村総合研究所跡地)がよい 理由:震災において 国鉄跡地においては水害の恐れがあるため、津波被害があった場合も、水が引いた後に利用(野外病院、仮設住宅、観光客収容)できる場所であり、緊急災害時における指揮司令本部では高所である野村総研が良い。行政業務の分散可能であれば(各地区に行政サービスコーナーを設けるなど)良い。ハイキングコースの整備が有益と考えられる</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<p>策定に至ったところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素案では、この方針の実現にあたり、まちづくりの観点からも深沢地域整備事業用地（行政施設用地）への移転を示したものです。</li> </ul>
68	42	P11, 12	<p>下記公的不動産の維持管理費及び利用者数について、既に把握されておられるならば、その実績及び今後の見通しについてお知らせください。 整理番号 2,4,6,7,8,9,10,11,15 及び 16</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的不動産に関する情報をまとめた施設カルテを作成し、鎌倉市公的不動産利活用推進委員会に報告するとともに、ホームページで公開しており、答申（案）の資料編で掲載していますので、ご参照ください。</li> </ul>
69	45		<p>(1)野村総合研究所から鎌倉市へのNRI 寄贈の趣旨を再度考慮願います。 ⇒NRI は、H14年3月に野村総合研究所から「広く市民が利用できる文化・学術・芸術振興に資する用途で活用を希望する」との申し出を付して鎌倉市へ寄贈されたものです。これに対し鎌倉市としては、「鎌倉らしい文化の薫り高い、文化・教養ゾーンとして土地活用を図り、市民サービスの向上に努めたい」と表明し寄贈を受諾した経緯があることに今一度立ち返って考慮願います。 このことは確かに寄贈の条件ではありませんが、大変重要なことです。周辺の住民は、それまで信頼のおける野村総合研究所が近隣に立地していたという安心感・一体感から安住の地を近隣に求めて住んだ人々が殆どです。それが、野村総合研究所が撤退する事態となり、住民は一時不安に陥ったところ、鎌倉市が野村総合研究所の寄贈の趣旨に沿った表明をしたことで、この不安もやや解消し住み続けて今日に至っています。 その後一時、NRI は鎌倉市の「ごみ焼却施設建設」の候補地の一つにも挙がりましたが、これも野村総合研究所からの寄贈の趣旨に合わない等の理由から近隣住民は反対し、結局、候補から外れた経緯もあることはご承知の通りです。</p> <p>(2)今回素案の基本方針にある「企業誘致」の選定にあたっては、野村総合研究所の寄贈趣旨に沿った活動をする企業であるかを慎重に考慮・審査して頂きたいと考えます。 ⇒過去に野村総合研究所があったからということで、本素案では、高度な研究・開発系等の企業誘致(IT企業等)を候補の一つに考えているようですが、IT企業といっても千差万別です。選定には慎重を期して頂きたいと思えます。 単に企業の求心力或いは成長力や雇用増大のみに評価基準を置くのではなく、野村総合研究所の寄贈の趣旨に沿った企業かどうか、住民と一体感を持てる企業かどうか、周辺の自然環境を守れる企業かどうか、野村総合研究所にも劣らない信頼力・倫理観を持った企業かどうか等を基準に慎重に選定し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地の既存建物がある部分を中心とした場所は、市街化調整区域となっており、新たな建物の建築や新たな建築用途への変更、土地利用の変更等に当たっては、開発許可制度等の基準に照らし、適合した計画とする必要があります。</li> <li>・都市計画法の地区計画制度による一定の新たな機能の導入へ門戸を開放することも考えられるが、制度の趣旨に沿って許容される用途などの整理と照らし合わせ、慎重な対応を行っていきます。</li> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、民間による利活用の具体的な検討の中で、参考とさせていただきます。</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>て頂きたいと思います。</p> <p>更に、選定・誘致後も、その企業が前記(1)の趣旨に沿った活動をしているかどうかを十分チェック・指導できる体制にしておくことが大切だと思います。</p> <p>(3)NRI は、鎌倉市のほぼ中心に位置していること、そして自然環境や歴史的景観に恵まれた場所であることにも、今一度、重きを置いて考慮していただきたいと思います。</p> <p>⇒NRI は、鎌倉市のほぼ中央に位置(人口重心的にも)しているということは、鎌倉市民が平均的にアクセスし活用しやすい位置にあるということです。このことは、NRI は、多くの市民等が豊かな自然環境の中で利用可能な施設となることを望んでいることを意味します。</p> <p>従って、NRI は特定の企業のみが利用できるのではなく、多くの人々が利用可能なものとする必要があります。このことから、誘致された企業は、一般市民等へ原則としてセキュリティ上以外はオープンである必要があります(現状でも、既存建物以外は原則オープンに活用されています)。すべてオープンというのは企業誘致上無理としても、NRI に併存する自然環境や公共施設とのバランスが必要です。</p> <p>仮に、誘致された企業の一部の場所がセキュリティ上とかの理由で部外者立ち入り禁止でも、それ以外はかなりの部分が野村総合研究所の寄贈の趣旨にある「広く市民が利用できる」企業であり公共施設であるべきかと思っています。</p> <p>(4)NRI に相応しい公共施設及び誘致される企業について。</p> <p>⇒昨今の人口減少、公共施設の維持管理が難しい時代においては、NRI における過大な資金投資はすべきでないと考えます。かといって更に将来も NRI を放置しておくことも良いことではありませんので、民間(資金)の活用(PFI)などの仕組みづくり等が必要かと思われまます。</p> <p>このように考えてくると、公共施設としては、例えば、市民等の憩いの場所としての自然豊かな公園、簡易な野外劇場、オープンスペースとしてのグラウンド、MICE 会場、等が考えられます。そして、誘致企業或いは団体としては、それらの施設とマッチした存在で、資金提供可能な「広く市民が利用できる」企業・団体(例えば、世界的な音楽学校等)であるのが望ましいと考えます。尚、当然ながら、単に中央に位置しているということだけでは不十分で、今後更に、一般市民等が利用しやすいインフラ整備も必要だと思います。特に道路・交通手段、自然環境を残したハイキングコースの整備、環境にやさしい電気自動車や自動運転車等の利用により高齢者・身体障害者等もアクセスしやすい環境整備、竹林・樹林の整備等は必須と考えます。</p> <p>このためには、今後、NRI の利活用に関しては、近隣住民・コミュニティの協力・理解を前提に進めて頂きたい、ということをお願いいたします。</p>	(前ページの続き)
70	46	P33	<p>旧野村研究所</p> <p>上から7行目「効果的に引き出します」の後に、1,建物周辺部、2,グラウンド、3,緑地、4,アプローチ道路、に分けて活用を考えていきます、として欲しいです。</p> <p>公募による民間活用、IT などの企業誘致には賛成ですが、それは 1,建物周辺部 だけにして欲しい。今使われているグラウンドを企業のグラウンドにするのではなく、市民のグラウンドを隣接する企業が日常に使っ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地の既存建物がある部分を中心とした場所は、市街化調整区域となっており、新たな建物の建築や新たな建築用途への変更、土地利用の変更等に当た</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>ているという形にして欲しいです。</p> <p>同じく緑地や散策路も、企業の施設内ですと施錠されて市民が使えなくなりますので、ハイキングコースを残して欲しいです。</p> <p>野村橋は危険なので取り払って、入口ゲートまで緩い坂道をつけて欲しい。</p> <p>困難だとは思いますが、南側に出る道を市道として作って欲しい。</p> <p>救急車や消防車が通れる道が南側にできたら、グランド(市営)は災害避難所に使えるでしょう。南側の景観を大切にするには大賛成です。なので車道を上りと下りの二つに離して作り、それで道幅を狭くすることで、木の陰になって路面を目立たなく設計できると思います。</p> <p>南側からグランドを通して企業誘致のスペース、野村橋の無い美しい北ゲート、に繋がる市道ができれば、北鎌倉、湘南町屋にも近くなります。</p> <p>中央公園から旧野村、鎌倉駅西口という散策コースができます。</p>	<p>っては、開発許可制度等の基準に照らし、適合した計画とする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画法の地区計画制度による一定の新たな機能の導入へ門戸を開放することも考えられるが、制度の趣旨に沿って許容される用途などの整理と照らし合わせ、慎重な対応を行っていきます。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、民間による利活用の具体的な検討の中で、参考とさせていただきます。</li> <li>いただいたご意見のうち「1, 建物周辺部、2, グランド、3, 緑地、4, アプローチ道路、に分けて活用を考えていきます、として欲しいです」の部分を参考に、P33の表現を変更しました。</li> </ul>
71	48		<p>梶原四丁目用地(野村総合研究所跡地)利活用推進方針に係る件(意見) 頭書の件、下記の通り考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>1. 用途 老人福祉(①、②)と、認知症患者(③)の3分野に活用することを前提とした再開発を行いたい。</p> <p>2. 具体的内容 ① ホスピス病棟(介護保険の老人要介護5) ② リハビリセンター(介護保険の老人要支援 1～要介護5) ③ 認知症患者への音楽療法校舎(含、若年患者) ④ 上記3分野の業務推進母体として協同願える医学・看護学部を擁する大学を選定し、関係学部の鎌倉分校開設を誘致する。 ⑤ 上記3分野の業務への鎌倉市との協同推進母体の核は、市内の地域包括支援センターと社会福祉協議会か、と思われませんが、オープン前後は、両法人から入院病棟を擁する鎌倉市内や近隣市町村の</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該地の既存建物がある部分を中心とした場所は、市街化調整区域となっており、新たな建物の建築や新たな建築用途への変更、土地利用の変更等に当たっては、開発許可制度等の基準に照らし、適合した計画とする必要があります。</li> <li>都市計画法の地区計画制度による一定の新たな機能の導入へ門戸を開放することも考えられるが、制度の趣旨に沿って許</li> </ul>



整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>新制度創設案です。尚、加盟店の店頭には「鎌倉紀寿倶楽部」の上品な表示板を貼付して頂く工夫も致したら如何か、と考えています。</p> <p>◎加盟店宛へも、この「新ふるさと納税(鎌倉紀寿倶楽部)」による寄付のお付き合いをお願いし、納税資金使途の全部を懸案の「梶原四丁目用地(野村総合研究所跡地)利活用資金」への充当に協調して頂ける様に、懇請努力する必要がある、と考えております。</p> <p>⑨ 上記①～③の実行が進捗し始めると、当該施設勤務の方々の方々の住居の手当が不可避となります。一方で、近隣の大規模分譲住宅地では高齢者が増加し、若い家族の別居現象、入院や逝去で空き家の増加や孤独死の危険が増加必至です。</p> <p>「資金」源の第3は、当該施設勤務の方々の方々の住居用に自宅の一部を提供する協力者に対して、市役所が、自宅改造等の工事に必要な資金への補助金、助成金の交付、或いは低レート資金融資斡旋、もっとシンプルな支援策としては、当該工事面積見合いの建物固定資産税の減税措置の導入公表により、老人福祉にやさしい助け合いになるもの、期待致しております。</p> <p>住民協定や地区計画の再検討時には、本件の公的不動産利活用に足かせとならぬ様に、検討事項毎に優劣順位を決めてから着手する必要性を痛感している次第です。</p> <p>以 上</p>	(前ページの続き)
72	54		<p>野村研究所跡地は IT ベンチャーなどが集まってオフィスに活用する案が出ていたこともあったと思いますが是非実現してほしいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取組を進めていきます。</li> </ul>
73	63	P28 P32	<p>2.日本有数のシンクタンク野村総研ですら、諸制約(NRI 内部事情、鎌倉市の土地利用に関しての制限等)の中で、その自らの活用を断念した梶原四丁目用地を、鎌倉市や”パブリックマインド”のある(期待される?)民間企業が活性化出来るのだろうか?企業が活用を放棄した場所に、企業誘致などできるのだろうか?できないと考えるのが、常識的判断です。</p> <p>3.その常識を打ち破るには、鎌倉 MICE などのコンセプトレベルではなく、事業レベルの検討が必要です。市が RFP(Request For Proposal)を作成し、それを持って、日本の大学、研究期間、学会等を訪問し、彼らと協議し、彼らからアイデアを引き出し、彼らから提案書を提出してもらい、場合によっては彼らに出資してもらい、又は事業を立ち上げてもらう、事業コンソーシアム形成の核になってもらう。市の職員が RFP 作成に苦戦するならば、鎌倉在住の市民に協力を求めてもいい。鎌倉市内在住の市民には、そのようなスキルを持った人材もいます。又、RFP をどこの大学、研究期間、学会に出すかも、市の職員だけで考えては限界があるでしょう。10 大学、5研究期間、5学会、5投資ファンドの 25～30 位のショートリスト方式でアプローチすればいい。ショートリストの作成は、市の職員と市民でワークグループを作り、承認手続きとしては市の第三者委員会にかければいい。</p> <p>4.鎌倉市が主催する委員会や協議会の学識経験者では限界があります。日本で最高の英知を求めて、日本全国を行脚して、彼らとの対話を通じて鎌倉市の将来モデルを考えて頂きたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該地の既存建物がある部分を中心とした場所は、市街化調整区域となっており、新たな建物の建築や新たな建築用途への変更、土地利用の変更等に当たっては、開発許可制度等の基準に照らし、適合した計画とする必要があります。</li> <li>都市計画法の地区計画制度による一定の新たな機能の導入へ門戸を開放することも考えられるが、制度の趣旨に沿って許容される用途などの整理と照らし合わせ、慎重な対応を行っていきます。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<p>するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、民間による利活用の具体的な検討の中で、参考とさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見のうち「事業レベルの検討が必要です」の部分を参考に、P62 の表現を変更しました。</li> </ul>
74	67	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の計画について民間活用の期待ばかりが目立ち、事業予算が概算でも全く示されていない。他方本願の感が否めない。野村跡地と資生堂跡地(寄付予定地)はふさわしい民間企業に売却して税収をあげ、負担を軽くしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国は官民連携について、「厳しい財政状況の中、人口減少・少子化等を踏まえた公共施設等の集約・再編など真に必要な社会資本の整備・維持更新や公共サービスの持続的な提供を実現するためには、PPP/PFIにより民間の創意工夫を最大限活用することが有効である。」としています。</li> <li>本市においては、この考え方を踏まえた上で、単なる商業性の追求とならないよう「パブリックマインド」を持った民間の活用を委ねることを考えているものです。事例を研究し、慎重に進め、より良い官民連携に努めていきます。</li> </ul>
75	72	P34	<p>高度な研究・開発系企業誘致に加えて、大学観光学部(例えば文教大、東洋大等)の誘致も含めて考えてほしい。鎌倉市民の観光活動の持続的発展(例えば玉縄城址まちづくり会議等)のためにも、大学生の協力は必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該地の既存建物がある部分を中心とした場所は、市街化調整区域となっており、新たな建物の建築や新たな建築用途への変更、土地利用の変更等に当たっては、開発許可制度等の基準に照らし、適合した計画とする</li> </ul>
76	73	P34	<ul style="list-style-type: none"> <li>梶原四丁目用地(野村総合研究所跡地)については、情報通信業(IT 関連企業)などの企業誘致を図り、雇用の創出をめざすとしているが、反対である。</li> <li>梶原四丁目用地に関しては、大学を誘致すべきである。鎌倉にふさわしい大学、例えば仏教史や考古学を研究する大学を誘致してはどうか。芸術系大学を誘致してもよい。大学を誘致すれば、若者が集ま</li> </ul>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			り、街も活性化する。アパートなどの需要も増え、街の産業も大きく発展する。企業よりも大学を誘致すべきである。	<p>必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画法の地区計画制度による一定の新たな機能の導入へ門戸を開放することも考えられるが、制度の趣旨に沿って許容される用途などの整理と照らし合わせ、慎重な対応を行っていきます。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、民間による利活用の具体的な検討の中で、参考とさせていただきます。</li> <li>いただいたご意見のうち「鎌倉駅→文化交流歴史館→野村跡地（NRI）→扇湖山荘→大仏は国際的な文化的鎖状散策観光ルートと成り得るのではないかと思われる」の部分を参考に、P45の表現を変更しました。</li> </ul>
77	80		<p>このたびの意見募集に対し、梶原四丁目用地(野村総合研究所跡地)について意見を提出しますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>1. 利活用のテーマとして「常盤山歴史自然公園」を提案 現在私が所属する鎌倉常盤山の会は常盤山全体の保全を目途に市民活動を続けている。活動で北条氏常盤亭跡のみならず常盤山には歴史的要素(自然)が多数あることが分かった。北条氏常盤亭跡保全管理計画書には将来的には「歴史公園化をめざす」とある。また古都法を順守する意味を真剣に考えれば考えるほど、梶原四丁目用地が歴史自然公園の一部として役割を担えるような利活用を期待する。具体的な活用の方向性の一つ、「散策路など市民の憩いの場の提供」を必ず実現してほしい。安心かつ楽しんで散策できるような燈台のような存在であって欲しい。</p>	
			<p>2. 鎌倉市における健全な公共施設のかたちを提案 歴史都市と言われながら、鎌倉市の埋蔵文化財や公文書の管理が劣悪な保存状態であると聞いている。寄付者野村総合研究所の意向にも沿った「埋蔵文化財センター」や「公文書館」をまずは早期に設置し、文化財を公開し、市民サービスの向上に努めるべきではないか。この際、活用の方向性の三つ目に「民間活力の導入」が挙げられているので、可能性を探って欲しい。 活用の方向性の二つ目に「新機能の導入の検討」=情報通信業(IT関連企業)誘致を挙げているが、鎌倉が守るべき歴史文化伝統を御座なりにして、時流に煽られすぎてもいけない。「働くまち鎌倉」の実現が、法律による現状凍結的な規制がかかっている場所で本当に可能だろうか。IT関連企業を建物の一部に巻き込むことは可能かもしれない。</p> <p>3. 現況建物へのアプローチ(兼散策路)の提案 南側からのアプローチが必要:梶原四丁目用地への交通アクセスは確かに悪く、湘南モノレール駅からも徒歩では遠い。そこで南側常盤市役所通りからの散策路を神奈川県と調整してつくる。常盤一向堂緑地を活用すると鎌倉駅から徒歩で25分程度が可能になる。 北側梶原側からのアプローチ:ループ状の野村橋を永久的に使用するには相当の費用が見込まれるそうだから、進入路の設計変更を行うか、徒歩を基本にした利活用を探る。以上</p>	
78	88	P4～6 他	<p>①梶尾四丁目用地(その1) 鎌倉市には市民の為の「火葬場」が長年ありません。家族を失って初めてその事実を知る市民も少なくはないようです。 鎌倉で”生まれた””育った””学んだ””働いた””暮らした”そんな市民の為の「火葬場」を「野村総研跡地」に是非とも作りましょう。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方  (前ページの続き)
		該当箇所	意見	
			<p>広大で豊かな自然だからこそ、「火葬場」の建設をめぐる一般的な諸問題も乗り越えやすく、実現可能と思います。安易に一企業を誘致し”働くまち鎌倉”とするのではなく”生きたまち鎌倉”として、市民の旅立ちの聖地を市が準備する稀な機会です。これに勝る公的不動産の利活用はないと考えます。”自宅で最期を迎えたい”と同じく”鎌倉で最期を迎えたい”そういう最も基本的な市民の願いを叶えていきましょう。是非本気で検討し前向きに取り組んで下さい。</p> <p>②梶原四丁目用地(その2)</p> <p>鎌倉には市民の為の「野外活動施設」が1つありません。昔と違い各家庭で火をおこす事も法律で禁じられ、”たき火”すら出来ません。子供や青少年だけでなく大人たちも自然を活用した活動の経験が大変乏しくなっています。活動するには県内の市外や他の都道府県に行くしかないのが現状です。野外炊事やキャンプファイアー等を行える宿泊施設のある「野外活動施設(自然展望にとどまらぬ施設)」を市が作り運営し、公的不動産を市民の為に活用することを是非前向きに検討して下さい。</p>	
79	92	P33	<p>「利活用に当たっての初期投資は事業者が負担し、一定期間の地代と相殺することで 本市の財政負担の軽減につなげる手法」というのは、野村橋の架け替えなどを事業者に託すことができれば、魅力的な選択肢である。</p> <p>「鎌倉 MICE の推進」への言及があるが、湘南国際村という類似の先例の行き詰まり等もかえりみて、今後の現実的な事業展開を精査すべき。</p>	
80	93		<p>2.野村総研跡地の利活用について</p> <p>自然に囲まれた、高台にある場所ですが、なんとも不気味です。ここに宿泊施設や病院を建設してもお化けが出そうです。</p> <p>ここに芸術的、文化的なものを新しく作るとなると民間が入らざる得ないのかもしれないです。が、せっかくそういう意向で譲り受けたものですので、なんとか開かれた場所になって欲しいと思います。</p> <p>まず、ここに新しく大きな建物を建てるという考えを払拭し、大きなスポーツ広場兼遊歩道などがあるような場所にするのはどうでしょうか。葉山の南郷公園のようなイメージです。桜が咲いて、春には市民がお花見に集ったり、ちょっとした洒落た屋台が出たりする。大きな広場ではコンサートやイベント(芸術的、文化的)会場としても使えるような空間。</p> <p>ピクニックに行きたくなるような場所になるといいです。ハコモノを立てないで整備と管理する文化的公園になるといい。</p> <p>芝生の丘などには、現代美術や彫刻などが置いてあり、ただの公園でなはい鎌倉が文化的で芸術にひらけた街であることを市民も訪れた人にも思わせる空間を作りたいです。</p> <p>バスを出せば、市民がのびのびと休日を過ごす場所にもなり得ます(笛田公園などはスポーツありきでピクニックに行く、という感じが無い。鎌倉でお花見というと源氏山だが年配の方には大変。ゴザを広げられる花見スポットが欲しい)</p>	
81	96		<p>鎌倉は国際的観光都市であり日本の文化地方都市としての認識が強く、税収という面からも考慮すべき価値観と考えることは重要である。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>今回検討に上がっている公的不動産の利活用の候補地の中で、将来の文化都市としてより発展し得る有望な要素も含んだものという面からも、鎌倉駅→文化交流歴史館→野村跡地(NRI)→扇湖山荘→大仏は国際的な文化的鎖状散策観光ルートと成り得るのではないかと思われる。</p> <p>IT 関連や情報、行政部門は今や場所を選ばない、特に、NRI の広さと県有地が隣地などの要素から国的視野も含めた文化国際的で教育施設の要素も兼ね備えた施設を建て(最近では IT を活用した文化的要素も加味できる)、市民としても誇れ楽しめるもの(例えば小沢征爾のタングルウッド、また、東京圏の音楽・映像文化圏とも連携した教育・練習・演奏準備 Music Harbor)を構築する事と比較すると将来的な構想と市民憲章を考慮した場合 100 年単位の構想としてより相応しいとは考え難い。</p> <p>また、地域性(歴史的文化的地域と質の高い最先端地区)を明確に分けた方が各々の特性が活き、行政的対策も取れ易くなるのではないかと思える。</p>	(前ページの続き)
82	96	P28	(2)現状等「景観的にもシンボリックな存在」という表現には違和感がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>往時の野村総合研究所の存在感を残した建物として、野村橋とともに、グラウンドや敷地の開放の際などに自然と目に入ってきたものであり、このような表現としました。</li> </ul>
83	96	P29	(イ)「有事の際の感染症・・・管理を行っています。」現状を見ると感染症や最悪ウイルスなどに対応できる施設状況とは思えないのではないのでしょうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状一部分を利用していることを説明した内容です。</li> </ul>
84	96	P32	(4)「当該地が野村・・・現実的であり」は具体的根拠がないのではないかと、一寸こじつけ感が強いような気がします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化調整区域での土地利用の継承が現実的な利活用の方法の1つであるために、このような表現としました。</li> </ul>
85	97		<p>2. 梶原四丁目用地</p> <p>野村総研の具体的な希望詳細は知りませんが、博物館、美術館、それらの収蔵庫として修復もしくは建て替えて利用すべきだと思います。鎌倉は津波の心配がありますから海や川の近く、低い土地は美術・芸術作品・博物品などの展示や保管収蔵には向きません。深沢にも美術館的なものができるのは良いと思いますが、展示のみに、収蔵庫はこちらに建てるべきです。</p> <p>また、鎌倉にとって必要だと考えておりました、鎌倉在住の方々からの美術品や芸術品などの品の寄付があったときにそれらを受け入れ、展示する場所があるとよいと思います。それにも最適な場所だと思います。</p> <p>敷地が広いので、一部IT企業や研究施設などとしての利用もよいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該地の既存建物がある部分を中心とした場所は、市街化調整区域となっており、新たな建物の建築や新たな建築用途への変更、土地利用の変更等に当たっては、開発許可制度等の基準に照らし、適合した計画とする必要があります。</li> <li>都市計画法の地区計画制度による一定の新たな機能の導入へ門戸を開放することも考えら</li> </ul>
86	98	P5～6	○”梶原4丁目用地”について 緑豊かな環境は、企業誘致ではなく、全て市民に還元できる内容の施設作りとして生かしてほしい。	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			鎌倉市には、青少年の野外活動施設(キャンプ場等宿泊を可能とする施設)がないので、自然観察や野外炊事、キャンプファイア等ができる施設を作っていただきたい。 また、市民のために火葬場を建設という方向で考えてみてはいかがでしょうか？	れるが、制度の趣旨に沿って許容される用途などの整理と照らし合わせ、慎重な対応を行っていきます。
87	99	P4	次に梶原四丁目は周囲から見通しのきかない場所に公営焼場と葬儀施設を作り熱利用の温水プールや体育施設、見晴らしが良いので青少年の宿泊施設もと、総合的な体育健康造りの場になればと思います。北条ときわ亭への散策路も造れば樹ガーデンへの階段で大仏ハイキングコースへも連がり <u>新しいハイキングルート</u> にもなるでしょう。 (※下線部→風致保存全協力)	・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、民間による利活用の具体的な検討の中で、参考とさせていただきます。
88	100		野村総合研究所跡地は、市民への開放と企業誘致を中心に考えることが望ましいです。	
89	103	P4	野村総研跡地を民間に売却というプランは一旦中止すべきです。 <u>ゴミ焼却場</u> を造る場所として検討してください。 鎌倉市のHPで山崎地区の住民の不平等感痛感。もっとずっと先を見る姿勢を願います。	・新ゴミ焼却施設は、別途、建設候補地について、山崎下水道終末処理場未活用地を最終建設候補地として選定をしているところです。

## 個々の公的不動産に対する意見&lt;深沢地域整備事業用地(行政施設用地)&gt;

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
90	1	P36	<p>1. 深沢地区国鉄跡地利用について 老朽化を理由に市役所を移転するという事自体にはやむを得ないとは思いますが、職員数をはじめとした市役所規模の精査が必要に思います。 税務収入の有効活用を主眼に、できるだけ無駄のない、小さな役所を志向して欲しい。 その上で、移転候補地として深沢地区を選定したことは評価する一方で、ロードプライシングと組み合わせ、同地に大型立体駐車場を建設し、その上層に市役所等を設置してはどうかと考える。市外からの車流入数をできるだけ減少させることが市内の渋滞緩和に必要な取り組みであり、その一つとしてのロードプライシングは評価するものの、それだけでは市内への観光客流入数の減少が危惧される。深沢地区は、将来の JR 新駅とも近く、モノレール駅と近接していることから、バスターミナル、タクシールールを併設した交通拠点として整備し、パークアンドライドの拠点として整備してはどうか。整備費用は駐車場代収入からを期待し、バスや公共交通機関と連動し、一日乗り放題プランを併用するなどして、観光客の利便性も図れば、渋滞解消と観光客の利便性向上の一举両得になるものと考え。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> <li>いただいたご意見のうち「職員数をはじめとした市役所規模の精査が必要」の部分を参考に、P41 の表現を変更しました。</li> <li>交通に関するご意見については、鎌倉市交通マスタープランや深沢地域のまちづくりと連携を図りながら検討していきます。</li> </ul>
91	9	P28	<p>深沢地域整備事業用地に関しまして、意見をさせていただきます。 当地域は、村岡新駅が出来れば、開発にあたっての補助金が出ると伺っております。であるならば、当地域の開発は、鎌倉市民のみが利用する施設等の整備のみならず、村岡新駅で降車して当地域に来てもらえる(即ち、西部は茅ヶ崎・藤沢、東部は戸塚あたりの住民が来てもらえる)ような施設を設けるとの観点が必要かと考えます。即ち、既に整備方針が示されている新市庁舎・消防本部・総合体育館等の他に、広く湘南地域・横浜市西部地域の住民からも利用したいと思わせる施設を設けていただくことを望みます。 イメージとしましては、松尾市長もホームページで表明されています、シンガポールの Our Tampines Hub のような街にさせていただくことです。 具体的には、 1. サッカースタジアム(湘南ベルマーレのホームスタジアムとする) 2. 湘南ベルマーレの練習設備(グラウンド、クラブハウス、プール、ジム等) 3. アウトレットモール及びフードコート の建設・整備です。 「1.」のサッカースタジアムの建設は、既に松尾市長もホームページで建設目標を掲げており、私もこの目標に賛同致します。なお、松尾市長は、ホームページにおいて、具体的に誘致するプロチームについての言及はしておりませんが、湘南ベルマーレは現在、サッカー専用スタジアムの建設を標榜し、候補地の選定を行っていることから、具体的なプロチームは湘南ベルマーレと考えるのが妥当ではないでしょうか？ なお、湘南ベルマーレのサッカースタジアム建設について検討している「湘南スタジアム研究会」のメンバーの一人であり、ガンバ大阪のホームスタジアムの吹田サッカースタジアム建設にかかわった元ガンバ大阪社長の野呂輝久さんは、「建設地は、できればJRの駅から徒歩 15～20 分の場所がベスト」と</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> <li>深沢地域整備事業用地や深沢地域地域のまちづくりについてのご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</li> <li>本取組では、深沢地域整備事業用地約 31ha の内、行政施設用地の 2.6ha を対象として検討しているものです。</li> <li>いただいたご意見のうち「深沢地域整備事業用地(行政施設用地)だけで考えるのではなく、そこを含めた「深沢地域周辺地区のまちづくり」という観点で捉えるべき」の部分を参考に、P41 の表現を変更しました。</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>の意見を述べられており、この条件に合致する湘南地域の候補地は、村岡新駅が出来るとの仮定のもとでは、深沢地域整備事業用地以外に考え難く、是非とも湘南ベルマーレの誘致ならびにサッカースタジアムの建設を実現していただきたいと思ひます。また、湘南ベルマーレは、新設予定のサッカースタジアムは、コンサート等のイベントを行える施設であることを条件としております。従いまして、湘南ベルマーレの誘致に成功し、サッカースタジアムが建設するのであれば、必然的にコンサート等のイベントが行える仕様のスタジアムとなり、イベントの際には村岡新駅が利用されることが期待されます。</p> <p>「2.」の湘南ベルマーレの練習設備ですが、もし、深沢にサッカースタジアムが出来、ベルマーレのホームスタジアムとなった場合、練習場が、平塚市にある現在の馬入ふれあい公園サッカー場のままであれば、単純に練習場とサッカースタジアムが非常に遠いこととなります。</p> <p>また、馬入ふれあい公園サッカー場は、非公式練習が出来ないなどプロサッカーチームの練習場として、いささか不備な点も散見されるようです(平塚駅から徒歩で 30 分ほどかかる不便なところにあるようです)</p> <p>従いまして、サッカースタジアム・駅に近接し、プロサッカーチームの練習場として相応しい練習場を整備することを希望致します。なお、練習場においては、ファンがプロサッカー選手と交流が出来き、こうした観点からも練習場の整備は有意義であると考えます。</p> <p>「3.」のアウトレットモール及びフードコートですが、湘南モールフィルのような、利用者の大半が近隣の住民となるようなテナントを誘致するのではなく、三井アウトレットパーク横浜ベイサイドのようなアウトレットモール、即ち、有名セレクトショップや大手スポーツメーカー・アウトドアメーカーが入るようなアウトレットモールを希望します。</p> <p>斯様な有名セレクトショップや大手スポーツメーカー・アウトドアメーカーが入居するアウトレットモールであれば、鎌倉市民のみならず、近隣の市より来られ、村岡新駅を降車して利用する方もいらっしゃるのではないかと思います。</p> <p>ちなみに私感ではありますが、鎌倉市の至近にはアウトレットモールがないため、私は、三井アウトレットパーク横浜ベイサイドにしばしば行くのですが、三井アウトレットパーク横浜ベイサイドは、テナントの多くが魅力を感じるものであるため、多少遠くても足が向くアウトレットモールであります。深沢にもそうした、近隣の市の住民からも足が向く、魅力的なテナントが多く入ったアウトレットモールが出来て欲しいと考えます。なお、三井アウトレットパーク横浜ベイサイドは、1998 年9月に開業し、今年で開業 20 年を迎えますが、土日祝日は常に盛況であると感じます。また、フードコートは、湘南・鎌倉地域で人気を博し、ある程度店舗展開を図っているお店を中心としたフードコートとし、鎌倉ならではのフードコートとなれば魅力的であると感じます。その他、上記に加えて、鎌倉野菜の販売所などが出来たら面白いのかなと考えます。</p>	(前ページの続き)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
92	11	P28	<p>公的不動産の利活用についてはもっと早く実行すべきことであり、遅きに失した感もあるが、こうした推進方針が示されたことで実行に近づけるべく加速してほしい。</p> <p>この推進方針では、3つの拠点、2つのゾーン、1つのネットワークに分類し、それぞれについて「利活用基本方針」が示されています。私は、深沢に居住し、また働く場も深沢であることから、主に拠点の一つである「深沢地域整備事業用地」についてコメントします。</p> <p>ここの基本方針は「本庁舎の移転先とし、消防本部や総合体育館と一体となったシビックエリアの形成」となっています。ただ、検討課題にもあるように、隣接する JR 工場跡地の利用計画（「深沢地域整備事業の修正土地利用計画(案)」）として提示されているとの関係が大変重要になってきます。つまり、深沢地域整備事業用地（行政施設用地）だけで考えるのではなく、そこを含めた「深沢地域周辺地区のまちづくり」という観点で捉えるべきです。</p> <p>平成 28 年 10 月に出された「深沢地域整備事業の修正土地利用計画(案)」では、新しいまちのコンセプトを「人とまちのヘルシーエイジング鎌倉ウェルネススクエア」として、その構成コンセプトとして、ヘルシー、ナチュラル、メッセージ、セーフ、ユニバーサルデザイン、コミュニティ、アクティブの7つ提示されています。</p> <p>まさにこのコンセプトに従って深沢地域整備事業用地（行政施設用地）の利活用も実施してほしいのです。ただ、このコンセプトはまだ概括的であり、もう少し掘り下げ、整理する必要があると思います。そこで私なりに絞り込んだものを示します。</p> <p>7つのコンセプトの中には、なぜそうした場（スクエア）をつくりたいのかという Why の部分と、どのようにして作るのかという How の部分と、どんなものを作りたいのかという What の部分が混在しています。それらを整理してみると次のように要約されます。</p> <p>「子どもから高齢者まで健康な心身を維持・発展させるライフスタイルを確立するとともにその魅力を発信するために」・・・Why</p> <p>「住民と行政の社会参画やそこを訪れる多様な人々との良質な交流・出会いを通して、そして安全、安心かつサステイナブルで、かつだれでも快適に感じるユニバーサルデザインの考え方を取り入れて」・・・How</p> <p>「公園・行政施設をまちづくりの中心に置き、自然と歴史に触れ合い、新たな産業から提供される充実した健康サービスを受けながら、運動の習慣化ができ、あらゆる世代の市民が新しい暮らし方、働き方、楽しみ方ができる場をつくる」・・・What</p> <p>この What が「鎌倉深沢ウェルネススクエア」となります。ただここで問題は、公園・行政施設が中心になるのか、新たな産業というのは何か、新しい暮らし方、働き方、楽しみ方とはいったいどんなことかという問題です。</p> <p>本来のウェルネスの意味は、「栄養、運動、休養等を総合した健康生活を実践する」（ウェルネス協会）ことから「鎌倉深沢ウェルネススクエア」はそうした場を意味するはずで、つまりウェルネスというのは病気にならないための活動であると捉えるべきです。すなわち、みずから運動、スポーツ、レクリエーションがや</p>	(前ページの続き)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>れ、観て楽しむこともでき、それが健康的、教育的、心理的な効果ももたらすような場であるべきです。このようなウェルネスサービスを提供してくれるのが新たな産業ではないでしょうか。このことは、国や県の方向性とも合致していると思います。ということから、公園・行政施設が中心ではなく、スタジアム・アリーナのようなグラウンドや体育館、プールなどを中心に多くのスポーツができ、文化的な施設をも複合した場であるべきです。市庁舎の市民サービス機能もこのスタジアム・アリーナの中に入れ込むとか、グラウンドが防災上の避難場所になるとかいった取り組みを期待します。</p> <p>そして、そうした場を生かすためにはプロスポーツチームを保有することがより効果を高めるといえます。鎌倉あるいは鎌倉深沢ウェルネススクエアの魅力を発信するためのツールとして世界で最も人気のあるサッカーが最適だと考えます。サッカーを通してビジネス、教育、観光などあらゆる分野で国際的な交流が可能ですし、鎌倉市民がひとつになって自分たちのチームを応援し、選手やチームが地域に貢献するという姿をぜひ見たいものです。時として鎌倉市民は地元への愛着心が薄いと言われる。しかしながら、私は経験や知識の豊かな質の高い市民が多くいると思っていますので、そういった人々の力を活かさない手はないのです。家からひっぱりだし、若者を応援し、その成長をサポートしてもらおうじゃありませんか。まずはサッカーを通してそういった気風を醸成し、その後は他のスポーツ、あるいは文化、芸術といった領域に広げていけたらよいと思います。ただ、難しい点は、公共の土地以外のほとんどを JR 東日本が保有しているということです。ここで述べたことの実現には何と言っても JR 東日本の理解と協力がなければできません。ぜひ JR 東日本には「パブリックマインド」を持ってもらい、Win-Win の関係が築けるように鎌倉深沢ウェルネススクエアのコンセプトと一緒に具現化して行ってほしいと願っています。市から強く JR に働きかけていただきたい。それができれば、村岡新駅の構想も現実味を帯びてくるのではないのでしょうか。(そうなれば請願駅ではなく JR が建設することもあり得ます)現状の鎌倉市は鎌倉駅および大船駅周辺地域を中心にしてまちづくりが行われてきましたが、今回深沢国鉄跡地周辺地区が第三の拠点として浮かび上がってきました。そこに住み働いているものにとっては、本当に住んでいて、暮らしていてよかったというまちづくりの最後のチャンスだと思っていますので、単に公的不動産の利活用ということではなく深沢というまち全体を視野に入れて検討していただきたいと願っています。</p>	(前ページの続き)
93	13	P15 P27 P36 P41	<p>鎌倉市役所の建物・設備の老朽化並びに大地震発生に伴う大津波が予想される状況で、現在の市役所の機能不全となるおそれ大。移転は已むを得ないとする。移転先としては深沢地域整備事業用地が望ましいと思う。又消防本部・総合体育館と一体となったシビックエリア形成には賛成である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> </ul>
94	14	P28 他	<p>市役所の深沢地区への移転について、市民各位に種々ご意見があると存じますが、小生としては、賛成いたします。</p> <p>その他のご計画については、それぞれ、的確な時期を経て実施されるよう希望します。</p> <p>簡単ですが、以上です。</p>	
95	17	P41	<p>深沢 JR 跡地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用者のための一時預り施設が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会スペース、図書館、健康チェックコーナー(保健師配置)が必要</li> <li>・大和の複合施設「シリウス」を参考に。第三の鎌倉の顔となる建築に！</li> </ul>	<p>利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見のうち「第三の鎌倉の顔となる建築に！」の部分参考に、P62の表現を変更しました。</li> </ul>
96	21	P36～41	<p>行政や商業施設とするのではなく、一大公園として市民が集う場にして下さい。例を挙げれば、東京・多摩地方の拠点地域は八王子が衰退し、立川が圧倒しています。それは基地の跡地を「昭和公園」にしてからです。人が集まる場所、それこそが地域の活性化です。そのためには、今、市民が渴望している潜在的欲求を満たす方策が求められていると思います。それがカネがかからない公的施設です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本取組では、深沢地域整備事業用地約31haの内、行政施設用地の2.6haを対象として検討しているものです。</li> <li>・ここまで検討を重ねた上で、本庁舎の移転先について、他の公的不動産の利活用やその効果等を含めた全市的な観点から、深沢地域整備事業用地(行政施設用地)を移転先とするとしているものです。</li> </ul>
97	29		<p>市役所移転について 深沢地区への新庁舎の移転に賛成です。鎌倉地区では用地が狭いうえ、地下には遺跡が埋まっていると思われ、立替や補強には時間がかかると思われ。防災面からも一日でも早く、拠点になる市役所の建設をお願い致します。</p> <p>深沢は距離的にも市の中ほどで、モノレールもあるので、新駅が出来なくても交通の便は悪くないと思います。</p> <p>是非、移転を進めて頂きたいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取組を進めていきます。</li> </ul>
98	40	P40	<p>本庁舎の移転先とし、消防本部や総合体育館と一体となったシビックエリア※の形成 →国鉄跡地については、野村総研跡地と合わせて一つのシビックエリアしたほうが良い。エリアの分断ではなくシビックベルトとしてのつながりと旧鎌倉からの繋がり観光ベルトの連続性を創出することができ、住人の分断が起きずに鎌倉深沢地区のブレンドと相互乗り入れが可能になる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本取組は、全市的な視点を持った公的不動産の利活用をまちづくりの視点で検討してきたものです。</li> </ul>
99	40	P41	<p>(7)具体的な活用の検討と課題 ア 土地利用の検討 以前、拠点整備課では「区画整理」のことばかりで「上物は区画が決まってから」という話だったので、どんな街にしたいかよりも土地経済的価値中心の区画整理が行われていることに疑問があった。</p> <p>景観が美しくない街は魅力がない。「どんな風景にするか」が建物よりも先に来ると思う。空間美を重視の</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所本庁舎については、防災・減災などの観点で昨年度に移転して整備するとの方針の策定に至ったところです。</li> <li>・素案では、この方針の実現にあ</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>土地利用がほしい。 富士山を愛でる人が マンションの住人だけでは納得いかない モノレールを乗る人達、街を散歩する人達が 京への道標が「富士」だったと思えるような土地利用(道の設定含め) また深沢にとって富士、御霊神社(藤沢・深沢)・水満宮(平良文・菅原道真祭神)は旧鎌へ続く重要な史跡である。土地には歴史があり、壊してはいけないブランドがある。深沢村が藤沢ではなく鎌倉市の一部であることを明確にするためには藤沢市にない鎌倉街づくりの一つとして深沢の土地利用を鎌倉市統一したプライドで行う方がよい。</p>	<p>たり、まちづくりの観点からも深沢地域整備事業用地(行政施設用地)への移転を示したものです。 ・深沢地域整備事業用地や深沢地域のみまちづくりについてのご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
100	42	P37, 49	<p>深沢地区整備計画及び資生堂鎌倉工場跡地利用計画には商業施設が俎上に上がっています。既設の商業施設(ルミネウイング、SEIYU、イトーヨーカドー、コーナン鎌倉大船モール)に及ぼす影響について、今後十分な検討がなされるものと受け取ってよいですか。</p>	<p>・本取組では、深沢地域整備事業用地約 31ha の内、行政施設用地の 2.6ha を対象として検討しているものです。 ・深沢地域整備事業用地や深沢地域のみまちづくりについてのご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
101	57	P36	<p>深沢地域整備: 新ごみ処理施設を置き、給湯、発電等を用地内に供給する、エコタウンとする。プールや温泉テルメをつくり、市民の健康増進に役立てる。</p>	<p>・新ごみ焼却施設は、別途、建設候補地について、山崎下水道終末処理場未活用地を最終建設候補地として選定をしているところです。</p>
102	72	P24	<p>深沢地域整備用地を拠点の一つと考える案には全面的に賛成であるが、近接する玉縄地区が大船深沢ゾーンから外れている。多くのマンションが建ち、モール、病院等もある玉縄地区は、現状では大船駅というピンポイントのみを経由して大船深沢ゾーンへアクセスするしかない。深沢拠点に隣接する藤沢地区(新駅予定地)を経由して玉縄地区へ繋がる公共交通手段や道路を計画に入れるなど、広域行政的取り組みが望まれる。</p>	<p>・引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。 ・交通に関するご意見については、鎌倉市交通マスタープランや深沢地域のまちづくりと連携を図りながら検討していきます。</p>
103	72	P40	<p>シビックエリアに大規模な立体駐車場を建て、自家用車観光客はここからシャトルバスで旧鎌倉へ導く。現在不足気味の学習センターも大量に併設し、これらは非常時の市民被災者の収容場所にも転用できるようにする。  シビックエリアの形成には周辺の道路整備が必要である。防災拠点一つを考えてみても、旧鎌倉地区へ</p>	<p>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			繋がる藤沢一大仏へのバス道路は普段でさえ常磐口や手広交差点が渋滞気味であり、手広交差点も浸水時には冠水して通行不能となる。また防災拠点の深沢へ市街から物資搬入するルートは関谷ー山崎陸橋が最重視されるが、これも山崎陸橋北は浸水する。また陸橋南から深沢へのルートは、既存のモノレール下の道路を経由するとしても、若干の補修拡張工事が必要である。新たなルートとして深沢側新駅方面からの進入路も必要と思われる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通に関するご意見については、鎌倉市交通マスタープランや深沢地域のまちづくりと連携を図りながら検討していきます。</li> </ul>
104	73	P40, 46	<ul style="list-style-type: none"> <li>深沢地域整備事業用地、扇湖山荘に関しても素案に反対。</li> </ul> <p>深沢地域整備事業用地はグラウンド整備(サッカー場、野球場ほか)、分庁舎(防災拠点)、ゴミ新焼却施設・・・の3つを核にプランを練るべきである。市役所本庁舎をもっていくべきではない。ゴミ新焼却施設は屋上緑化、熱の有効利用などをはかり、地域と共生した施設にすれば再開発の目玉となる。ここが一番ふさわしい。</p> <p>扇湖山荘は、NPO 団体に利用をゆだねるべきである。NPO 活動の拠点として有効活用すべきである。また、市が所蔵する美術品の展示場所としても活用するとよい。高田博厚氏の彫刻を屋内外に常設展示する美術館をここに是非作っていただきたい。市民とのコラボで有効利用を推進していくべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本取組では、深沢地域整備事業用地約 31ha の内、行政施設用地の 2.6ha を対象として検討しているものです。</li> <li>深沢地域整備事業用地や深沢地域地域のまちづくりについてのご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</li> <li>新ゴミ焼却施設は、別途、建設候補地について、山崎下水道終末処理場未活用地を最終建設候補地として選定をしているところです。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
105	85		<p>現市庁舎跡地を文化都市鎌倉にふさわしい、緑あふれる空間とすることには賛成です。ですが、ここに図書館を併設する場合、全館図書館とするならばともかく、敷地面積からいっても中央図書館の機能を果たすには不十分だと思います。</p> <p>ここは地域の図書館として充実させ、併せて観光客をも受け入れることのできる施設とするのがふさわしいのではないのでしょうか。</p> <p>中央図書館は市庁舎移転先に併せて深沢に移転し、貴重資料の保存に適した施設にするのが良いと考えます。懸案となっている公文書館についても、この機会に深沢に新設すべきと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
106	92	P36～41	<p>深沢地域整備事業用地</p> <p>●整備可能な総床面積が 52,000 m<sup>2</sup>あり、余剰床が 11,000 m<sup>2</sup>になると想定される(p27)とのことだが、余剰床を民間の利用に供するのか、本庁舎・消防本部・総合体育館以外のウェルネスの増進に役立つ公</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本取組では、深沢地域整備事業用地約 31ha の内、行政施設用地の 2.6ha を対象として検討し</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>共機能の導入をはかるのか、あるいはウェルネスの増進を公民連携で行うのか、素案からは判読できなかった。</p> <p>コスト抑制の視点から、基本的に深沢の当該地は行政機能の集約、御成町の跡地は生涯学習・市民活動拠点の集約、ということで棲み分けをおこなうべきであると考えます。</p> <p>本庁舎の深沢移転で市の防災力の向上をはかるということであるから、空間を生かした防災力の発揮に留意することが必要。</p> <p>●「他の公的不動産の利活用で得られる歳入の活用(相殺)も含め、総合的な視点での検討も必要(p39)」とあるが、御成町の跡地での PPP/PFI 手法でのコスト削減(収入の確保)の果実は跡地整備に充て、深沢の本庁舎整備にまわすべきではない。</p> <p>その他の低未利用(または御成町の跡地への集約の対象となった)公的不動産については、市民ニーズに基づく将来的な事業化の可能性に配慮した上で資金化の検討を進めることが、市債の増大を抑える上で必要。</p>	<p>ているものです。</p> <p>・深沢地域整備事業用地や深沢地域のみちづくりについてのご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
107	93		<p>3.深沢地域整備事業用地の利活用について</p> <p>市役所の本庁が移動することが決まっていることを今更覆すとは思わないが、ありきたりの商業施設と住宅とが立ち並ぶ、なんとなく現代風の洒落た風の清潔感のある建物の市役所エリアはいらぬ。</p> <p>もっともっと独創的なエリアにできる可能性がいっぱい。なぜなら現在さら地だからです。</p> <p>願わくば、市民農園(有料でもいい)や果樹なども楽しめる緑溢れる場所になって欲しい。</p> <p>馬がいて乗馬体験できたりメリーゴーラウンドがあったり、市役所や体育館への用事以外にも市民が集う場所になって欲しい。</p> <p>商業施設で市民を釣るようなやり方ではなく、ほかのどこにもない面白い街の中心がここでできれば移転反対派の人も楽しくワクワクするような場所になると笑顔が増える。</p> <p>ゴミの分別は鎌倉市はとて細かいので、分別を学べる場所や、分別後のゴミの行方がわかりやすい展示なども常設であるといい。市民が市に関わる意欲をますます増やして行く場所にするべきです。</p> <p>とにかく、この用地への既存の大手企業の住宅や商業施設の誘致には賛成できません。40ページのイメージ図を見る限り、よくありがちなつまらない施設になりそうです。</p>	
108	97		<p>3. 深沢整備事業用地</p> <p>こちらの開発が良い方向に進むことは良いと思います。企業なども併せて誘致していただけるとよいと思います。様々な施設が建つのは良いと思いますが、無理にここに集約する必要はないと思います。特にプールですが、深沢は深沢、坂の下の海浜プールは坂の下に、坂の下はきちんと作り直し、深沢にあるから坂の下をなくすというのはおかしいと思います。</p> <p>また、御成小学校や第一小学校、御成中学校などにもプールがありませんが学校にはプールを作るべきで年に数回プールに生徒を連れて行って水泳の授業をしたことにする、泳ぎを覚えてくれればスクールに通わないといけないというのも海辺の町に住んでいて非常に変な話です。</p>	
109	100		<p>深沢地域整備事業に関して、現在周辺の道路がせまいので、交通事情を十分考慮していただきたい。</p>	<p>・交通に関するご意見について</p>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				は、鎌倉市交通マスタープランや深沢地域のまちづくりと連携を図りながら検討していきます。

## 個々の公的不動産に対する意見&lt;扇湖山荘&gt;

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
110	17	P45	扇湖山荘 ・扇湖山荘の茶室を活用してほしい。他はホテル、レストランに活用。 ・大磯町の吉田茂邸や鎌倉市内古我邸レストラン等を参考に。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、民間による利活用の具体的な検討の中で、参考とさせていただきます。</li> </ul>
111	21	P42～47	特にありません。	
112	46	P46	扇湖山荘 上から7行目の最初に、昭和の鎌倉を学ぶシンボルとして、という文を入れて欲しいです。 鎌倉には横須賀の将校さんの住宅地として開発された台の海軍さん通りや、軍事工場の拡大のために移転してきた松竹撮影所、痒み止めなどに使われたミントの製造で軍用製品を作った資生堂など、昭和の歴史に関わる遺跡がたくさんあります。防空壕や高射砲跡、道路に打たれた海軍の票など、残したい物も多いです。扇湖山荘の地下には、巨大な壕が格子状に作られて、南東にあるオバケトンネルに繋がっていました。 そういう戦争遺跡も観光資源です。ここに来ればどんな遺跡が市内に点在するかがわかる、そういう拠点になります。何より扇湖山荘の持ち主がワカモトの販売者だった。壮健な兵士を国が求めた時代でした。大船中学校の工場跡地から大船駅に伸びていた線路跡の道、稲村ヶ崎の潜水艇、植木の米軍捕虜収容所。今は何もなくても、標識さえあれば、子供達は想像できます。地下壕などは危険なので、のぞき穴を作って、中に照明を当てるだけでも十分です。小中学校のグループ学習に活用できます。 ひいおじいちゃんやおばあちゃんが覚えている昭和の鎌倉の歴史の拠点にして、市民に開放して欲しいです。 企業誘致にも賛成ですが、一部に市の施設を残すことも可能だと思います。本館の端っこの居住部分だけでも十分です。	
113	58		扇湖山荘 活用についての意見 対象;鎌倉市民・外国人・日本人観光客(知的層・富裕層をターゲット) ・案1 ナイトタイムエコノミーの実験施設として 鎌倉に滞在する観光客からは、夜、特に大人が楽しめる施設がないとの声をよく聞きます。 映画や音楽、お芝居、講演などを昼間だけでなく夕方からも楽しめる施設として活用。 扇湖山荘で日本映画や、満月の夜に琵琶の音など聞けたら外国人も感動するのではないのでしょうか。鎌倉山の住人は美意識が高いかとお察しします。芸術性の高いイベントなら、住人もご理解頂けるのでは。 ・案2 日本文化体験拠点、日本文化の学び舎 様々な日本文化体験ができる場所、日本文化を学べる場所 にほんご、日本画などのアート、武家文化や日本刀に関する講座、海外で人気の盆栽等着物を着て写真撮影ができる(インスタグラム～本格的な記念撮影まで)イベント開催	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>・案3 鎌倉ロケーションオフィスを扇湖山荘敷地内に設置し、敷地を撮影場所として貸し出す。施設はありのままを活かす。映画製作や映像を学ぶワークショップ開催。</p> <p>・案4 オリンピック期間中のアートイベント会場として使用、他文化施設と提携 鎌倉ゆかりの作家作品展示(協力:日本画家 大竹正芳先生他) 体の不自由な方のアート作品の展示 武家の古都展 日本文化体験・アートワークショップなどを開催 パフォーマンス(能や日舞・演武・邪楽コンサートなど)</p> <p>・案5 鎌倉を訪れるVIPの迎賓館として活用 2020年までの試験的使用と仮定してみました。現実的ではないかもしれませんが、一鎌倉市民としてご意見提出させていただきます、よろしくお願いします。</p>	(前ページの続き)
114	63	P42	<p>5.扇湖山荘の活用に関してですが、鎌倉市内のお茶を学んでいる人たちが、どこでお茶の修業をしているかご存知でしょうか？お茶名を持つ先生の茶室に生徒として授業料を払って学びに行くのが一般的ですが、一人稽古や、お茶仲間だけでいこをするときは、深沢のてきすい庵や平塚の公営会館を利用しています。一寸考えれば分かる事なのですが、鎌倉はそのブランド価値を生かせず、色々な機会損失をしているかもしれませんね。</p>	<p>・引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</p>
115	71	P42	<p>扇湖山荘 「鎌倉市の迎賓館としての利用」 市内には寺社以外に公の施設で客人をもてなす施設がない。国内外の特使や高官などVIP客を接待する拠点に扇湖山荘を活用して欲しい。 (鎌倉市観光協会も上流客を呼びことが課題の一つになっている。広義の意味では共通すると思われる。) ※年に何回かは一般公開してほしい。</p>	<p>・引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</p> <p>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、民間による利活用の具体的な検討の中で、参考とさせていただきます。</p>
116	84		<p>・扇湖山荘を中心とした旧邸宅ネットワークという構想が示されていますが、中身が漠然としていて、イベント開催という以外に具体的なイメージがない感じがです。民間業者だけでなく、もっと専門家からのアドバイスを必要としているのではないのでしょうか。</p>	
117	93		<p>4.扇湖山荘の利活用について ここも、一民間企業による一部の人が立ち入ることができないものになってしまうのは勿体無いと思います。宿泊施設もいいですが、宿泊施設の場合あまり市民は利用することはないですね。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>「鎌倉ものがたり」のテーマパークにするのはどうですか？</p> <p>ちょっと不思議な魔界と黄泉の国と鎌倉を結ぶようなテーマパークになったら市民も観光客も楽しめる場所になるかと。</p> <p>既存のテーマパークではなく、より世界観を伝えられるような、建物でその雰囲気や小細工で演出するような場所。</p> <p>ということもあるのですが、この場所は素晴らしそうなので、拝観料をとって観光スポットにしちゃうのがいいのではないかと思います。鎌倉には残念ながら幕府跡地など歴史的観光スポットが残っていないので、巡るとなると寺や神社。</p> <p>サグラダファミリアのように世界中の人が定期的にわざわざ来るような場所になり、またスタンプラリー見たいのは観光客の方々には好きなので、この扇湖山荘を中心として、他の旧〇〇邸も拝観料をとって巡れるようにしたらいいと思います。</p> <p>それにまつわるマップを作ったり、ガイドブックなどすぐいんなところ出版しそうです。</p> <p>もう一歩鎌倉ならではの建物廻り、みたいなものが流行りそうです。それにちなんで申し上げると、こういった歴史的建物ばかりを保全するのではなく、市内に散りばめられた古屋をもっともっと市が守る姿勢を見せて欲しいです。</p> <p>一部の観光名所だけでなく街全体が古き良き鎌倉の雰囲気というのをいつまでも醸して行けたらいいです。</p> <p>細切れに開発されて行く町並みを見ているのは心苦しい。せっかく着物を着て鎌倉散歩が流行っているのに、町並みがどんどん新しくなっていくのは、その事業も続きません。</p> <p>持続可能なまちづくりというのは、商売や暮らしが持続可能であることが前提ですね。</p> <p>この街に生まれ育った人やこの街を選んで住み続けている人が望んでいる町並みというのを改めて考えているんな計画を建てて欲しいです。</p>	(前ページの続き)
118	97		<p>4. 扇湖山荘</p> <p>とても素晴らしい場所ですので鎌倉の誇る代表的な財産のひとつとしてきちんと活用してほしいです。残ったからと言って市民が入れないような場所にするのではなく料理、お茶が飲めるような場所、お茶会ができたり、貸し切りで会合、イベントや結婚式ができるような場所としても様々な人が利用できるようなところとよいです。入場料を取ったり、近隣を観光客がぞろぞろ歩いて住民に迷惑とならないよう、例えば鎌倉駅からシャトルバスを1日数回出すとか(有料で)、乗降は敷地内にするなど工夫をすればよいと思います。旧華頂宮なども同様に修復活用して建物が生き生きと、鎌倉文学館のように訪れる人々に喜びを与えてくれる場所として、甦ることを願います。</p>	
119	99	P4	<p>神戸異人館や横浜山手洋館のように各棟が近ければネットワークが可能ですが離れている事と洋風と和風趣が異なるので各々の特色を活かし迎賓館(扇湖山荘) <u>音楽ミニホール</u> etc(旧華頂宮邸) <u>ギャラリー(旧前田邸)</u> 和事の各種催し展示会(旧村上邸) 資料展示休処(旧和辻邸) という様に法人か市の公けの</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			グループに管理をゆだねてはいかがでしょう。 (※下線部→文化協会が協力申し出)	(前ページの続き)
120	100		扇湖荘は環境・建物も大変素晴らしいので開放日をもっと増やしてほしい。宿泊施設もできれば望ましいです。 なるべく多くの市民が足をはこべるようなアクセスも考えていただきたいです。	

## 個々の公的不動産に対する意見&lt;資生堂鎌倉工場跡地(寄附予定部分)&gt;

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
121	21	P48～50	<p>市民と働く者のための施設であった「レイウエル鎌倉」が大船地域から無くなり、マンションが建設されました。側聞するところによれば、「4億円で市が土地を売却した」ということですが、もしそれが実態であったならば、為政者の良識を疑います。「カネが入ればそれでいい」という感覚で市政を運営されるのであれば、それは行政の専門家でなくても誰にでもできます。為政者には50年先、100年先を見据えた市民が誇れる街づくりが求められていると思います。貴重な市有地がわずか4億円のために民間業者に売り渡され、もはや市には戻ってきません。その轍を踏んではならないだけでなく、市民と働く者の拠点であった「レイウエル鎌倉」の復活をこそ熱望するものです。「レイウエル」という名称の中にすべてが込められているのではないのでしょうか。それをないがしろにした市政は市民と働く者の名において糾弾されるべきです。</p> <p>従って、その復権は「資生堂工場跡地」に求められるべきだと考えます。マンションだらけの大船、鎌倉は古都の名にふさわしくありません。市民と働く者が活き活きとしている街の活動拠点として新しくこの土地を活用すべきと考えます。市民の自治意識が高い街こそ「歴史、文化、緑」が残されている鎌倉でこそ実現されると考えます。その自治意識の涵養のための施設を建設してください。建物さえ出来上がれば、その運営についての経費は新たな「協議会」を立ち上げて考えればよいと思います。IT産業他民間企画の誘致の発想は余りにも貧弱すぎます。そのためにも、かつて「レイウエル鎌倉」を利用していた団体や個人を糾合した「考える会」などを組織するとともに、智恵を出し合ってゆきたいものだと思います。</p> <p>以上、かなり広域に市民の間に意識されている考えかと思います。又、資生堂の理解も得られるのではないのでしょうか。真剣にご検討のほど、よろしく願い申し上げます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、民間による利活用の具体的な検討の中で、参考とさせていただきます。</li> </ul>
122	88		③資生堂鎌倉工場跡地 鎌倉市には「スポーツセンター」がありません。プール、体育館、グラウンド、等の機能を備えた大規模なセンターを作り市民に活用させて下さい。	
123	98		○”資生堂鎌倉工場跡地”について 市民プール等のスポーツ施設を建設していただきたい。	
124	92	P48～51	資生堂鎌倉工場跡地(寄附予定部分)については、公的不動産利活用推進方針の策定対象に入れる必然性が感じられない。	
125	93		5.資生堂鎌倉工場跡地 特になし(時間オーバー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> </ul>

## 個々の公的不動産に対する意見&lt;その他&gt;

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
126	18		12月に開催された市民シンポジウムの講演でリノベーションが取り上げられていましたが、深沢子ども会館に隣接する市営住宅の数棟(資料によると再開発対象のようですが)に耐震補強などを施し、かつての同潤会青山アパート(現在表参道ヒルズ)がブティックやギャラリーに利用され若者たちにも人気があったように、昭和の香りを残しつつみんなが集えるようなカフェやお店を若者たち(気持ちが若ければ)が低家賃で開けるような空間があれば、単なる再開発による新しい建物、施設が林立する味気のないものに終わらないのではないかと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用の提案を民間事業者等に求め、市場性を確認するとともに、市民の意見等も聴きながら、その利活用を慎重に検討することが必要と考えています。</li> <li>・なお、売却や定期借地を行う場合においては、周辺環境の維持、地域課題の解決等、地域のまちづくりに寄与するような最大限の配慮、地域を活性化するための提案等パブリックマインドを発揮できる条件を契約書等に付すことで、単に建物や施設が林立するだけの味気ない土地利用とならないよう、時期を捉えて誘導方策を検討します。</li> <li>・いただいたご意見のうち「単なる再開発による新しい建物、施設が林立する味気のないものに終わらないのではないか」の部分を参考に、P55の表現を変更しました。</li> </ul>
127	21	P54～55	特にコメントできません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> </ul>
128	21	P56	「レイウェル鎌倉」の轍は踏まないで下さい。売却だけはしないこと。市営住宅の改築、新築を進め、若年層が定住できる市にして下さい。また、保育園等の場所は、市民の緊急ニーズ(例えば、待機児童や特養などの待機者)に応える方策に使われるべきと考えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用の提案を民間事業者等に求め、市場性を確認するとともに、市民の意見等も聴きながら、その利活用を慎重に検討することが必要と考えています。</li> <li>・なお、売却や定期借地を行う場合においては、周辺環境の維</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				持、地域課題の解決等、地域のまちづくりに寄与するような最大限の配慮、地域を活性化するための提案等パブリックマインドを発揮できる条件を契約書等に付すことで、単に建物や施設が林立するだけの味気ない土地利用とならないよう、時期を捉えて誘導方策を検討します。
129	106	P56	「レイ・ウェル鎌倉」の轍は踏まないで下さい。売却だけはしないこと。市営住宅の改築、新築を進め若年層が定住できる市にして下さい。又保育園等の場所は市民の緊急ニーズ(例えば待機児童や特養などの待機者)に応える方策に使われるべきと考えます。	
130	31	P3, 4	<p>「その他の公的不動産(その他)」について 材木座保育園敷地、稲瀬川保育園さ引地および旧市営弁ヶ谷住宅用地などが”売却を含め”と記されている。</p> <p>これらの土地は鎌倉市の中でも「沿岸部」に位置している。材木座地域、由比ヶ浜沿岸部地域は近くに山や高台が近くない地区がある。</p> <p>ご存知だろうか？</p> <p>材木座地域では「芝原自治会地区」「上川原自治会地区」「若松町自治会地区」材木座中央自治会地区などは実際に大災害が起きた時に(鎌倉市がいち早く作成した動画「巨大津波の襲来」のような)これらの地区の人たちが「余震」が続き、ガレキが散乱しているかも知れない中を、押し寄せる大津波から問題なく逃げ果せることができると鎌倉行政は考えているのだろうか？</p> <p>今回、鎌倉市が出した『素案』には、そのようなことに対する考慮が「全くない」ことが明確になった。「鎌倉市民が誇れる街づくり」は結構な話だ。また、「災害に強い行政拠点造り」のための「本庁舎移転」も良いだろう。</p> <p>しかし、自治体行政の第一義は「市民の生命、財産の安全確保(安全保障)ではないのか。残念ながら「松尾市政(鎌倉市行政)」にはその視点が完全に欠如しているとしか思えない。</p> <p>なぜ『災害に強い街づくり』の構想が持てないのだろうか？市民の生命の安全は二の次、三の次ののだろうか？</p> <p>前述した、幾つかの市有地は、災害発生時の際の『避難難民』になる恐れのある人たちの近くにある。</p> <p>で、あるにもかかわらず「民間業者に売却」もある、とは・・・。</p> <p>今、言われている大災害発生が不幸にして起きてしまったら、鎌倉市沿岸部の住民の多くが犠牲になる可能性を市行政は否定できるのだろうか？</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			それが現実となった時は「鎌倉市行政」は、「非難」のみならず、間違いなく「市行政の責任」を追求されることになるだろう。 以 上	(前ページの続き)
131	42	P54, 55	ここで述べる方策は、本方針に水を挿すようですが財政難下では一策と考えます。 ご案内のとおり、建造物には寿命があります。上述の情報を基に、老朽化が進んで維持管理費が嵩み、且つ利用者数が少ない建造物は、補強・改築して延命策を講ずる前に、建造物の歴史的・文化的価値のある部分を転写し、資料として保存し、後世に利活用するのが望ましいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは、利活用の提案を民間事業者等に求め、市場性を確認するとともに、市民の意見等も聴きながら、その利活用を慎重に検討することが必要と考えています。</li> </ul>
132	50		津波地域に於ける避難場所確保の為材木座保育園跡地、市営住宅跡地等を再利用下さる事を希望致します。売却は反対！	<ul style="list-style-type: none"> <li>利活用の提案を民間事業者等に求め、市場性を確認するとともに、市民の意見等も聴きながら、その利活用を慎重に検討することが必要と考えています。</li> <li>なお、売却や定期借地を行う場合においては、周辺環境の維持、地域課題の解決等、地域のまちづくりに寄与するような最大限の配慮、地域を活性化するための提案等パブリックマインドを発揮できる条件を契約書等に付すことで、単に建物や施設が林立するだけの味気ない土地利用とならないよう、時期を捉えて誘導方策を検討します。</li> </ul>
133	54	P54	旧邸宅の活用について 歴史的価値のあるということで市に寄付されても、うまく活用できず維持費がかかって負の資産となっているように感じます。 これ以上寄付は受けたくないです。民間に売却して営業活用してもらい、固定資産税、事業税を得た方がいいのではないかと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他の公的不動産(旧邸宅)、それぞれの検討状況を踏まえつつ、扇湖山荘をシンボルにしたネットワーク化も視野に入れ、鎌倉の歴史的な文化遺産(文化財、別荘文化等)として、民間との協働による利活用を目指して取り組むことを考え</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<p>ています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、売却や定期借地を行う場合においては、周辺環境の維持、地域課題の解決等、地域のまちづくりに寄与するような最大限の配慮、地域を活性化するための提案等パブリックマインドを発揮できる条件を契約書等に付すことで、単に建物や施設が林立するだけの味気ない土地利用とならないよう、時期を捉えて誘導方策を検討します。</li> </ul>
134	59		<p>2018年1月20日、材木座いずみ幼稚園において行われた出前講座に出席し、パブリックオピニオンを募集しておられる事を知り提出いたします。</p> <p>まず、市役所移転の理由、費用の説明がありましたが、市の役割として最も重視すべきは市民の安全と考えます。</p> <p>東北大震災以来鎌倉は津波予想が50cmから15mに変更されました。</p> <p>この材木座地区は高齢者、脚の不自由な方が多く居住、避難施設地クリーンセンターまでとても歩けません。この方達は長くこの地に住まれ、鎌倉のため貢献されてきた方達です。</p> <p>それにもかかわらずこの地には全く津波から非難する場所がありません。</p> <p>これでは市庁舎移転の理由である指令塔の役割ボランティア受け入れ以前に死んでしまいます。</p> <p>まず、市役所移転に莫大な費用をかける前に市民の避難場所を作って頂きたい。</p> <p>幸い当地には材木座保育園跡地という絶好の土地があります。以前から要望しております様に、そこに近隣高齢者いずみ幼稚園園児等が避難できる避難棟を作る事を強く要望いたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用の提案を民間事業者等に求め、市場性を確認するとともに、市民の意見等も聴きながら、その利活用を慎重に検討することが必要と考えています。</li> <li>・なお、売却や定期借地を行う場合においては、周辺環境の維持、地域課題の解決等、地域のまちづくりに寄与するような最大限の配慮、地域を活性化するための提案等パブリックマインドを発揮できる条件を契約書等に付すことで、単に建物や施設が林立するだけの味気ない土地利用とならないよう、時期を捉えて誘導方策を検討します。</li> </ul>
135	60		<p>1月20日公共施設再編に付いての出前講座に参加、その際素案を受け取り、パブリックコメントの締め切りが1月22日と知りました。素案自体多岐に亘中々理解できませんので出前講座の話をベースにコメントします。</p> <p>素案に付いては出席者全員初耳で今後丁寧に市民に説明することを求めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用の提案を民間事業者等に求め、市場性を確認するとともに、市民の意見等も聴きながら、その利活用を慎重に検討す</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>1.「市民の命を守る」との視点が欠けている。3.11 の悪夢が最早忘れ去られている。近くの材木座幼稚園が移転したが、その主たる理由は「津波から園児を守る」と聞いている。これは納得するが近くのいずみ幼稚園の園児及び高齢者を守るための対策は全く忘れ去られている。</p> <p>2.市役所の立替・移転が既成事実化されているがこれを知らない市民が多い。 逆に言えば市民はこの事案を必要と思っていないのではないか？市民目線での対応をおねがいする。</p> <p>4.市役所の移転に関しては、鎌倉市をどのような街にするのか市民のコンセンサスがなまま深沢移転が考えられている。現在の鎌倉市は現在の市役所を中心にその機能が整えられて居り、これを変更するには道路・交通網等の大きなインフラ整備が必要と思うがこの説明がない。 また現在の市役所の効率化、IT 化による小さな市役所を先ず検討さらには人口減による市役所の縮小についての検討が必要ではないか。 更に、長期的には人口減少に合わせ市町村の統合・再編の可能性があり、逗子との統合もあるのでは？深沢でよいのか？</p> <p>5.過去の巨額の投資、例えば広町の緑地購入、小町通りの電線地中化が市民の為になって居るのか？地中化の必要なのは六地蔵から市役所に行く道路の方がはるかに市民生活には必要。貴重な財源・財産を市民のために最大限有効に活用するよう努力して欲しい。</p> <p>6.最後に要約すると市役所の建替・移転より前にもっとやるべきとあり、そちらを優先にすべきと考える。箱物の建設より前に先ず市民の命及び生活を守るための施作の検討と実行をお願いしたい。 地域的には材木座保育園跡地はこの地域のいずみ幼稚園園児・子ども・逃げられない高齢者の避難施設に活用することを強く要望します。</p>	<p>ることが必要と考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、売却や定期借地を行う場合においては、周辺環境の維持、地域課題の解決等、地域のまちづくりに寄与するような最大限の配慮、地域を活性化するための提案等パブリックマインドを発揮できる条件を契約書等に付すことで、単に建物や施設が林立するだけの味気ない土地利用とならないよう、時期を捉えて誘導方策を検討します。</li> <li>・いただいたご意見のうち「現在の市役所の効率化、IT 化による小さな市役所を先ず検討さらには人口減による市役所の縮小についての検討が必要ではないか」の部分参考に、P62の表現を変更しました。</li> </ul>
136	83	P54～56	<p>「その他の公的不動産の利活用の方向性」についてはまだ具体性に乏しく、これから精査されていくものと思います。今後の協議の中で、ぜひ、先に述べた地域に根ざした「多目的公共複合施設」としての積極的な活用を考慮していただきたいと思います。</p> <p>日常的な清掃や手入れ等の維持管理は、地元住民や事業者と協力して行う手法があるのではないのでしょうか？そのためにも日頃から活用できる状況にあることが望ましいと思います。そうすれば、それぞれが市民とともに創るまちづくりの地域拠点の一つになるのではないのでしょうか。</p> <p>また、全国各地には、ボランティア団体や NPO の協力を得て、地元あるいは地元ゆかりの著名人の居宅などを復元、維持管理を行い、観光資源として積極的に公開するなど積極活用している例が多くあります。鎌倉市のように年に数回開館する程度では建物が傷む一方です。市民に開放することで、歴史的建築物がその存在意義を発揮できるようなアイデアが次々と生まれて来る可能性が増加するのではないのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の公的不動産（旧邸宅）は、それぞれの検討状況を踏まえつつ、扇湖山荘をシンボルにしたネットワーク化も視野に入れ、鎌倉の歴史的な文化遺産（文化財、別荘文化等）として、民間との協働による利活用を目指して取り組むことを考えています。</li> <li>・その他の公的不動産（その他）については、利活用の提案を民間事業者等に求め、市場性を確認するとともに、市民の意見等も聴きながら、その利活用を慎</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				重に検討することが必要と考えています。

## 個々の公的不動産に対する意見&lt;全部についてや対象不明なもの&gt;

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
137	3	なし	<p>[抜粋・・・詳細は巻末資料参照] 鎌倉のコロニヘーヴ「カマコロ」 鎌倉市の公的不動産を利用して、鎌倉で日本初のコロニヘーヴを作りたいと考えています。デンマークのコロニヘーヴの 70%も公的不動産で、その土地に住む市民が通い、新しいコミュニティーが生まれる。市としても、その土地の管理費(雑草などの手入れなど)は削減でき、一石二鳥。 まず、想定しているコロニヘーヴは10区画程度。一つの区画の規模は約 100 m<sup>2</sup> (30 坪)。各区画に移動可能な小さい 10 m<sup>2</sup> (3坪)小屋(タイニーハウス)を、利用者がDIYで製作する。DIYの楽しさや家作りに対する知識を深める為に利用者と共に施工していくプロセスが非常に大切だと考えています。区画内の庭や小屋は各利用者が決められているルールやマナーに違反しなければ自由に使っていただけます。利用者が共同で使用できるコミュニティー小屋を作る予定です。その中に、キッチン、シャワー、トイレを設置することによって各区画の小屋には設備をつなぐ必要がなくなり、コストも抑えられる。コミュニティー小屋での利用者の交流なども期待できると思います。 日本のコロニヘーヴ概要: ・1区画の規模; 30 坪 ・区画数: 5区画～50 区画 ・小屋のサイズ: 3坪 (仮設・移動式) ・1区画の利用料: 2～3万円(月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> <li>・なお、売却や定期借地を行う場合においては、周辺環境の維持、地域課題の解決等、地域のまちづくりに寄与するような最大限の配慮、地域を活性化するための提案等パブリックマインドを発揮できる条件を契約書等に付すことで、単に建物や施設が林立するだけの味気ない土地利用とならないよう、時期を捉えて誘導方策を検討します。</li> </ul>
138	21	P51～53	特にコメントできません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> </ul>
139	42	P9	各施設にはコンビニエンスストアを併設する方向で検討されることを提案します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
140	44		1.民間事業者に頼るだけでなく、行政として市民サービスできる施設として市民病院を作ってほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本取組は、公的不動産の利活用を次のステージ(新たな時代)の官民連携の取組と位置付け、パブリックマインドを持った民間の活用委ねることを含めて、それぞれの公的不動産について、利活用の基本方針を検</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				討してきたものです。
141	51		シリウス(大和市)のような複合施設が欲しいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
142	52		大和のシリウスのような複合施設が理想です。なによりも図書館、子どもが勉強できるいごちのいい場所がほしいです。(明るく、情報量、蔵書数の多い) 体育館も良いと思いますが図書館をぜひ！	
143	53		図書館を作してほしい 大和市のシリウスのような複合施設を希望します	
144	57	P13	公的不動産： 安易に私企業などに売り渡すのは市民の財産を失うことになるのでやめ、自然の保全や公共の利益になる様に活用すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>売却や定期借地を行う場合には、周辺環境の維持、地域課題の解決等、地域のまちづくりに寄与するような最大限の配慮、地域を活性化するための提案等パブリックマインドを發揮できる条件を契約書等に付すことで、単に建物や施設が林立するだけの味気ない土地利用とならないよう、時期を捉えて誘導方策を検討します。</li> </ul>
145	62	P22	その地域のことを知るにはその地域の図書館に行けば良い と言われるほど地域にとって重要な公共施設の図書館に対して市はどのように位置付けているのであろうか。移後の面積は現在とほぼ同じ、内容の検討は？中央図書館の役割は？市民のニーズは？ その1例地域の資料の充実度は？5地域館ならでの収集・中央での必然性は？ 余りにも世間に知られている鎌倉という地域性は中世だけでなく近現代史の上に成り立っていることがおそれるのではないか。 今の近代史資料室は資料の収集室の感があり一般市民は中に入らないで”の雰囲気を持っている気がする。 現在鎌倉にある貴重な資料が分散消滅しないうちに保存活用の出来る公文書・文章・近代史資料関係の独立した施設館が早急に出来ることを願っている。それに加え住民を始め市外の世代を超えた交流の場を是非設置してほしい。 学校へ行けない子は図書館へ・高齢者の憩いの場は図書館へ、鎌倉は世代を超えて住み良い場所であってほしい。観光客のための鎌倉ではないことを願っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
146	72	P10	今回の対象とされていた公的不動産以外にも、市内に点在するマンション提供公園が隣り合っていくつも併設されるなど、利活用の対象物は数多くある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見は公園を含めた社会基盤施設のマネジメン</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			これらも近隣住民のコミュニケーション向上の場として、民間へ貸し出して喫茶店を誘致する等の活用方法があると思われる。	トにおいて、今後の検討の参考とさせていただきます。
147	79		<p>前略 おそれながら初めて意見提出をさせていただきます。宜しくお願ひ致します。</p> <p>標題の件につきまして要望がございます。</p> <p>音楽の練習リハーサル・スタジオを施設して頂きたく存じます。遮音・防音、空調などを施したものの。ミキサー、ギターアンプ、ベースアンプ、キーボードアンプ、ドラムセット、etc.の設備を備えているもの。</p> <p>現在、鎌倉に民営のリハーサルスタジオは無いと思われまふ。ちゃんとした音量・音圧で楽器を鳴らしたい、練習したいという時はわざわざ市外に出なければなりません。今や鎌倉市は軽音楽界の限界集落と化してしまっているのです。</p> <p>私は 85 歳の父親と暮らしております。</p> <p>父は高齢のため著しく体力が衰えてきていますので、スポーツなどで気晴らしをすることも困難になってまいりました。四年前に母を亡くしており、また体調不良に悩まされて鬱々と自宅にこもっています。</p> <p>そこで、気晴らしに父にピアノを習わせようかと考えているのですが、一人で漫然と弾くよりは仲間を募ってバンドでも組んだ方が精神的にも肉体的にも活性化するのではないかと考えております。</p> <p>「シニアから始める音楽」は、人生 100 年、超高齢化社会へと向かう時世において、人間がいきいきと生活するための道標となるのではないのでしょうか。</p> <p>また、いろいろと父親をダシにして申してまいりましたが私自身スタジオを渴望しております(笑)。</p> <p>「鎌倉市を日本一・世界一の音楽タウンに！」</p> <p>鎌倉市様が練習場所を提供してくだされば、潜在的な音楽愛好家が数多表舞台に現れて活躍しだすかもしれませんよ！</p> <p>どうか「音楽リハーサル・スタジオ」を市民に提供してくだされませ！</p> <p>以上、ご査収の程何卒宜しくお願ひ申し上げます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
148	90		イメージ画の建物のデザインが全く鎌倉らしくなくて、心底がっかりしています。由比ヶ浜通りの幼稚園のような無機質な建物は本当にやめてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見を参考に、P62の表現を変更しました。</li> </ul>
149	101	P11	<p>文化都市を標榜しながら美術館がない。</p> <p>地方都市でこの様な状態なのは殆んどないと思われる。</p> <p>鎌倉市の文化資産が他都市に流れている。(平山画伯の例を引くまでもない)今のままであれば若い市民に文化財の引き継ぎができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>

## 進め方に関する意見

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
150	1	全体	<p>3. その他 鎌倉市全体をランドデザインをもって開発していくことは重要である。その観点からも、公的不動産利活用は中心的な取り組みと言える。その上で、観光地として今後も立脚していくためには、景観、美観の確保、さらなる美化が重要であろうと考える。</p> <p>また、市内、特に鎌倉エリアでは、道路、歩道が狭く、土日などでは車の渋滞と観光客の混雑により、危険と隣り合わせの環境を余儀なくされている。東京オリンピック・パラリンピックを控え、海外からの観光客、障害者観光客も増加する中で、バリアフリーの推進も大きな課題と言える。</p> <p>東日本大震災の記憶がまだ新しい中、相模湾トラフの断層活発化も気になるところである。これらへの対応として、(少なくとも鎌倉エリアでの)電柱地中化、共同溝配管設置を行い、防災への備えとともに、歩道面積の確保、景観向上につながる取り組みとして推進してはいかかかと考える。</p> <p>いずれも大規模な費用の掛かる取り組みであり、時間的余裕を持った形で、できるだけ多くの市民の声を拾いながら、取組推進を慎重かつイノベティブに進めていただくことを期待します。</p> <p>以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ご理解とご協力をいただけるよう、丁寧に取り組を進めていきます。</li> <li>ご提案については、今後の検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
151	4	P59～62	<ol style="list-style-type: none"> <li>鎌倉市役所と深沢地域整備事業用地の利活用(市役所移転など)と、他の3つの場所の利活用は質的に異なる問題のため、明確に区別して、今後の再編整備事業を検討していくこと。</li> <li>そのうえで、市役所移転は早ければ平成38年度にも整備とあるが、市民への周知は不十分であるため、丁寧な合意形成に努めること。</li> <li>市役所移転は、深沢地域整備事業全体とリンクするものであり、それだけでも数百億単位の莫大な財政負担が見込まれる。学校の老朽化対策も急がれるなか、事業の優先順位を精査すること。</li> <li>あわせて、民間参入を含めた財政シミュレーションを行い、優先順位の根拠と事業の見通しについて市民に情報公開すること。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで市民対話、広報かまくら、のりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座(34回延 632名参加(1月31日時点))などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</li> <li>いただいたご意見のうち「民間</li> </ul>
152	12	P28	<p>市役所の移転について 移転方針を昨年広報誌「かまくら」で知りましたが、その後情報が無く、私としては考えようが無く今日まで来ました。知人から深沢エリアに移転の方向で進めていると聞きました。その前提でコメントいたします。</p> <p>私はエリアにこだわりはありません。が、市民として進捗状況の把握が出来ないことに不満と不信を抱きます。</p> <p>市役所のメンテナンス、建て直し、移転等々の話は市役所から聞くことはなく、井戸端会議的に私の耳に入ってきました。こういう情報の流れ方が気に入りません。</p> <p>市への納税者でもある市民には周知徹底を実践していただきたい。市内の各町村の定例会(例.町内会)に市の方針を素案の段階から通知するとか、具体的に周知徹底を行って頂きたいです。市民には知る必要と権利が有りますから。</p> <p>ゴミ問題も村岡新駅も「知らない、知らされていない」的に進められた、進められている、のではないでしょ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで市民対話、広報かまくら、のりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座(34回延 632名参加(1月31日時点))などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</li> <li>いただいたご意見のうち「民間</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			うか？ 情報公開→市民の声を聴く→市民合意ならば決定のプロセスを実行してください。	参入を含めた財政シミュレーションを行い、優先順位の根拠と事業の見通しについて市民に情報公開すること」の部分を参考に、P62 の表現を変更しました。
153	15	全体	一市民としては、累計500人に説明したから理解を得たとは絶対に考えないでいただきたいです。具体的には①将来この建設コストを負担する小中生全員に討議させ意見を集約、活用する(アクティブラーニングにもなる)と②深沢の候補地、野村の跡地への市民見学会などを追加する、などもっともっと市民が考える場を提供する努力をお願いします。残念ながら17万人の市民の0.3%の意見、(現実的には問題意識のある方や単なるなんでも賛成・反対の人の参加)で将来への負債200億円のプロジェクト実行の決断は早計と考えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座(34回延 632名参加(1月31日時点))などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</li> <li>いただいたご意見のうち「将来この建設コストを負担する小中生全員に討議させ意見を集約、活用する」の部分を参考に、P62 の表現を変更しました。</li> </ul>
154	21	P1～5, 3	背景、経緯、目的、基本的な考え方については概ね了解するものの、特に、本庁舎移転問題について市民に知らせた経緯については唐突感をぬぐい切れません。余りにも拙速です。更に時間をかけてより広域な市民の意見を聴く努力を促したいと思います。それは、意見聴取の取組み状況の数字を見ても明らかであり、このまま策定されれば市民自治がないがしろにされたものと受け取られます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
155	21	P9～13	概略了承。	<p>会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座（34回延 632 名参加（1月 31 日時点））などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用が将来都市像やまちづくりに効果・インパクトが期待できるものとして、主要な 5 つの公的不動産を対象としたものです。</li> <li>・本取組の検討の対象外の公的不動産の利活用についても、市全体で低未利用であったり余剰のままとならぬよう、本取組や鎌倉市公共施設再編計画と整合した利活用に取り組んでいきます。</li> <li>・市役所本庁舎については、昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を定め、移転して整備することになっていましたが、その移転先については、全市的な視点から適地を定めていくとしたため、本取組の中で検討をしたもので</li> </ul>
156	21	P59～61	本庁舎移転、総合施設など大規模計画について、深沢地域との関係もあり、ひとりの市民としては背負いきれない意見具針は避けられませんが、資生堂跡地活用については、小規模であり、計画も早期に着手すると謳いあげられていますので、早急に関係する市民の意見に耳を傾けてほしいと思います。	
157	21	ページ不特定	<p>推進方針を全体に貫く基調は「民間による利活用」となっているように見受けられます。それを一概に否定するものではありませんが、「民間事業」はどうしても利潤第一主義に陥りがちです。公的施設の利用単価を低く抑えることは、市民のために必須の条件だと思います。「レイウェル鎌倉」を利用していた際は、一部民間委託であったと思いますが、比較的利用しやすいものでした。鎌倉市行政に期待するのは民間事業並にしてもらおうことではありません。</p> <p>どうすれば、市民に喜ばれる「公的不動産」の利活用になるのか、目線を市民に合わせた施策が成されることを望みます。「サウンディング型市場調査」の内容を詳かに知らないものですから、あてずっぽうの面があるかもしれません。しかし、一個の市民としては切実な想いである点も強調したいと思います。</p> <p>以上よろしくご判断の一助とさせていただければ幸いです。</p>	
158	22	P11～12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの公的不動産とした選択基準は何か不明確？</li> <li>・その他の公的不動産として記載リスト以外で利活計画はあるが、未実行の案件が地元反対・財源見通し立たずのものが数件あるが今後どうするのかもこの方針に入れるべきではないのか？ 数年前に策定されたばかりの公共施設再編計画との整合性も不十分では？ 行き当たりばったり計画は困る！</li> </ul>	
159	22	P15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所移転に関しては利活方針が特定され決まっている故、この方針は当推進方針に敢えて入れるべきではないのでは？</li> </ul>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
160	23	P2, 4, 5	<p>p2</p> <p>①「移転して整備する」は結論ですか、これ素案ですよ。 「検討の経緯」と言いながら結論めいた書き出しですね。 結論ありきのパブコメには違和感があります。</p> <p>②「学識経験者、知識経験者、各種団体の代表」はどんな人たちですか？ 鎌倉在住の人ですか？ 選定基準は何でしょうか？ 肝心の「市民」が抜けていませんか。 移転ありきの前提で選定された各代表では意味がありません。 鎌倉の未来を語るのであれば、普通の市民を無作為で選出するべく多くの市民参加で議論を進めるべきです。 老人、学生、高校生、子供、障害者、勤労者、商店主など幅広く参画し議論を進めるべきです。</p> <p>③「移転候補地選定を含め」では移転が前提でのパブコメになりませんか。 市民の声を聞きましたと言うアリバイ作りではいけません。</p> <p>④移転計画に反対です、莫大な資金が必要です。 移転にかかるお金があるのであるならば他にやるのが沢山あるのではないのでしょうか。 ゴミ処理施設や学校設備の改修、整備、文化財の保護(天園やぐら、緑の洞門、釈迦堂切通など)、道路整備、谷戸の整備(危険地帯の法面の安全対策)、高齢者や障害者が住みやすい街づくり(デイケア施設の充実、地域で暮らせる特別老人ホームなど)、保育園の整備、保育士や介護士の拡充、空き家対策、など、広範な市民の声を聴けばもっと出てきます。とにかく市民の声を聴くべきです。</p> <p>⑤市役所移転は国でいえば首都移転のようなもの、歴史的にも鎌倉地域に鎌倉市役所があるのは当たり前ではないでしょうか。</p> <p>p4</p> <p>①「鎌倉のまちに新しい価値を創造する」などと抽象的な文言は何を言っているのか意味不明。 上記の現実的な課題を解決してこそ「鎌倉に住んでよかった」となるのではないのでしょうか。</p> <p>p5</p> <p>①拠点ゾーンというのであれば市役所の場所は行政ゾーンとして現在地が最適です。 交通面ではバスは鎌倉駅を中心に放射状に鎌倉の各方面に伸びています。 鎌倉駅に来ればバスで鎌倉市街大体のところに行けます。 江ノ電も鎌倉駅発着です。 JRで鎌倉駅に来て市役所がないのでは話になりません。</p> <p>*意見のまとめ</p> <p>①市役所移転反対、改修で充分</p> <p>②莫大な移転費用を市民目線で使うこと</p> <p>③「団体の代表」ではなく無作為の幅白い市民参加で検討すること。 なお、町内会、自治会の代表は住民の総意で選出されていないので代表には不適切です。</p> <p>④進捗状況を随時公開</p>	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市役所本庁舎については、昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を定め、移転して整備することになっていましたが、その移転先については、全市的な視点から適地を定めていくとしたため、本取組の中で検討をしたものです。</li> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座(34回延 632名参加(1月31日時点))などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</li> <li>いただいたご意見のうち「「鎌倉のまちに新しい価値を創造する」などと抽象的な文言は何を言っているのか意味不明。」の部分参考に、P4の表現を変更しました。</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性やシンボル性は大変重要なものと認識した上で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針として昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を策定したところです。</li> <li>・現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転先と併せて現在地の新たなあり方を検討してきたものです。</li> </ul>
161	24	全体	市役所本庁舎の深沢JR跡地への移転は大きな問題なので、市民に広く周知徹底して意見を求めているかないと市民の理解を得られないと思います。各学習センターでの公聴会を要望します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座（34回延 632名参加（1月31日時点））などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討</li> </ul>
162	25		<p>* 全市的とはどのような意味でしょうか          全市と言えただけ 市民にこの提言が 浸透しているとは思えません          現に 市庁舎の移転に関して「知らない」「そのような話が出ているのか なぜ知らせてくれない」と言う意見を 多く聞いています          今回の提言書を読むと「深沢に市庁舎移転有りき」との考えが見え隠れします          全市的と言うならば市民全体に「何が伝わっているか」を丁寧にリサーチすべきと考えます</p>	
163	27	全体	<p>基礎的自治体はまずそこに住んでいる市民の生活まさに「ゆりかごから墓場まで」を責任もってフォローすることにあると思う。          素案を読んだの第一の感想は「生活実感とかけ離れている」ということであり、赤ん坊から高齢者まで住んでいるという生活の場であることより「民間活力」という言葉のもとに「企業が儲けるために鎌倉を利用す</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>る。」そんな風にすら素案3ページの推進方針を読んで感じた。この20行そこそこの文章に何と「民間の活力」「民間事業者」「民間の活用に委ねる」と6か所もちりばめられている。</p> <p>市民の思いは日々「歩道が狭く斜めで歩きづらい。滑りやすい。」「団体活動する集会室に困っている。」「ハイキングコースや名所旧跡の保全が行き届いていない。」「介護の苦勞」若い人は子育てに「学校の改修」等々市にお金をかけてやってほしいことは山ほどあるに違いない。</p> <p>「公的不動産の利活用」するにあたってこれらの市民の思いを反映するような活かすことを念頭に置いてデザインしてほしいものである。</p> <p>① 「民間活力の導入」をすべて否定するものではないが、民間事業者以上の力を持っていると思われるこれまで培ってきた鎌倉の市民活動の力を「不動産の利活用」するにあたりどこに活かすのか。NPO団体からのヒアリングは行ったのか。</p> <p>② 鎌倉が愛されるのは「自然環境と歴史と文化それに都市環境がマッチして落ち着いたまち」であり活発な市民活動、その全体が醸し出す「かまぐら」が今回の素案に見えない。推進方針のとおり薦められたら鎌倉でなくとも全国どこにでもある「まち」になってしまうのではないかとさえ思われる。例えば「京都駅」のように。</p> <p>③ 施設は大きくて見た目素晴らしいようなものは要らない。それよりも住まいの近くに徒歩で行ける場所で生活の手続きができることや相談の窓口。近隣住民が交流できる利用しやすい集会室や誰でも立ち寄っておしゃべりができる談話室などが市民の第一の要望だと思う。</p> <p>だとすると行政センターをもっと利用しやすく、そのために地域の団体で協議検討する運営検討会等を作るなど合わせて行うこと。再編計画とセットで見直してほしい。</p> <p>④ 鎌倉の貴重な財産をレイウエルのように民間事業者に売り渡すことの無いように心から願っている。</p> <p>⑤ 残念なのはこれら鎌倉の将来が検討されていることを最近まで知らずにいたことである。関心興味のある人だけでなく一人でも多くの市民に届く広報活動を望みます。</p>	<p>状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</p>
164	30		<p>市役所移転</p> <p>1、移転しか選択できないようになっているが、まだ決まっていないのか</p> <p>2、移転する場合、財政はどうなるのか。</p> <p>3 これまでの 公共施設がなくなるのかが分からず、不安。</p> <p>① 支所はどうなるのか</p> <p>② 大船体育館 鎌倉体育館 はどうなるのか</p> <p>4 ごみ焼却施設 を 深沢 に移す ことは検討しているのか</p> <p>以上です</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本取組は、全市的な視点を持った公的不動産の利活用をまちづくりの視点で検討してきたものです。</li> <li>・市役所本庁舎については、防災・減災などの観点で昨年度に移転して整備するとの方針の策定に至ったところです。</li> <li>・素案では、この方針の実現にあたり、まちづくりの観点からも深沢地域整備事業用地（行政施</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				<p>設用地) への移転を示したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度に策定した鎌倉市公共施設再編計画にて、支所業務については、見直しを行い、市役所本庁舎等に業務を集約化することを検討する再編方針を示しています。将来的には各種証明書の交付をコンビニエンスストア等でも取り扱えるようにするとしています。</li> <li>また、大船体育館、鎌倉体育館については、同計画で深沢地域整備事業用地に集約し、総合体育館として整備する再編方針としています。</li> <li>新ごみ焼却施設は、別途、建設候補地について、山崎下水道終末処理場未活用地を最終建設候補地として選定をしているところです。</li> </ul>
165	32		<p>市役所の深沢移転は反対です。もっと市民に周知させてほしいです。民間活用がすべて悪いとは思いませんが、今は民間企業が地方自治体を営利目的で利用している、悪く言えば食い物にしていると感じられます。本来公(おおやけ)は、利潤追求はなく、弱い立場の人たちを助ける役目があると思います。資金節約のために企業の言いなりになったり、振り回されたりしないで下さい。なったり、振り回されたりしないで下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座(34回延 632名参加(1月31日時点))などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図りま</li> </ul>
166	38		<p>市役所本庁舎移転、公共施設再編などについての意見です。</p> <p>市役所移転について、私も含め、私の周辺では知らない市民の方たちが多く、驚きと困惑が広がっています。</p> <p>私を含め、鎌倉には多くの高齢者が暮らしています。高齢者にとって、市役所が深沢に移転することは、今までの暮らしを大きく変えなければならないことへの不安と心配に繋がり、それだけでなく、年金の問題など、これから先の生活がどうなるか不安でたまらないのです。市役所は、市民の生活に密着し、困難な時こそ助けてくれるところだと思います。</p> <p>鎌倉市の公共施設は、市民の税金で運営されているはずで、市役所の移転や公共施設再編に税</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>金を使う前に、子どもたちの生活環境(特に第二小学校の老朽化)や一人親世帯の貧困の問題など真剣に取り組んで欲しいことがたくさんあります。図書館の充実(有資格の図書館司書を増やすなど)やヨーロッパなどにある市民が集える木々や花々が溢れる広場など。市民にとって切実な問題は何か、机上ではなく、もっと日常的に市民の中に入って考えて下さい。</p> <p>市民の税金を預かっているのですから、市民のために、市民のより良い生活のために、きちんと計画を立て予算をつくり、使い道を真剣に考えて下さい。以上です。</p>	<p>す。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見のうち「市役所が深沢に移転することは、今までの暮らしを大きく変えなければならないことへの不安と心配に繋がり、それだけでなく、年金の問題など、これから先の生活がどうなるか不安でたまらない」の部分を参考に、P19の表現を変更しました。</li> </ul>
167	43	P15～51	<p>それぞれの公的不動産について、「取得経緯」…「利活用の基本方針」、「具体的な活用の検討と課題」と順々に記述されている。市民にとっては、「それでどうなの」というところ＝「具体的な活用の検討と課題」がもっとも気になる。それがわかり難い。市民が理解し易い表現で説明すべき。</p> <p>例えば扇湖山荘の場合(P47)、前面道路の幅員がネックとなり活用が制限されることを言っているが、「慎重な検討が必要となります。」という表現で終わらせている。制約条件をクリアする可能性が全くないのであれば表現を変えるべき。可能性が少しでもあるのであればその可能性を明示し、条件クリアのための行動を取るべきである。少なくともその方向性までは記述すべきではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見のうち「市民が理解し易い表現で説明すべき」の部分を参考に、P22、P35、P41、P47、P51の表現を変更しました。</li> </ul>
168	47	P1, 52～53 (概要 P5～6などを含む)	<p>素案の根幹をなす「まちづくり」の理念が不明確。「働く」～「住み続けたい鎌倉」の言葉では内容がなく、市民に伝わらない。「総合計画」「都市マス」を市民が調べよ～とはまことにお役所的。市民に届く具体的な言葉・内容の記述がないから意味不明。イメージというイラストでは市民の心に響かない。読むほどにこの町の将来が心底から心配になる。10年後に「どんな鎌倉のまちをめざすのか」「市役所や公共施設は、企画者のまちづくりの理念・哲学をどう体現しているのか、市民に見えない」従って★「概要版の公的不動産の利活用で価値創造—5つの公的不動産の利活用に寄る全市的なイメージ」は美しいがむなしく不可解～「あれ、これ」はどうなのか「読むほどに疑問続出する」絵。</p> <p>担当は努力しているが、17万市民のわずかしこの件を知らず、参加せず当パブコメが500～1,000通(1/22メ切)集まるとは到底思えない。それで強行すれば鎌倉史に禍根を残す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公的不動産の利活用に関する本取組は、平成37年度(2025年度)までを計画期間とした第3次鎌倉市総合計画や鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市人口ビジョン・鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略等で検討した鎌倉市の将来都市像に沿ったまちづくりについて、インパク</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
		やり方について提案	<p>●急がば回れ—提案理由の根本「どんな鎌倉にしたいか」市民が読む理由から始まる再構築再提案を</p> <p>●パブコメ12, 22～1, 22募集は非常識時期！時期を選べ。出前・対話・シンポの努力集計は市民の僅か</p> <p>●テーマ公的不動産全体提案は市民に絵が見えないから、市民自身わが町の事と考えられず、担当者の努力の割に市民が冷たい現実を知るべき。全戸配布でき議論沸騰なしに強行してはいけないテーマだ。★イラスト説明を全戸委配布しても主権者に失礼。鎌倉史に禍根を残す提案としか言いようがない。</p> <p>●10年後に担当者として市民生活者として存在する覚悟なしに提案してはいけない責務があると、自治体に働く覚悟有りや。以下全体を通しての問題点と再考を促す意見を述べる。</p>	<p>トを与えるとともに、地域に新たな価値を創造することで、これを実現させる引き金となることを目指したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これら上位計画に及ぶご意見については、上位計画の推進や見直しの際の参考とさせていただきます。</li> <li>公的不動産の利活用によって、鎌倉全体や3つの拠点、公的不動産の周辺エリアの価値を上げ、特性を生かすとともに、それぞれの連携による相乗効果を生み出すまちづくりを進めるものです。</li> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座（34回延 632名参加（1月31日時点））などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</li> </ul>
			<p>一、全体を通しての問題点と私の意見、</p> <p>(1)素案の前提として「災害・津波」「人口減」が散見されるが、全体を直視すること</p> <p>私は23年前の「阪神淡路大震災」震度7の被災市民として、公立学校で働く者として実体験、被災者支援も公務員の本務としてきた。鎌倉は①阪神大震災の都市直下型②山古志村の山村災害型③津波の3要素混合型が想定される。現地で実体験した者から見れば、今回の方針(素案)は机上のプラン的で有効性に欠ける。災害で最も整備できていないと震災直後同時に手が付けられなくなる(市民生活の混乱が鎌倉では相当長期化予想)のが、◆下水道・水道・道路・5地域で生きる事ができる設計に問題が大きすぎる鎌倉の現実を直視し、優先順位として第1位にすべきだ。その事も財政支出など見通しは全く触れられていない。俗に言うライフラインのうち電気・ガスなどは全国からの民間支援で復旧可能だが、◆自治体固有のものは災害前に整備されていれば阪神大震災のように復旧が行えるが、鎌倉が今のうちにしなければ大変なことになるのではないかと。</p> <p>これは市政の責務として計画化し市民に報告しなければならない。社会的弱者の視野も見られず。</p> <p>一旦大規模災害が不幸にも襲った時を想定するに、鎌倉では想像を絶す状況になるだろう。</p> <p>(2)人口減、限られた資産の上に、商工会、寺社など大土地所有者、持てる方たちの鎌倉での歴史的社会的貢献を促す市当局と一体のまちづくりが見えない。カラススケッチの前に鎌倉の全体的将来像、地域づくり(少なくとも5地域が生きていける保障がこのプランからは見えない。単に備蓄倉庫等だけでない)自治町内会、福祉関係者、近現代史研究者・家など協力得ているか</p> <p>鎌倉町の頃から、鎌倉は有識者・資産家・有名人たちが、裕福でない鎌倉町に国宝館・町立図書館はじめ多くのものに私財を投じ「鎌倉らしさ」を形成してきた。近現代史の保存利活用も顧みられない鎌倉市の実態を是正し、21世紀の鎌倉市危機存亡を言うならば、現代の鎌倉市の有識者・資産家・有名人・研究者たちが率先して歴史的社会的責任を自覚される「まちづくり」への貢献を行政として「旧きを訪ね、新しきを知る」姿勢で実際の市政が行われているだろうか。</p> <p>遺跡発掘は制度として定着しているが、毎日廃屋化し貴重資料とともに失われている鎌倉近現代史資料・建物などの保存利活用は5施設僅かに触れられているが、いま手を打たなければ失うが全く反映なく、現存する図書館内近代史資料室の抜本的な位置づけさえも企画に入っていない。</p> <p>どんな鎌倉を10年後に想定しているのか、全く見えない。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>(3) 公的不動産で市政運営上必要な方針は、市としての理念・哲学を推進方針に位置付け、住民の福祉実現を本旨とする「日本国憲法」「地方自治法」「平和都市宣言」「市民憲章」にのっとり、「公的不動産の利活用推進」をはかるべきだ。次の3方面から、推進方針に意見を述べる。</p> <p>&lt;「働く鎌倉」～「住み続けたい鎌倉」に実質遠のく推進方針に意見あり&gt;</p> <p>1) 本庁舎をはじめ、関連施設などについて        関連施設(水道局・商工会・税務署・二つの警察署・二つの郵便局本局・市民活動ホールー鎌倉生涯学習センターと鎌倉芸術館など)が存在する施設をみても、鎌倉市は鎌倉地域と大船地域を中心に発展し、公共交通(JR・モノレール・江ノ電・バスなど)も道路も2極集中が定着している。        深沢地域は、人口密度が最近になって高くなったこと、空き地ができたこと、津波が到達しないことが、本庁舎移転推進方針のベースとなっているが、村岡駅は市民の財政負担を含め反対意見が高く、藤沢市の強力推進も見られない。ここに防災拠点や消防署本部、総合体育館・グラウンドを置くのがせいぜいで、交通網の集中は鎌倉・大船に比べ、どのように行うことができるだろうか。送迎バスでカバーとも聞くが、病院やホテルの送迎バスとは意味が違う。深沢に本庁舎機能のどの部分を置くか、諸論が出ることだろう。強行しても本庁舎機能移転は極めて限定されるだろう。</p> <p>2) 推進方針に見られる、市内1～数個の独立施設について、全貌が市民には見えない。        自治体の責務として、市営住宅、老人福祉施設、子育て施設、市立高校・小中学校・県内3番目の高齢化鎌倉の健康寿命維持のための取り組み、施設の維持・ソフトハード面で、生涯学習保持のための特に活発な施設の維持、市民サービスの5地域での維持、文化・芸術関係、、、★のイラストでは、とても充足できていないし、床面積も保障されない。触れられもしていない。        本庁舎移転がメインの今回の推進方針は、鎌倉市の公的不動産の一部を触っただけでは済まない。これによって鎌倉市が持つパンドラの箱を開けたのだから、本庁舎のみに拘らず、住民のいのちと生活を守る市政の責務を果たすために、何が今すぐに行わなければならないか、優先順位を思い切って立て直すことで、市政担当者としての責務を果たされたらどうだろう。</p> <p>&lt;「働く鎌倉」「住みたい鎌倉」「住み続けたい鎌倉」は、いま、例えば次を緊急優先順位に！&gt;</p> <p>学校の老朽化、危険状況を直視し、まず、緊急手直しを！        ふれあいセンターなど、あまりにもひどい施設の修理、玄関までの長い危険凸凹道路の補修を！        待機児童解消施策を直ぐに！&lt;希望者の全員受け入れを！「働く鎌倉」へ一歩でも進めるために！        地元業者に仕事を、地域活力に利用を！莫大な中央資本投入で企画丸投げでなく、        鎌倉らしい企業の誘致、若者、働く母親、中高年の仕事場づくり、観光客と共生できる工夫、など、        行ってみたい、住んでみたい、住み続けたい鎌倉をスローガンでなく、視点としてもっている市政への        転換具体化、県内3番目の高齢都市鎌倉の健康寿命施設さえ破壊転換せず転換具体化を        (12月14日 共同通信. 平均寿命が最も長い男性が滋賀の81・78歳、女性は長野の87・67歳ー滋賀県、        長野県は市町村に到るまでどのような行政が行われているか、ご存知でしょうか)</p>	(前ページの続き)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方  (前ページの続き)
		該当箇所	意見	
			<p>「共創」の真の実行は、市民の熱い共感なしに「ともに創る」ことは成し遂げられない。 その視点から本庁舎を含む市役所の役割は自ずから出てくる。深沢に行く本庁舎ほどの機能を移すか再考し、どうしても移転するときは鎌倉・大船にふさわしい本庁舎機能を分散し、鎌倉市としての首都移転は慎重にしなければ、鎌倉史「温故知新」の立場から、後世の批判に耐えられないとも言える。消防本部・総合体育館とグラウンドを、深沢に広大に作る。(震災で、ここだけが避難者の避難場所でない。救援物資の置き場にはなるが、、、)本庁舎執務室が深沢に行けば確保できる発想では理念・哲学が感じられない。図書館、生涯学習センターホール、ギャラリー、多くの集会室、福祉センターを商業施設とともに現本庁舎に置く—これは市民活動に不自由を与える市民反発施策だ。福祉センターの充実が他市のように温水プールなど併設で共生がさらに進み優しい街になる。 立ち退かした福祉センター・図書館跡地にして民間に売却するなど、歴史的に批判を受けるだろう。 3)市内5地域に市民参加の住み続けたい地域づくりを保障する公的不動産利活用を！ 例えば……5地域に何が、いまあるか書きだし、住みたくなる、働ける、出産・子育てしながら住み続けたい。安心して子どもを通わせる学校がある＋学童保育も。文化施設がある、学べる図書館がある。賑わい図書館ではない。若者～高齢者まで鎌倉体育館にしないに唯一あるトレーニング室&lt;9～21時毎日、200円で受け入れ、体育系の若いインストラクターが常駐しどの世代の要求にも応える&gt;が大船体育館・深沢総合体育館にできれば、健康寿命も延び、若者の健康志向、体力をつける要求に応え、若者の働く場確保、医療費の抑制、ここしか行く場のない市民男性(もちろん多くの女性も沢山通ってくる)が実現できるが、この水寸方針には推進方針59p「解体」と書いている。視覚障がい者卓球台は安心の保証だ。幼児から、地域老人のデイケア、地域の健康づくり、老若男女が集う青少年センター施設、行政センター図書館、など、鎌倉の文化と生活は、地域で育ち、地域が作っている。 公的不動産のり活用は、方針に全く書かれず、むしろなくしてしまう方向は、鎌倉の市民参画と、共創に逆行する。福祉センター・図書館の跡地は売却するのか。賑わい本庁舎後にショッピングセンターまで設ける必要なく、改めて、理念と哲学を問う。 本庁舎跡地に入りきらないものは、市内学校空き教室でまかなうなどの発想がちらつくが、発想が貧困すぎる。 4)市民の声反映を恐れないで、いまこそ、5地域の市民の声を聞く工夫をはじめてこそ、「共創」の財政政策を、市民とともに創る 殆ど財政については書かれていない。村岡新駅の方針は捨て、深沢再開発などにかかる費用だけでも鎌倉市の財政は見通せない。2)に挙げた緊急対策、1)2)3)に挙げた市政への転換を図り、地道に21世紀の鎌倉を健全財政で実現してほしいものだ。 二、原案再構築 パブコメやり直し、5地区の市民意見を早急に集約し、財政を含め、市民に示す原案作成の仕切り直しを求める。優先順位を見直すべき。 大震災実体験者からの、心の底から心配する提言です。</p>	
169	49		鎌倉市公的不動産利活用推進方針(素案)を読んで。	・公的不動産の利活用に関する本

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>……全体的な感想。</p> <p>この方針では鎌倉市の遊休土地の利活用の視点で考えられていますが、行政としての最優先課題であるべき行政サービス、住民サービスの視点が抜け落ちているような気がしてなりません。</p> <p>鎌倉市役所は何のためにあるのかといえば言うまでもなく市民のためです。しかしながら、深沢に大規模遊休土地があるからと言って、本来あるべき市民サービスの論点も検討されずに、そこに一極集中的なものを建てるのはいかがなものかと思えます。</p> <p>鎌倉市が喫緊に抱える問題としては小中学校の老朽化問題が挙げられます。</p> <p>それと、昨今騒がれている南関東・東海・東南海地震があります。</p> <p>もちろん、市民の高齢化も問題となっています。</p> <p>今回の方針がこういった問題にまったく目を向けられていない。</p> <p>市長が支所は残すが窓口サービスはなくすという発言をしたことがあります。窓口サービスはコンビニで各種書類を発行できるようにしたのだから今後廃止していくように聞いています。高齢化が進む鎌倉市でこれは進むべき姿でしょうか？高度情報化社会の中では、情報システムの高度化は必要ですが、お年寄りや障害のある方には人対人のインターフェースは絶対に不可欠です。また、行政窓口に行くのは何も住民票や戸籍謄本、課税証明書などを取りに行くことだけではありません。不動産の問題や、相続、介護、生活保護など人それぞれです。こういった複雑な問題にこそ高度な行政専門知識を有した行政窓口が必要なのではないのでしょうか？</p> <p>話を、小中学校の校舎の問題に戻します。</p> <p>ここ数年間で手を付けられた小中学校は大船中学校だけです。ほかの学校、特に老朽化の進んでいる多くの学校では学習環境は旧泰然としたままで、子供たちの学習環境は日増しに悪化の一途をたどっている状況です。文化都市鎌倉というにはとても情けない状態です。これでは他所から若い世代を招き入れることすら躊躇せざるを得ない状況だと思えます。また、自然災害の時にまず初めに避難所として避難民を受け入れるのはこういった小中学校であることを忘れてはいけません。避難所となるべき小中学校が老朽化によって受け入れができない、なんていうことにでもなったら防災計画どころの騒ぎではありません。現在の鎌倉市役所よりも津波の危険が大きい小中学校がいくつあるのかご存知でしょうか？</p> <p>今行うべきことはいったい何なのか？</p> <p>住民サービスの窓口としての支所機能はもっと細やかに設置すべきでしょう。また、内容も充実させるべきです。それこそ地域包括支援センターなども支所においてもよいくらいだと思います。特に今泉台や、七里ガ浜、腰越、梶原など地域の特殊性のあるような地域にはそれぞれ支所を作ってもよいと思います。防災の観点からも、地域の自主防災拠点として、その地域に根付いた支所を置くべきで、いちいち本庁舎のお伺いを立てないでもできる現実の災害を目の当たりにしている各支所が個々に判断して素早い対応を取ることこそが最も効果的な防災対策だと思います。</p> <p>津波対策と言いつつ、現在と同じ標高の…さらに規模の大きな河川(柏尾川)流域の深沢地区に市役所を作ることはどう考えても納得がいきません。こういった諸問題を市民に提示し、今やらなければなら</p>	<p>取組は、平成 37 年度（2025 年度）までを計画期間とした第 3 次鎌倉市総合計画や鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市人口ビジョン・鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略等で検討した鎌倉市の将来都市像に沿ったまちづくりについて、インパクトを与えるとともに、地域に新たな価値を創造することで、これを実現させる引き金となることを目指したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これら上位計画に及ぶご意見については、上位計画の推進や見直しの際の参考とさせていただきます。</li> <li>公的不動産の利活用によって、鎌倉全体や 3 つの拠点、公的不動産の周辺エリアの価値を上げ、特性を生かすとともに、それぞれの連携による相乗効果を生み出すまちづくりを進めるものです。</li> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座（34 回延 632 名参加（1 月 31 日時点））などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			い行政について真正面から検討していただきたい。	
170	61	P3	(第2回市民対話に出席、発言した主旨内容が一切無視されている。) 一方的に”活用推進”を行政で実施するのは税金の無駄使いである。活用推進の前提として、当該不動産も含めて、当市内に過去50年程度をさかのぼった事業・産業の展開、退出の状況を分析・理解して推進する必要がある。	取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。
171	63	P9	1.方針の「2.パブリックマインドを持った民間の活用に委ねる」の”パブリックマインド”とは、一体誰が判断しうるのか？そもそも、民間企業に求めるパブリックマインドとは、いったい何なのか？耳障りの良い、抽象的な概念で、関係者に都合よく解釈されるリスクは無いのか？民間企業は利益が見込めなければ、参入しないのが基本です。	・いただいたご意見を参考に、P62の表現を変更しました。
172	64		この件は、12月に市民にひろく知らされたようですが、ひろくパブリックコメントを応募するには、知らせる期間があまりにも短いと思います。一年くらいは時間をかけて、いろいろ勉強してコメントしたいのに、こんな乱暴なやり方は市民の財産を考えるのはひどいのではないのでしょうか。	・これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座（34回延 632名参加（1月31日時点））などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。
173	65		鎌倉で暮らし、今後も住み続けたい市民として意見を述べます。この方針を読むと、まず市役所の移転さらに野村総研、扇湖山荘などを利活用するとしています。市民として日頃望むことは、子育てから介護、障害をかかえた時などに、身近なところに相談窓口や施設があり、安心して暮らし続けられることです。そのためには、まず現在の鎌倉、深沢、腰越、玉縄、大船の各地域にまだまだ不十分な、子育てから高齢者、障害をかかえた人が集える充実した居場所の確保、内容の充実した体育館や福祉センターなどの具体的な実行を優先して欲しいです。市民の財産である公的不動産の用途をどのように使うのかという、最も重要な案件であるわけですから、将来鎌倉を担う若者たちや子どもの意見（子ども議会での発言は素晴らしいものがあります）も取り入れ、もっと丁寧に時間をかけて幅広い市民参画で方針を出すべきです。今回、パブリックコメントの募集期間が12月21日～1月22日までとなっていますが、年末で見過ごしやすく、提出期間が短いと思います。また、3ページに市民意見聴取の取り組み状況が記載されていますが、アンケート回答が合計67名、出前講座29回、人数491名（10月以降分）は、有権者149,940人に対して余りにも少ないと思います。まして、ほとんどの市民が市役所の移転などをまだ知りません。このような市民生活にとって最重要な取り組みは、ごみ有料化の説明会同様、回覧板なども利用して市民に周知して欲しいです。今、ここで早急にまとめるのではなく、もっと多くのさまざまな市民が参画し、時間をかけて丁寧に「鎌倉の	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			街づくり」をすすめて欲しいと切望します。	(前ページの続き)
174	68		町内会掲示板にて「推進方針」の説明がある、との事で説明会に参加しました。 ・鎌倉駅周辺(扇ガ谷、小町、雪ノ下～二階堂、浄明寺)から私の住んでいる地域に多くの知り合いがあり、その方々の大半は市役所移転に反対もしくは困るという方が多数。 ・説明会にて、説明、多くの資料をいただきましたが、まだ説明等が不十分で、もっと住民の意見を聞いてほしい。	
175	70	P22	<p>・最初の前提として、市民生活が高齢化が進む中で、どのように将来なるのかの議論がみえません。市内のどこに住んでいても、福祉、文化等で、必要な手当を受けられるためには、どう再編するのかがみえません。</p> <p>・私の周囲でも、深沢移転の話を知らない人が沢山います。まず全市民に周知し、その上での議論が必要。</p> <p>・生涯学習センターや図書館の機能をどうしようとしているのかも説明がよくわかりません。市民生活に直結しています。</p> <p>深沢であれどこであれ、大事なのは大型に集約することではなく、各地に市民に直結したセンターを作る事だと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座(34回延 632名参加(1月31日時点))などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</li> <li>いただいたご意見のうち「生涯学習センターや図書館の機能をどうしようとしているのかも説明がよくわかりません」の部分を参考に、P22の表現を変更しました。</li> </ul>
176	75	概要版 P5～6	市役所を移転するお金があるなら、もっと他のこと(学校など)を優先して、お金を使うべきだと思います。また、このパブコメ募集期間も、1ヶ月と短いと思うので、もっと長い期間かけて議論したり募集すべきだと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
177	77	全体として	<p>今回の素案を読んでかなり具体的な活用案が示されたことにまず驚きました。ほとんどの市民はこの提案の中身を知りません。ゴミ有料化の説明会はあれほどいいのに何度も説明会を開いて市民への周知を徹底しました。</p> <p>市民を「大家」とするなら、市民の税金で購入した財産でもある不動産をどのように活用すべきかを「大家」の市民がもっと考える場、発言する場を工夫して何度も行うべきです。市民が何を望んでいるか調査研究が必要です。それ程重要な事です。</p> <p>鎌倉に住んでいる市民にとって今必要な施設は何でしょうか。</p> <p>高齢になり車の運転をやめたり、足腰の不調で遠くまで行くのが困難な人、障がいを抱え車イスで移動する人、ベビーカーを押す人、そういう人たちが安心して生活できる街づくりが進めば、どんな人にとっても住みやすい街となるでしょう。</p> <p>各行政区毎の小さな施設の充実がまず行われるべきです。今回の方針は大規模な計画であり費用のかかることですから長期的な展望としてもっと市民意見・市民アイデアを集める工夫を是非お願いします。</p>	<p>市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座（34回延 632名参加（1月31日時点））などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</p>
178	78		<p>皆さんはまだ詳しく情報が行き渡っていません。もっと公表して、ください。</p> <p>知らないうちに噂だけで決まる感じです。ゆっくり練ってください。</p> <p>返信事を決めるとき成り行きでなく、先をよみながら進んでください。市民全部の関心を集めてください。</p> <p>問題を知らない人が多すぎます。情報を丁寧に流してください。噂がおおすぎてどれがほんとかわかりません。よい意見が出ても反映しているかわかりません。ただお金がないでは何もできません。儲けることも工夫したいものです。まとまりませんが、みんな納得できるようにが、希望です。意をつくしません。</p>	
179	82		<p>鎌倉市公的不動産利活用推進方針について(質問)</p> <p>●鎌倉市役所移転跡地の活用 21頁</p> <p>・「ホール(生涯学習センター)」とは現在のきららホール並のキャパのホールですか？</p> <p>・「市民の生涯学習、活動の拠点」とありますが、NPOの中間支援センターは、他市並のサイズ(会議室、作業室、フリースペース)を考えていますか？</p> <p>・22頁に「既存の駐車場は廃止し」とありますが駐車場がないというのであれば、NPOや市民の活動拠点としては使えないのではないですか？一時的な荷下ろし程度では、使いづらいです。</p> <p>・25頁「人口減少進行中、コンパクトな市街地形成が求められる」とありますが、人口が減っても住宅がどこかにコンパクトに集中するわけではないです。一概に「都市機能が集積している場所で・・重要です」とは言えないのではないですか？</p> <p>●どのくらいの税金が使われるのでしょうか。</p> <p>「推進方針」では、コストが減るという視点で書かれていますが、現在でも学校の状態が悪くて修理してほしいという声があると聞きました。優先順位を是非考えてほしいです。</p> <p>●概要版だけでは経過がわからず、「推進方針(素案)」をやっと最後まで読みましたが、内容自体わからないことが多いです。担当者の皆さんが長い間ご苦労されていたのに、これまで説明会や対話、ワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> <li>・厳しい財政状況の中、多くの老朽化する施設への対策(大規模改修や建替え)が急務となっています。そこで、次の世代に過大な負担を残さないための計画として鎌倉市公共施設再編計画を策定し、公共施設にかかるコストを削減する取組を進めているところです。</li> <li>・鎌倉市役所本庁舎は、建設から約50年が経過し老朽化してい</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			<p>ショップ等に参加したこともありません。大方は私のような市民で、ようやく真剣に考えはじめていないでしょうか。市民にもう少し時間をください。</p>	<p>る現状があり、万が一の災害に備えた災害対策本部としての機能強化、執務スペースの不足による市民サービスの低下などの現状を捉えると、本庁舎の整備（移転）は、優先度の高い課題だと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座（34回延 632 名参加（1月 31 日時点））などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</li> </ul>
180	83	2～4	<p>検討にあたって組織された「鎌倉市公的不動産利活用推進委員会」は学識経験者、知識経験者、各種団体の代表者等、いわゆる専門家による構成になっており、鎌倉市で日々の暮らしを営む各年齢層の一般市民や、未来の鎌倉を担う子どもたちの意見が十分に反映される仕組みになっていません。</p> <p>また、対話集会や出前講座、シンポジウムによる市民意見の取組状況も、開催回数、アンケート回答数、参加人数を見ると、この案件の重要性に比してあまりに少ない数ではないでしょうか？</p> <p>公的不動産は市民一人ひとりの大切な財産ですから、形式的なパブコメ実施にならないためにも、まず低未利用の公的不動産の詳細な内容一覧（P11～12では内容を把握するには不十分です）をそえた素案概要を全戸配布するなど、情報提供の徹底を行った上で、市民からの意見徴収をする必要があるの</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座（34回延 632 名参加（1月 31 日時</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			ではないでしょうか？	点) ) などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。
181	83		随所に出ている「サウンディング型市場調査」ですが、それぞれの調査内容のより詳しい説明が必要だと思えます。複数あるという提案の詳細や裏付けとなる予算計画なども把握したいと思います。 また、この調査段階から、鎌倉市内の事業者がより配慮されるような仕組みづくりも必要でないでしょうか。東京など大都市の大手企業グループにスクラップ&ビルドや運営管理を任せるほうが面倒がなく早いのかもしれません。しかし、地方都市におけるいわゆるシャッター通りの深刻な問題点などを見聞きすると、時間と手間がかかっても地元産業を大切に見守り育み、市民が主体的にまちづくりに参画できるような仕組みを生み出していく行政計画こそが持続可能なまちづくりの大道であろうと考えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のサウンディング型市場調査は、市場性を探る段階で実施しました。</li> <li>・実施結果を作成し、鎌倉市公的不動産利活用推進委員会に報告するとともに、ホームページで公開しており、答申（案）の資料編で掲載していますので、ご参照ください。</li> </ul>
182	84		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金面は勿論、利活用のアイデアを含め、民間活力に依存し過ぎているという印象を受けます。市がもっと自力で街づくりをするという姿勢を持ってほしいと感じました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国は官民連携について、「厳しい財政状況の中、人口減少・少子化等を踏まえた公共施設等の集約・再編など真に必要な社会資本の整備・維持更新や公共サービスの持続的な提供を実現するためには、PPP/PFIにより民間の創意工夫を最大限活用することが有効である。」としています。</li> <li>・本市においては、この考え方を踏まえた上で、単なる商業性の追求とならないよう「パブリックマインド」を持った民間の活</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
				用に委ねることを考えている ものです。事例を研究し、慎重 に進め、より良い官民連携に努 めていきます。
183	86		防災面での対策ならば深沢移転も仕方ないとも思うが、他に優先的にやるべき施策があるのでは無い か？とも思います。 福祉面の充実(中3まで所得制限なしで医療費無料にしてほしいです)、ゴミ処理問題など。 できれば先に対策してほしいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉市役所本庁舎は、建設から約 50 年が経過し老朽化している現状があり、万が一の災害に備えた災害対策本部としての機能強化、執務スペースの不足による市民サービスの低下などの現状を捉えると、本庁舎の整備(移転)は、優先度の高い課題だと考えています。</li> </ul>
184	87		<p>鎌倉市の公的不動産として寄付されてもきちんと受け入れ態勢が出来ていないようで、どんどん古くなり、使用不可能になる。</p> <p>鎌倉市は狭く、工場等も少なく収入源が少ない。鎌倉を活かして収入を得るには、歴史や近代建築を活用、観光に力を入れる。 その為には、市に大プロジェクトを作り、しっかり長期にわたり計画たてる。 鎌倉に良い建て物があっても維持出来ないので寄付をことわるという話を良くききます。 もっと古い建て物を活用し、鎌倉ならではの 街づくりと・公けの宿作り・公けの住宅(古い家屋に住みたい人も多いのでは。借家として)・公けの集会所 気持ち良く使い活用する為には入場料は必ず徴収。 観光客はうるさいと多くの住民が云っていますが、鎌倉発展して行く為には鎌倉らしいプライドを持ち、観光客にもルールを守ってもらい、気持ち良い観光をして欲しい。 特に小町通りはお金さえ入れればというような風潮でマナーが悪い。マナーを悪くしない工夫、街づくりが大切。 狭くてもちょっと街角に休息の場を！所々に！ テレビ等でもマナーの悪いTVは指導して欲しい。 毎年街づくりのワークショップが、市主催で行われていますが、その先の(活かされた)発展がみられないように思います。 きちんと組み込み専門家による街づくりの大プロジェクト(市の中の大きな比重を占める課づくり)を、つくるべきだと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公的不動産の利活用に関する本取組は、平成 37 年度(2025 年度)までを計画期間とした第 3 次鎌倉市総合計画や鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市人口ビジョン・鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略等で検討した鎌倉市の将来都市像に沿ったまちづくりについて、インパクトを与えるとともに、地域に新たな価値を創造することで、これを実現させる引き金となることを目指したものです。</li> <li>これら上位計画に及ぶご意見については、上位計画の推進や見直しの際の参考とさせていただきます。</li> <li>現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性やシンボル性は大変重要なもの</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			2016年度に組み込まれていたふるさと寄付金の御成旧講堂が <u>2017年には御成旧講堂の名前がなかった</u> と東京の知人から指摘がありました。	<p>と認識した上で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針として昨年度、鎌倉市本庁舎整備方針を策定したところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転先と併せて現在地の新たなあり方を検討してきたものです。</li> <li>・個々の公的不動産の利活用に関するご意見については、今後の利活用の推進にあたって、具体的な検討の参考とさせていただきます。</li> <li>・公的不動産の利活用以外についてのご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
185	89	経企 HP	<p>鎌倉市公的不動産利活用推進委員会の人選について 今回の計画を見て非常に大きな疑問は、この計画を策定した委員に文化財関連の学識者が見当たらず。8人の委員のうち商工会議所、宅地建物取引業協会、青年会議所、工業倶楽部、金融機関という利益追求型企業の代表者が5人を占め、唯一の市民団体はNPOセンター運営会議で、あとの2人は都市計画と建築関係の学識者ということです。公的不動産というよりは、鎌倉市の都市計画行政、景観行政、文化財行政に大きく関連する内容だけに、この人選は手落ちというほかありません。現在の委員の方々のご努力には敬意を表し感謝することとして、さらに委員会を拡大して、文化財や景観、世界遺産学、等の学識者と鎌倉の文化遺産活用やまちづくりに尽力する複数のNPO団体代表を入れて、更なる検討を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会については、条例に基づき、市が管理する不動産の効果的な利用又は活用の推進に関し必要な事項を調査審議するために設置しているものです。この目的を遂行するために委嘱しました委員となっています。</li> </ul>

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
			重ねることを要望いたします。	
186	90		市役所の移転に疑問があります。 移転が本当に必要なのか、人口が減る中で大きな建物が必要なのか、もっと具体的な数字で見せて頂きたいです。移転する場合、しない場合と、どちらにどれくらいの予算がかかるのか、明確にして欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所本庁舎については、防災・減災などの観点で昨年度に移転して整備するとの方針の策定に至ったところです。</li> <li>この方針の中で、時間・コストの評価も行った上で、検討したものです。</li> </ul>
187	91		「全市的なまちづくりの基本的な考え方」の概念(3つの拠点が特性を生かすこと)は結構です。しかしどのように生かすのか、「視点とコンセプト」の項はありますが、具体的にはいまひとつわかりません。これらは次の段階での検討課題としているのでしょうか。 例えば、「鎌倉拠点」では・・・古都鎌倉としての風格を堅持した市民自治のベース。市民自治のベースとなる市民交流の場。等々 これらは具体的にどんなものをイメージしているのでしょうか。 具体的な案については次の段階で市民参加で構築する狙いがあるのでしょうか。それともH28年度、整備方針を策定(市民対話の実施)とあり、すでに市民の意見は聞いたとしているのでしょうか。私は広報等は一応目を通してはいるつもりですが、そんな市民対話の場があったことを知りませんでした。 鎌倉で生活する市民こそが主役です。どうか丁寧な意見聴取の場を引き続き持って下さい。その広報は出来るだけ様々な方法で興味のある市民に届くようして下さいをお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで市民対話、広報かまくら、てのりかまくら、公共施設再編計画 NEWS、ホームページ、市長によるふれあい地域懇談会・ふらっとミーティングの他、全自治町内会へご案内させていただきました出前講座(34回延 632名参加(1月31日時点))などにより、積極的な周知等に努めてきましたが、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</li> <li>公的不動産の利活用以外についてのご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</li> </ul>
188	102	P1～2	市民対話でどの位の人数がこの案に関心があったのか？なんだか決まっからの知らせが多いように思う。 なんだかいつも決定ズミの様な気がする。	
189	103	P4	<ul style="list-style-type: none"> <li>村岡新駅にかけるお金はどこにあるのか。やめて下さい。</li> <li>若宮大路の歩道の敷石はピカピカと高そうですが工事で割れたり欠けたり、かえって見苦しいし危険。普通のコンクリートで充分。</li> <li>老朽した水道管等、即やらなくてはいけないことに税金を遣って下さい。</li> <li>津波に襲われたらその後どうしますか。どこに避難した大勢の住民を住ませますか？公的不動産、仮にこの先統合をすすめた跡地など市の財産として、確保しておくべきだと思います。</li> </ul> <p>優先順位は、住民の安全が第一です。</p>	
190	104		私はこの件はタウンニュースで知りました。 公的不動産活用について、私たちは市のお知らせで市にどれだけの公的不動産があるのか、場所など公表してほしい。場所によって地域で活用できる事などもっと具体的に考えます。 市役所移転計画も市のお知らせで素案を提出して下さい。一番大きな課題ですので、選挙で反対も多かったはずです。	

## その他の意見

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		該当箇所	意見	
191	33		<p>私は2017年に鎌倉市に転入してきましたが、住んでみて感じたことは市民の教育・知識レベルの高さです。気になって調べてみたところ鎌倉市内の高校の偏差値の平均は60を超えていました。このことは単に教育水準が高いだけでなく、教育に投資できるという家庭の経済状況を表しており、さらにそれは市民の方々が社会的ステータスの高い職業についていることが推測できます。実際、転入後に知り合った方の多くがそのような方々ばかりでした。</p> <p>一方で、高校まで高い水準の教育を受けられたとしても、大学以降の教育環境や職場環境において鎌倉市内では活躍できる場が少ないと感じました。</p> <p>今後「鎌倉市」が市民にとってより魅力的な地域で在り続けるためには、市民ひとりひとりが、それぞれの持っている能力を最大限発揮できる環境があることが大切な要素の一つだと思います。そのためにはスポーツ・文化いずれにおいても一流のものを身近に触れることができる環境があり、それを目指すことのできる環境があり、そのことを世界に発信し、応援してくれる街の雰囲気が必要だと感じました。</p> <p>病気にならないことや、いつまでも健康でいることはもちろんですが、このように人としてより高い文化レベルの生活を目指すことのできる環境こそが本当の意味の「ウェルネス」ではないかと思います。</p>	<p>・応援いただける街の雰囲気を大切に、更なる周知の手法を探るとともに、取組段階毎に進捗状況や検討状況などの情報提供を図ります。そして、その情報をより多くの市民に捉えていただくとともに、これまで参加の少ない将来を担う若年層の参画を促すことで、次の時代を見据えた活発な検討を進めていきます。</p>

## 参考意見(氏名等の記載なしにご提出いただいたもの)

整理 No	提出 No	原文	
		該当箇所	意見
参 考	56		<p>市役所が深沢にできるのは市民にとっては不便です。山崎浄水場のスペースなど、利便性のよい場所につくってはいかがでしょうか。</p> <p>ごみ焼却場を野村総研跡地につくると周辺の緑が緩衝地帯となって良いと思います。</p> <p>山崎は今浄水場があり、ごみ焼却施設を新たにつくると地域の皆さんは二重の迷惑施設が来ることになり、それは受け入れられないというご意見が多いので、地域の方の意見は尊重すべきと思います。</p>



日本コロニヘーブ協会  
JAPAN KOLONIHAVE ORGANIZATION

鎌倉  
コロニヘーブ企画  
「カマコロ」

日本コロニヘーブ協会  
[Redacted]



デンマークの首都コペンハーゲン郊外にあるマンション隣接のコロニヘーブ

## デンマークのコロニヘーヴ

デンマークの一軒家には必ず庭があるが、都心のマンションやアパートで暮らしていてもガーデンライフを楽しむ人が多い。ベランダや屋上に庭があるのではない。自宅から自転車で30分ほど離れた所に「コロニヘーヴ」というデンマーク独特の庭空間があるのだ。

コロニヘーヴは集合を意味する「コロニ」と庭を意味する「ヘーヴ」の造語で、5区画以上の庭が、同じ場所に集まっているコミュニティーガーデン。区画の中には小さな小屋が建てられる。

日本の市民農園と違うのは、野菜などを育てるのが目的ではなく、ガーデンのある暮らしを楽しむ庭であること。区画内には芝生や実のなる樹木があり、ハーブやサラダ用の葉物をプランターで育てる人も多い。

小屋にはシンプルな暮らしができるよう、ベッドや簡単なキッチンがある。夏の間、自分が住んでいるマンションを離れてコロニヘーヴで暮らす人もいれば、週末や休日にだけ通う人もいる。庭や小屋の手入れはもちろんだが、隣の庭のオーナーと知り合いになり、一緒にガーデントークをしながらコーヒータイムを過ごすのもコロニヘーヴならではの楽しみ。

200年も前からあるコロニヘーヴは、庭の無い家に住む人にとって何よりもくつろぎの場となる。自然や、コロニヘーヴにあるコミュニティーが普段の暮らしと異なる空気をもたらす。そんな豊かな環境での暮らしは、若い人からお年寄りにも人気が高い。

このようなコミュニティーが鎌倉でできれば、市民の新たな運動や交流の場になればと思います。





## エノコロ（日本の初のコロニヘーヴ）

2007年、小田原の江之浦という、相模湾が目の前に広がる絶景ローケーションで日本初のコロニヘーヴを仲間と一緒に作った。

敷地は、ひと昔前まではみかん畑だった傾斜地。デンマークで一般的な平地のコロニヘーヴとはちょっと違った表情だが、小さな小屋を建て、芝生や、ブルーベリーや桃などの果樹も植えた。当時はちょっとした畑ブームだったので、畑の面積をやや広めに取ったが、動物に荒らされたので、今はずっと小さくなった。江之浦のコロニヘーヴだから、略して「エノコロ」という愛称になった。

東京から1時間半ほどの距離で、週末や連休に家族と一緒に過ごす。庭でたき火をしたり、夏には敷地内の森に入って野イチゴ狩りを楽しんだり。小屋の中はシンプルなキッチンと、寝袋を敷ける広さのロフトを作り、時々子どもと一緒にキャンプ感覚で泊まることもある。

東京にはもうほとんどない大自然の中で週末を過ごし、リフレッシュしてまた都心に戻る暮らしはバランスが取れて快適だった。

エノコロではオープンデーを開催し、さまざまな人との出会いもあって、職場やご近所の友人とは違った顔ぶれの新たな友達がたくさんできた。それがコロニヘーヴの何よりの魅力だと思う。

本来のコロニヘーヴは、それぞれの家族が自分の区画を持ち、隣家と交流するものの、自分の区画はあくまでも自分の空間として使用する。エノコロは一区画しかないので、それを参加者とシェアして、コロニヘーヴを体験するスタイル。

自然が多い鎌倉では、本場デンマークのようなコロニヘーヴができれば、日本発のコロニヘーヴのモデル地域となり、全国から注目されることに違いありません。







### 鎌倉のコロニヘーヴ「カマコロ」

鎌倉市の公的不動産を利用して、鎌倉で日本発の本格的なコロニヘーヴを作りたいと考えています。デンマークのコロニヘーヴの70%も、公的不動産で、その土地に住む市民が通い、新しいコミュニティーが生まれる。市としても、その土地の管理費(雑草などの手入れなど)は削減でき、一石二鳥。

まず、想定しているコロニヘーヴは10区画程度。一つの区画の規模は約100m<sup>2</sup>(30坪)。各区画に移動可能な小さい10m<sup>2</sup>(3坪)小屋(タイニーハウス)を、利用者がDIYで製作する。DIYの楽しさや家作りに対する知識を深める為に利用者と共に施工していくプロセスが非常に大切だと考えています。

区画内の庭や小屋は各利用者が決められているルールやマナーに違反しなければ自由に使用いただけます。利用者が共同で使用できるコミュニティー小屋を作る予定です。その中に、キッチン、シャワー、トイレを設置することによって各区画の小

屋には設備をつなぐ必要がなくなり、コストも抑えられる。コミュニティー小屋での利用者の交流なども期待できると思います。

日本のコロニヘーヴ概要:

- ・1区画の規模: 30坪
- ・区画数: 5区画~50区画
- ・小屋のサイズ: 3坪  
(仮設・移動式)
- ・1区画の利用料: 2~3万円(月)





2015年、第17回国際バラとガーデニングショーで50m<sup>2</sup>ほどのコロニヘーヴの展示様子。「カマコロ」はこの2倍の広路さを想定する。



日本コロニヘーヴ協会



[www.kolonihave.com](http://www.kolonihave.com)

## URL（添付資料の詳細として）

メディアバル タイムス ディナー & トーナメント トロント

### Medieval Times Dinner & Tournament

[https://www.tripadvisor.jp/Attraction\\_Review-g155019-d309812-Reviews-Medieval\\_Times\\_Dinner\\_Tournament-Toronto\\_Ontario.html](https://www.tripadvisor.jp/Attraction_Review-g155019-d309812-Reviews-Medieval_Times_Dinner_Tournament-Toronto_Ontario.html)

福島相馬野馬追

<http://soma-nomaoi.jp/>

馬のおまわりさん

<http://inftlccny.exblog.jp/13267396/>

<https://plaza.rakuten.co.jp/misarog/diary/201508160000/>

ホースボール

[http://news.netkeiba.com/?pid=column\\_view&cid=35223](http://news.netkeiba.com/?pid=column_view&cid=35223)

ホースアーチェリー

<http://www.toshogu.jp/blog/2015/10/post-66.html>

市民農園と鎌倉野菜ブランドと食育と飲食業の発展

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/cnt/f300479/>